

高梁市学校施設長寿命化計画

令和3年3月

高梁市教育委員会

目 次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1-1 背景.....	1
1-2 目的.....	2
1-3 計画期間.....	3
1-4 対象施設.....	4
(1) 計画対象棟の考え方.....	6
(2) 小学校の計画対象施設.....	7
(3) 中学校の計画対象施設.....	15
(4) 高等学校・幼稚園・こども園の計画対象施設.....	19
(5) 給食センターの計画対象施設.....	24
第2章 学校施設の目指すべき姿	26
2-1 高梁市教育大綱.....	26
2-2 第3次高梁市教育振興基本計画.....	27
第3章 学校施設の実態	28
3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	28
(1) 人口推計及び将来予測.....	28
(2) 児童・生徒数及び学級数の推移.....	29
(3) 各小学校における児童数・学級数の推移.....	30
(4) 各中学校における生徒数・学級数の推移.....	41
(5) 学校教育施設の保有量.....	45
(6) 学校教育施設の全体コスト.....	46
(7) 今後の維持・更新コスト（従来型）.....	48
3-2 学校施設の老朽化状況の実態.....	49
(1) 点検方法等.....	49
(2) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価.....	50
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	53
4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	53
(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針.....	53
4-2 改修等の基本的な方針.....	54
(1) 長寿命化の方針.....	54
(2) 目標使用年数、改修周期の設定.....	55
(3) 部位ごとの更新周期.....	57
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	58

5-1 改修等の整備水準	58
(1) 長寿命化に資する改修	58
(2) 機能や性能の向上に資する改修	59
5-2 維持管理の項目・手法等	60
第6章 長寿命化等の計画	61
6-1 改修等の優先順位付け	61
(1) 総合劣化判定	61
(2) 施設の優先順位付け	63
6-2 長寿命化対象施設の考え方	65
6-3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	70
(1) 今後の維持・更新コスト	70
(2) 効果の見通し	73
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	74
7-1 情報基盤の整備と活用	74
7-2 推進体制等の整備	74
7-3 フォローアップ	75
■ 用語の定義と解説	76

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1-1 背景

国において、平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市では、平成29年3月に、公共施設を長期的な視点で、総合的・計画的に管理することを目的として「高梁市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

「インフラ長寿命化基本計画」では、個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定するよう要請されており、文部科学省においても、各自治体が学校施設の長寿命化計画を策定するにあたり、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成27年4月）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）が示されました。

本市の学校教育系施設は、昭和40年代から60年代の児童・生徒数の増加にあわせて集中的に整備されていることから、現在では老朽化が進み、近い将来一斉に更新時期を迎えるものと見込まれています。

また、公共施設等総合管理計画によると、本市の学校教育系施設は、全公共施設面積の約24%を占めているため、大規模改修及び建て替えに多額の費用が必要となります。

一方、文部科学省が平成27年1月27日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」によれば、学級数が少ないことによる学校運営上の課題として、クラス替えができないことや遠足などの集団活動・行事の教育効果が下がること、人間関係や相互の評価が固定化しやすいなどのデメリットが挙げられています。また、学校は地域のコミュニティの核としての性格を有することから、地域の状況や特性を十分に考慮しつつ検討する必要があります。

このような背景から、今後も続くと想定される少子高齢化に伴う児童・生徒数の減少傾向に対して、人数に合わせた施設規模に合わせていく必要があります。

また、学校施設は鉄筋コンクリート造に代表されるように適切に維持管理すれば長期間使用できる建物となっているため、地域コミュニティの核となる施設としての観点から他の類型分類にて老朽化が進んでいる建物の機能を集約し、複合施設としての活用が見込めます。

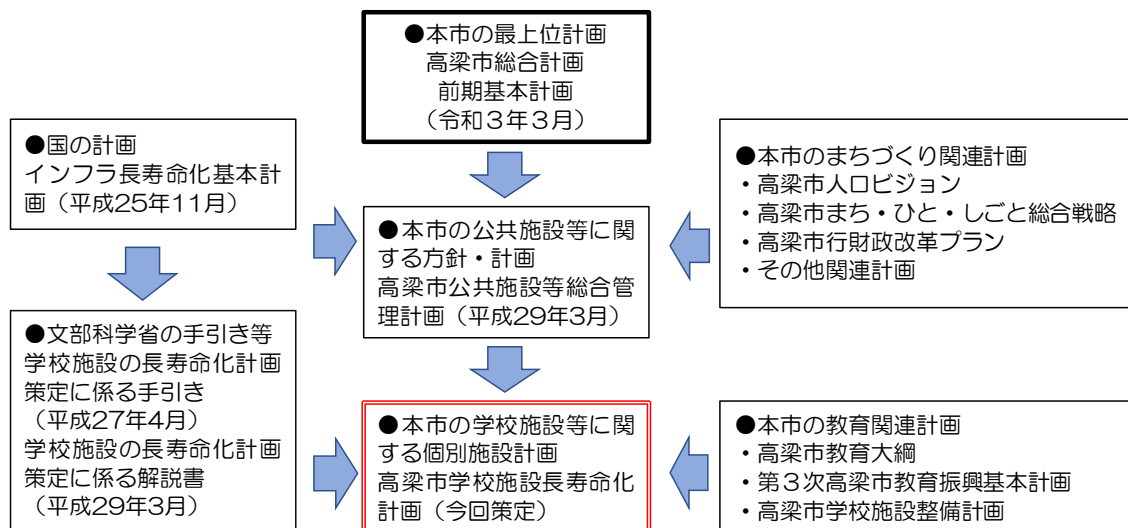
これらを踏まえ、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を基に個別施設計画を定め、適切な維持管理・長寿命化対策を推進すべく行動します。

1-2 目的

「高梁市学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、前述の背景を踏まえ、学校等教育施設を総合的視点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修・建替えするとともに、教育環境の質的改善も考慮しながら改修・建替え等を検討するための建物劣化状況等の評価による優先順位を設定しつつ、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定します。

なお、本計画は、「高梁市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）」に基づく学校施設の個別施設計画として位置づけるとともに、学校施設整備計画は本計画に基づき策定していくこととします。

図表 1 計画の位置づけ



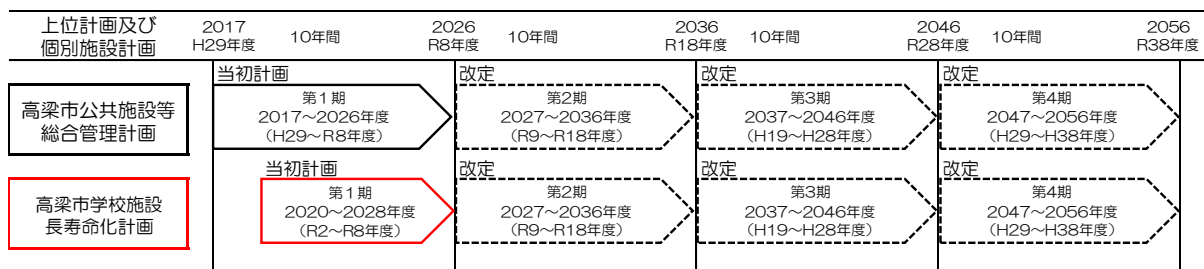
1-3 計画期間

本計画は、高梁市公共施設等総合管理計画に基づく、学校施設の個別施設計画として位置付け、計画期間は高梁市公共施設等総合管理計画と連動させることとし、令和3年度(2021年度)から令和8年度(2026年度)までの6年間とします。

なお、令和8年度までを第1期計画期間として、以後10年間ごとに第2期、第3期、第4期に分けて改定するものとします。

また、今後の維持・更新コストの算出期間は、高梁市公共施設等総合管理計画の算出期間(40年間)に合わせるものとします。

図表 2 計画期間

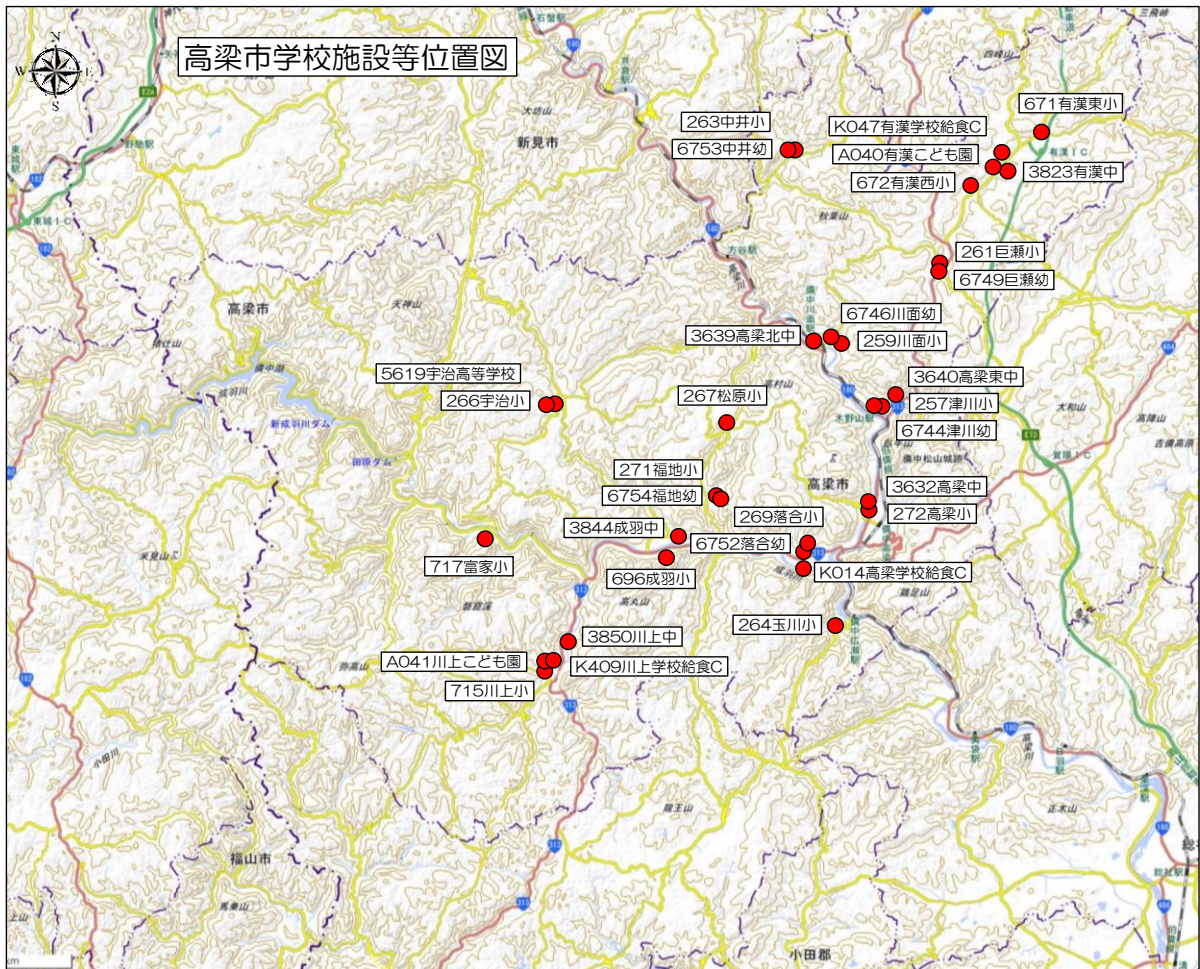


1-4 対象施設

本計画の対象施設は、小学校 15 校、中学校 6 校、高等学校 1 校、幼稚園・こども園 8 園、学校給食センター 3 施設とします。

各施設の市内における位置として図表 3、計画対象施設の概要として図表 4 を示します。

図表 3 施設位置図



図表 4 計画対象施設の概要

学校種別	学校調査番号	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 (和暦)
小学校	257	津川小学校	2,165	S52
	259	川面小学校	2,300	S56
	261	巨瀬小学校	2,540	S44
	263	中井小学校	2,138	S55
	264	玉川小学校	1,529	S57
	266	宇治小学校	2,123	S55
	267	松原小学校	2,040	S50
	269	落合小学校	3,113	S57
	271	福地小学校	1,615	S62
	272	高梁小学校	4,966	S45
	671	有漢東小学校	2,589	S61
	672	有漢西小学校	2,499	S41
	696	成羽小学校	4,003	S32
	715	川上小学校	4,154	S38
	717	富家小学校	2,865	S55
中学校	3632	高梁中学校	7,002	H11
	3639	高梁北中学校	3,150	H元
	3640	高梁東中学校	3,047	S62
	3823	有漢中学校	2,529	S63
	3844	成羽中学校	4,213	S48
	3850	川上中学校	3,804	S53
高等学校	5619	宇治高等学校	279	S23
幼稚園・こども園	6744	津川幼稚園	203	S58
	6746	川面幼稚園	218	S51
	6749	巨瀬幼稚園	203	H9
	6752	落合幼稚園	451	S53
	6753	中井幼稚園	203	H8
	6754	福地幼稚園	191	H3
	A040	有漢こども園	853	H8
	A041	川上こども園	1,132	H5
	学校給食センター	K014	高梁学校給食センター	1,077
K047		有漢学校給食センター	403	H12
K409		川上学校給食センター	388	H11
合計			69,985	

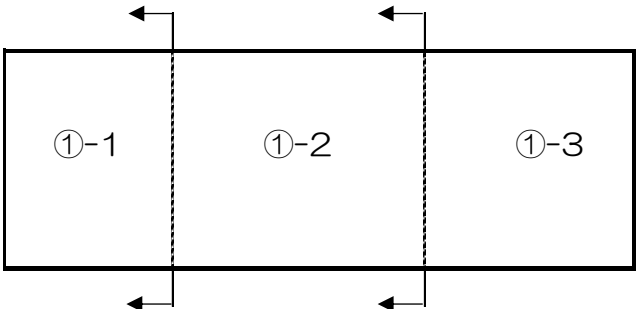
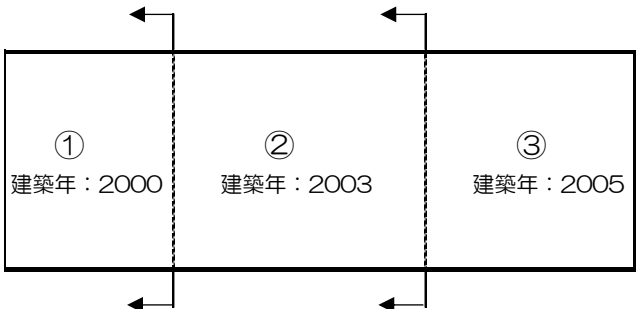

(1) 計画対象棟の考え方

対象施設の建物においては、2期工事、増改築等により、外見上は一体棟でありながらも、管理上は別棟として区分されている建物が存在しますが、今後の維持修繕、方向性の決定においては、建築年度が違っていても一体棟として管理する方が適切であると考えられます。

また、『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成29年3月文部科学省）によると、改築や改修を一体的に実施することが想定される棟をまとめて1つの建物として整理することが望ましいことが記載されています。

このことから、本計画においては以下のケースにおいて、対象施設を一体棟として整理し、各対象施設を整理しています。

図表5 「ひとつの棟」として考えるケース

<p>ケース① 改築や改修に際して、一体的に工事すべき「かたまり」を「ひとつの棟」として一体とみなす。</p> 	<p>棟番号が①で同じのため、建築年や規模に関わらず①-1、①-2、①-3を「ひとつの棟」として扱う。</p>
<p>ケース② 建物としては一体でも、棟番号が異なるエキスパンションジョイントで分割された棟は、建築年が5年未満の場合は、「ひとつの棟」とする</p> 	<p>棟番号が異なるが、隣接する建物（棟）の建築年の差が5年未満であるため、①、②、③を「ひとつの棟」として扱う。</p>
	<p>棟番号が異なり、隣接する建物（棟）の建築年の差が5年以上であるため、①、②、③は、「別々の棟」として扱う。</p>

(2) 小学校の計画対象施設

計画対象棟の考え方に従い、小学校の計画対象施設をまとめると以下の様になります。

図表 6 小学校の計画対象施設

施設名	建物名	棟番号	建物用途	建築年度 (和暦)	棟別床面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
津川小学校	屋内運動場	1	体育館	S52	409	2,165
	校舎	2-1	校舎	S58	480	
	校舎	2-2	校舎	H4	1,276	
川面小学校	校舎	1-1	校舎	S56	389	2,300
	校舎	1-2	校舎	H元	560	
	校舎	1-3	校舎	H元	806	
	屋内運動場	2	校舎	S63	545	
巨瀬小学校	校舎	1	校舎	H14	1,867	2,540
	屋内運動場	2	体育館	H14	673	
中井小学校	屋内運動場	1	体育館	S55	421	2,138
	校舎	2	校舎	S55	1,717	
玉川小学校	屋内運動場	1	体育館	H4	330	1,529
	校舎	2	校舎	S63	1,199	
宇治小学校	屋内運動場	1	体育館	S55	500	2,123
	校舎	2	校舎	S59	1,623	
松原小学校	校舎	1-1	校舎	S50	501	2,040
	校舎	1-2	校舎	S61	1,077	
	屋内運動場	2-1	体育館	S53	411	
	屋内運動場	2-2	体育館	S61	23	
	屋内運動場	2-3	体育館	H7	28	
落合小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	校舎	S57	1,443	3,113
	屋内運動場	2	体育館	S61	774	
	校舎	3	校舎	H15	896	
福地小学校	校舎	1	校舎	H3	1,227	1,615
	屋内運動場	2	体育館	S62	388	
高梁小学校	校舎	1	校舎	S45	1,554	4,966
	校舎	2	校舎	S47	1,787	
	校舎	3	校舎	S47	627	
	校舎	4	校舎	S47	192	
	屋内運動場	5	体育館	H17	806	
有漢東小学校	校舎	1	校舎	S61	2,001	2,589
	屋内運動場	2	体育館	S61	588	
有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	校舎	S41	1,392	2,499
	校舎	1-3	校舎	S62	124	
	校舎	1-4	校舎	S62	213	
	屋内運動場	2-1,2-2	体育館	S62	618	
	校舎	3	校舎	H13	152	
成羽小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	校舎	S52	2,896	4,003
	倉庫	2	校舎	S32	240	
	屋内運動場	3	体育館	S54	867	
川上小学校	校舎	1	校舎	S45	1,661	4,154
	屋内運動場	2	体育館	S57	1,108	
	校舎	3	校舎	S58	1,385	
富家小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3	校舎	S62	1,982	2,865
	屋内運動場	2-1,2-2	体育館	S55	883	
施設計	15施設	45棟			40,639	40,639

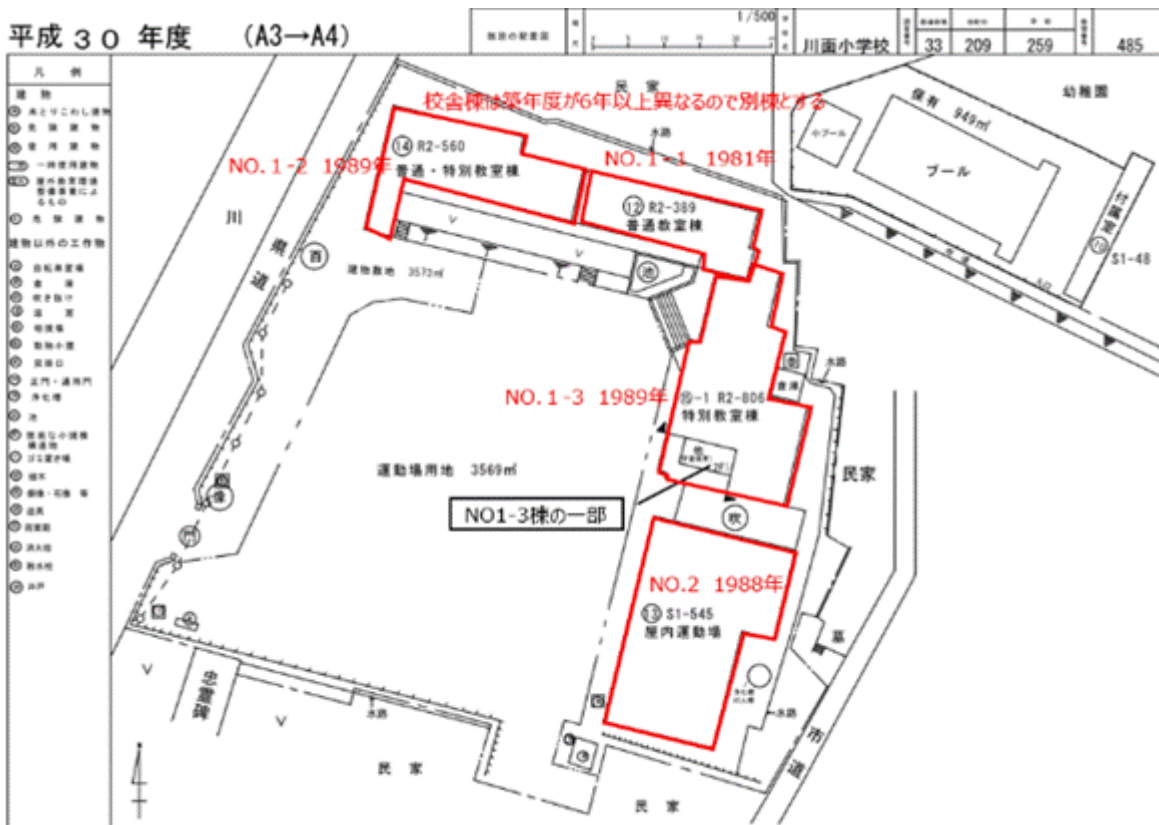
図表 7 津川小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



図表 8 川面小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



図表 9 巨瀬小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度

(A3→A4)



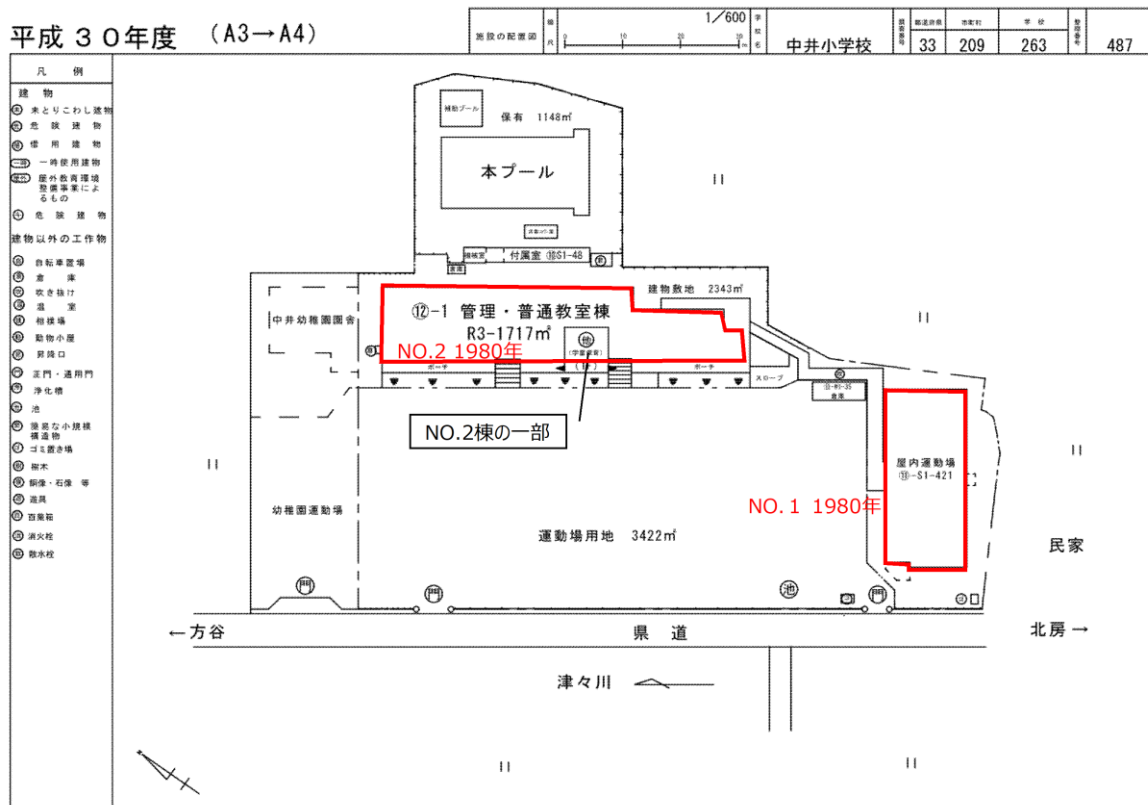
文 部 科 学 省

図表 10 中井小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度

(A3→A4)

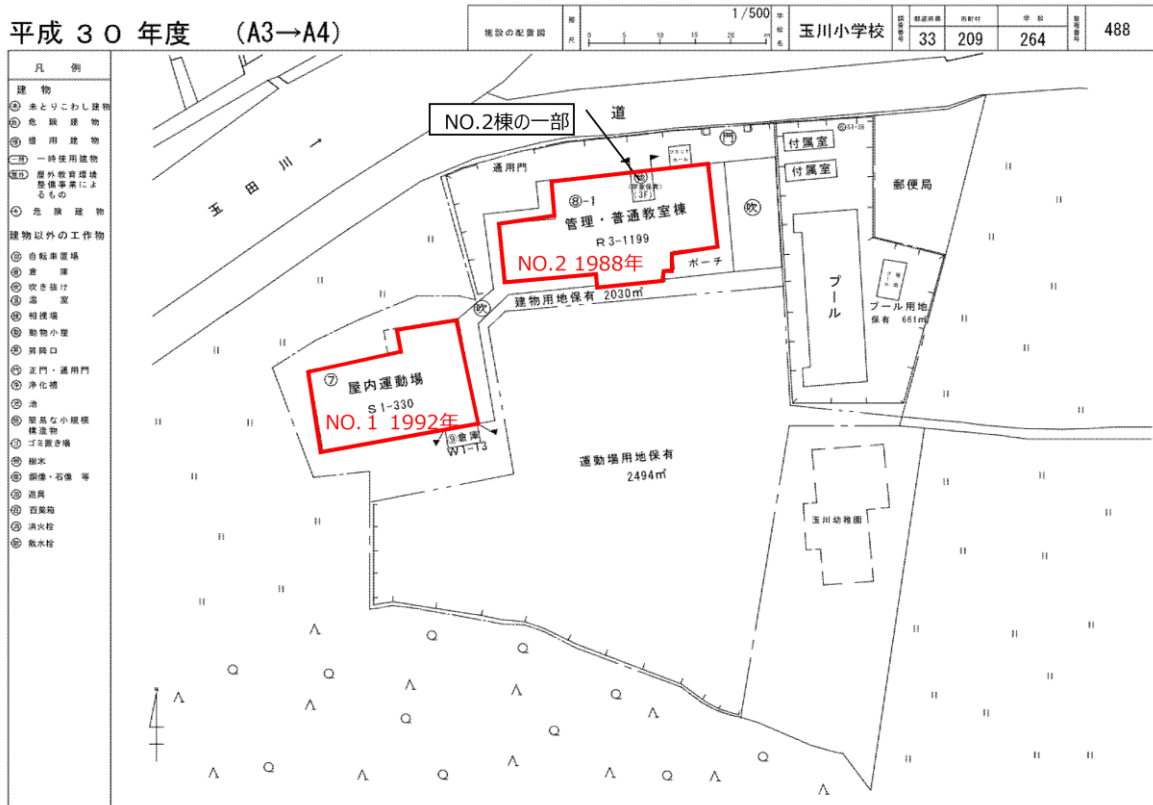


文 部 科 学 省

図表 11 玉川小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度 (A3→A4)

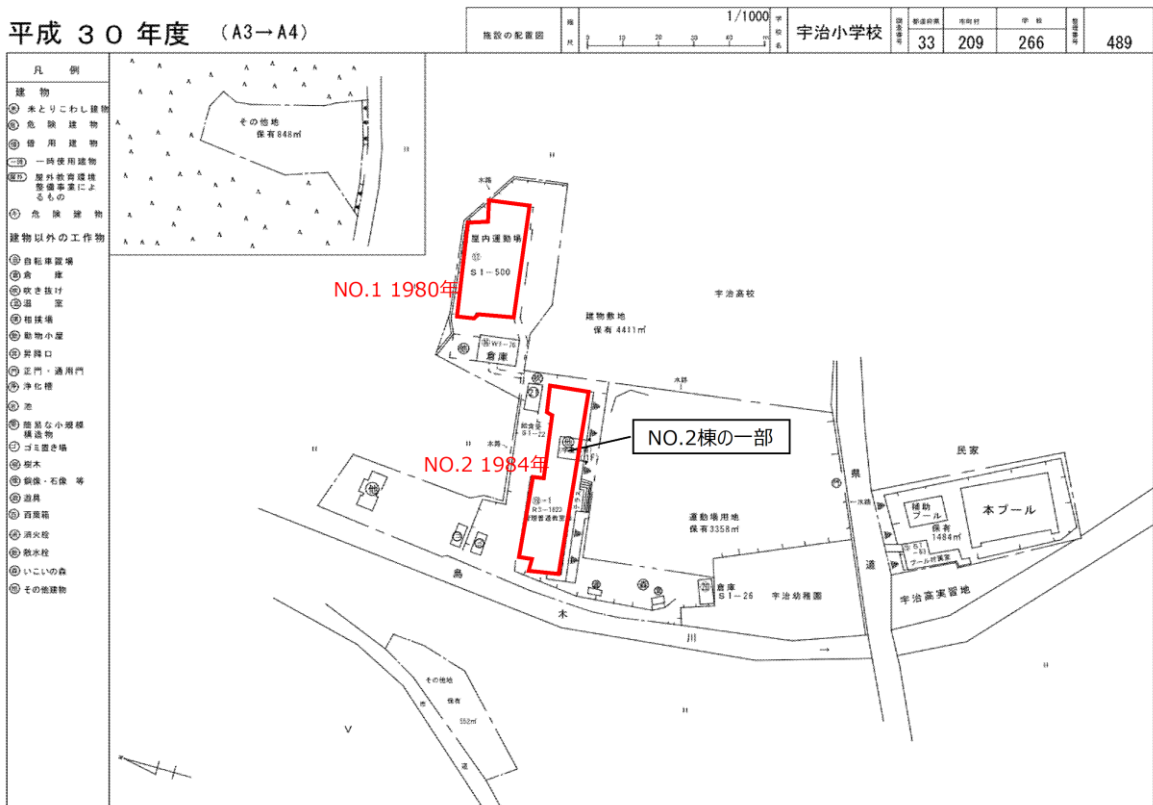


文 部 科 学 省

図表 12 宇治小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

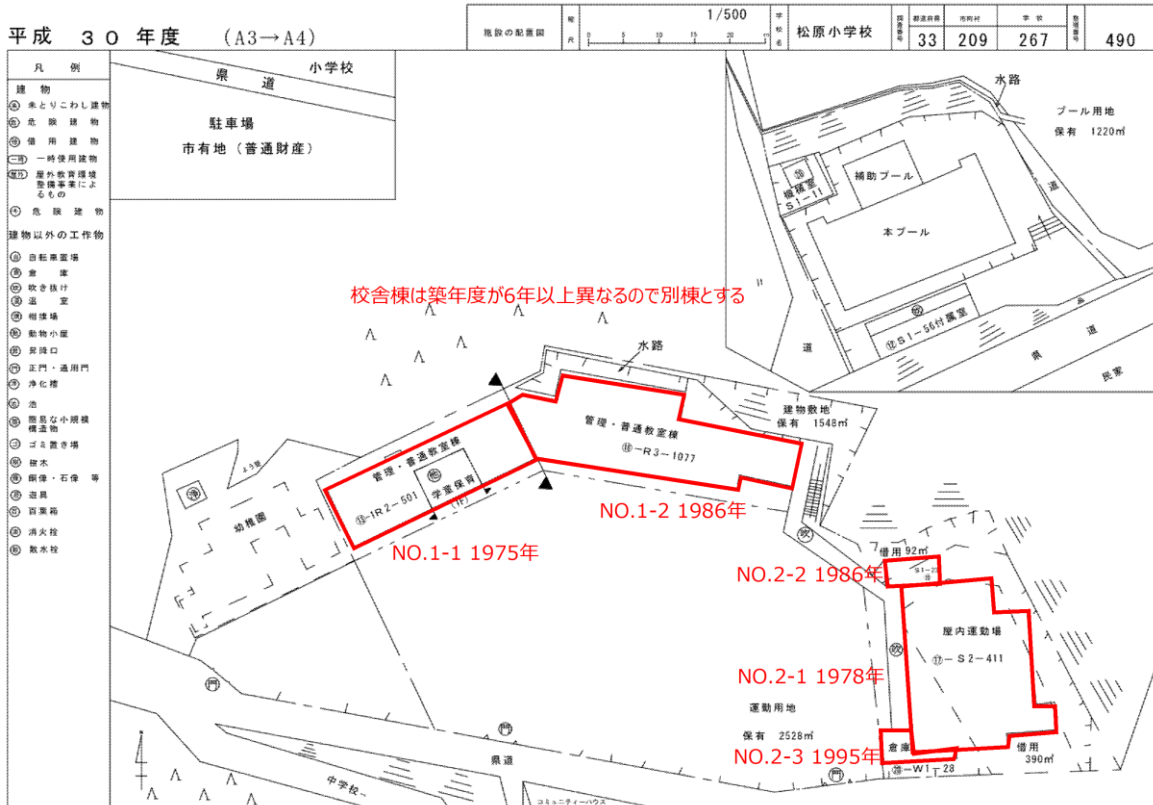
平成 30 年度 (A3→A4)



文 部 科 学 省

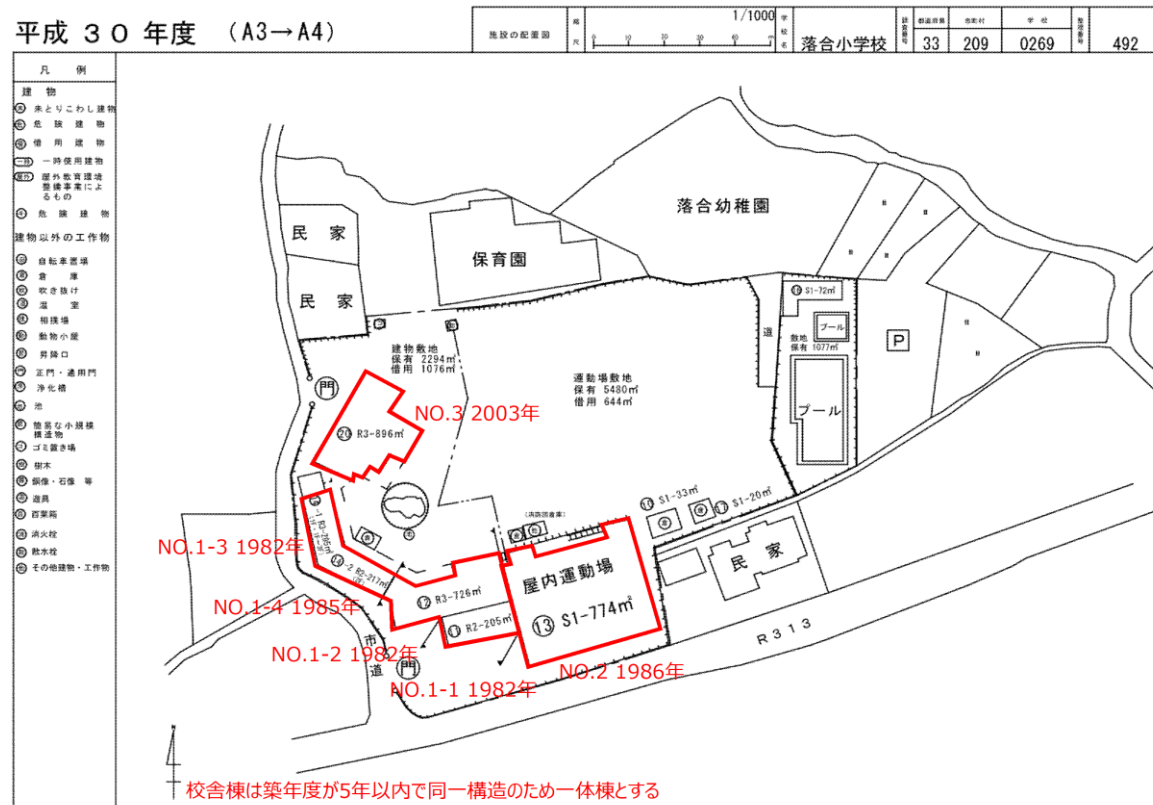
図表 13 松原小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



図表 14 落合小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



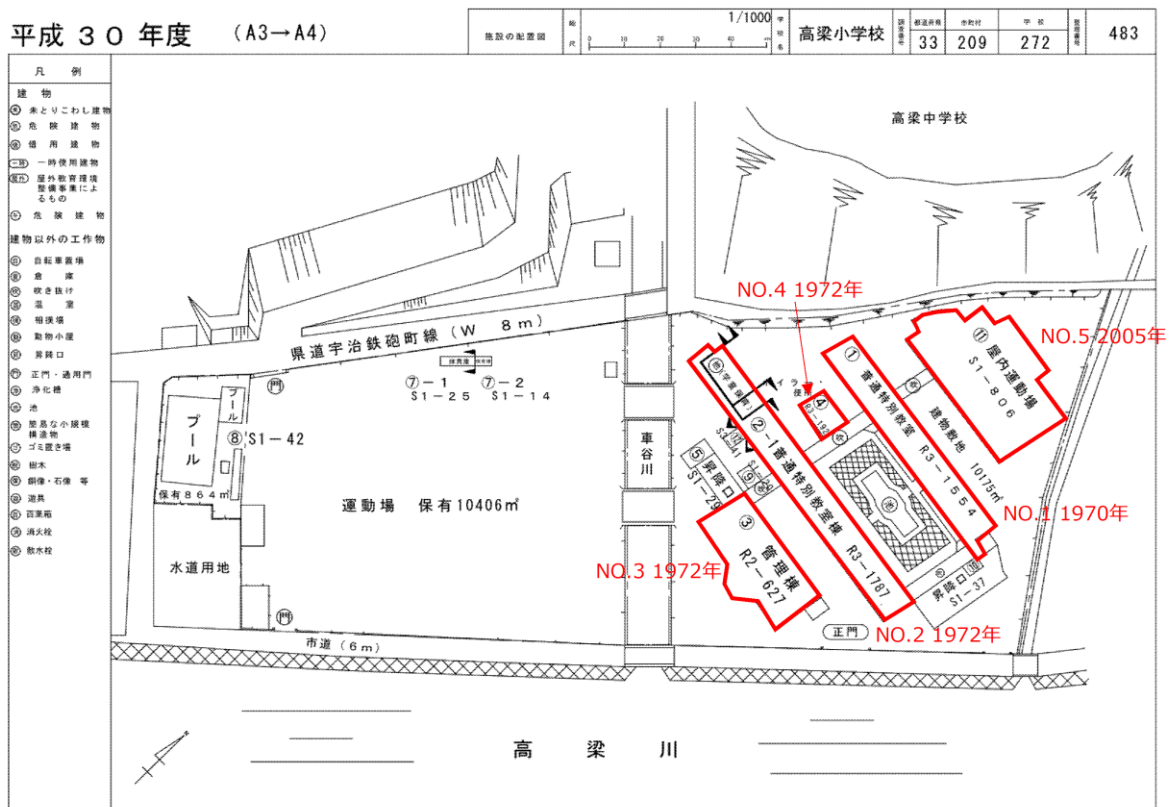
図表 15 福地小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



図表 16 高梁小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

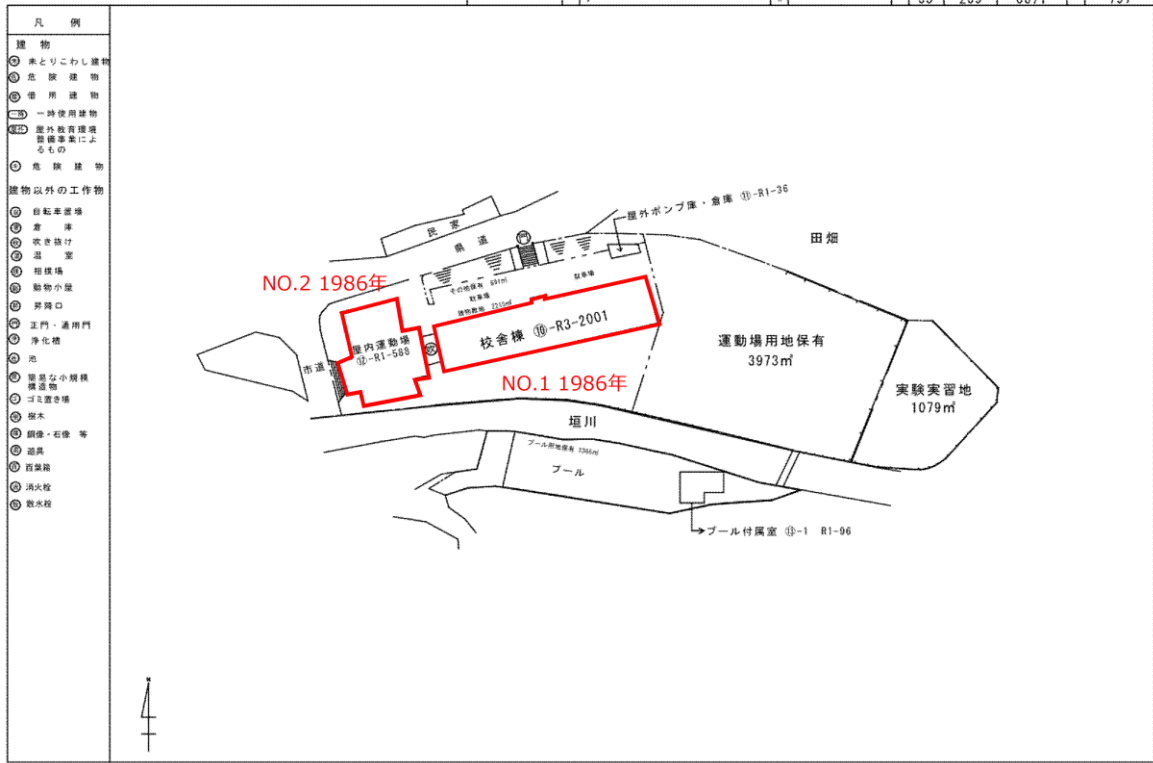


図表 17 有漢東小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度 (A3→A4)

施設の種類	有漢東小学校	延床面積	33	床数	209	年度	0671	延床面積	797
-------	--------	------	----	----	-----	----	------	------	-----



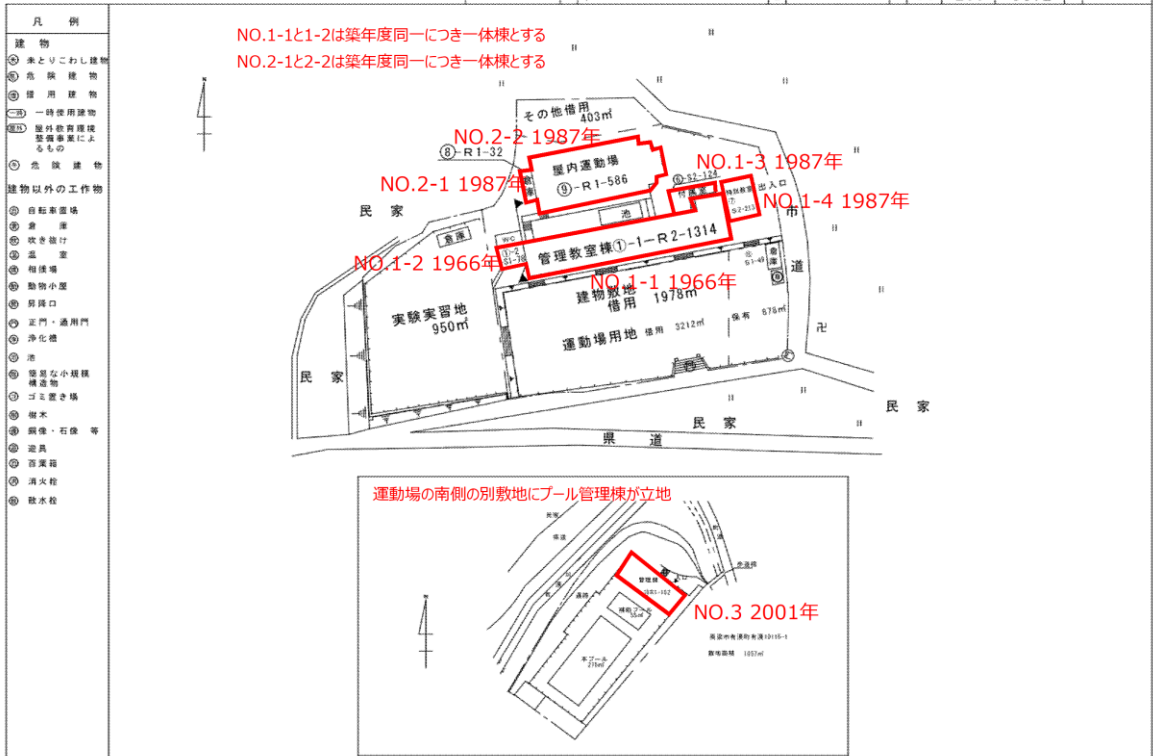
文 部 科 学 省

図表 18 有漢西小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度 (A3→A4)

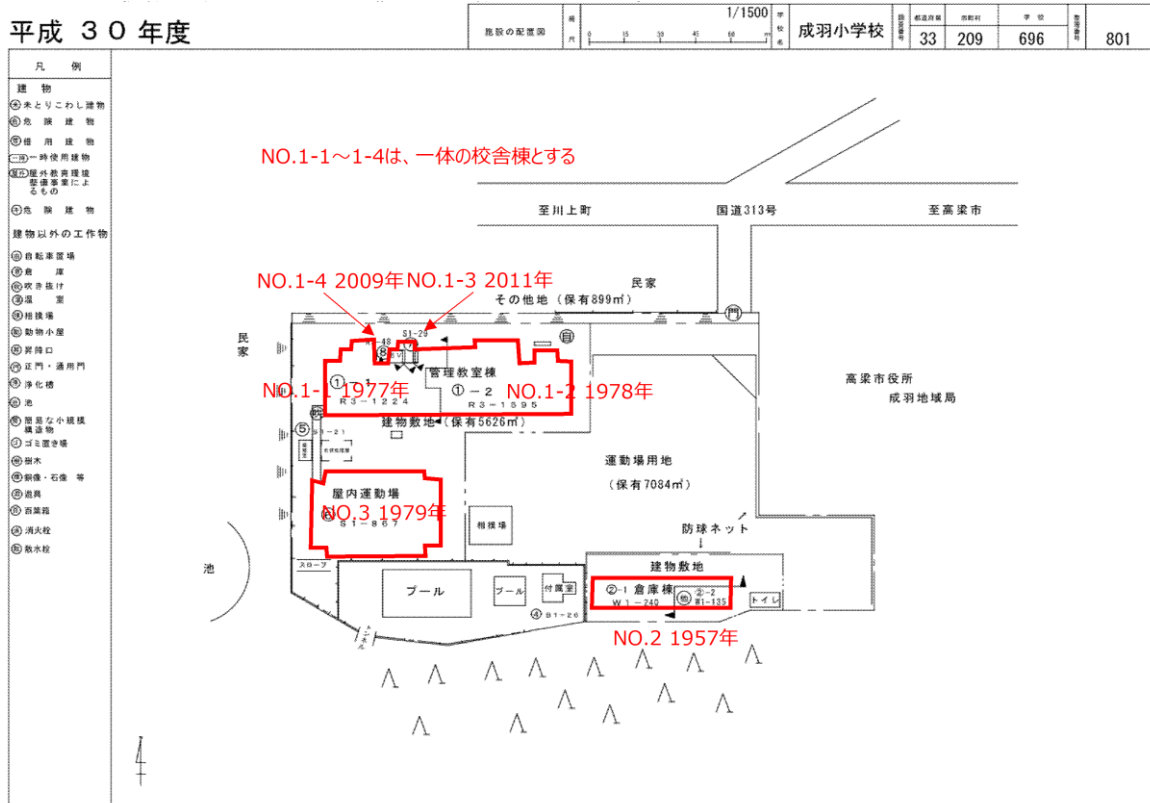
施設の種類	有漢西小学校	延床面積	33	床数	209	年度	0672	延床面積	798
-------	--------	------	----	----	-----	----	------	------	-----



文 部 科 学 省

図表 19 成羽小学校

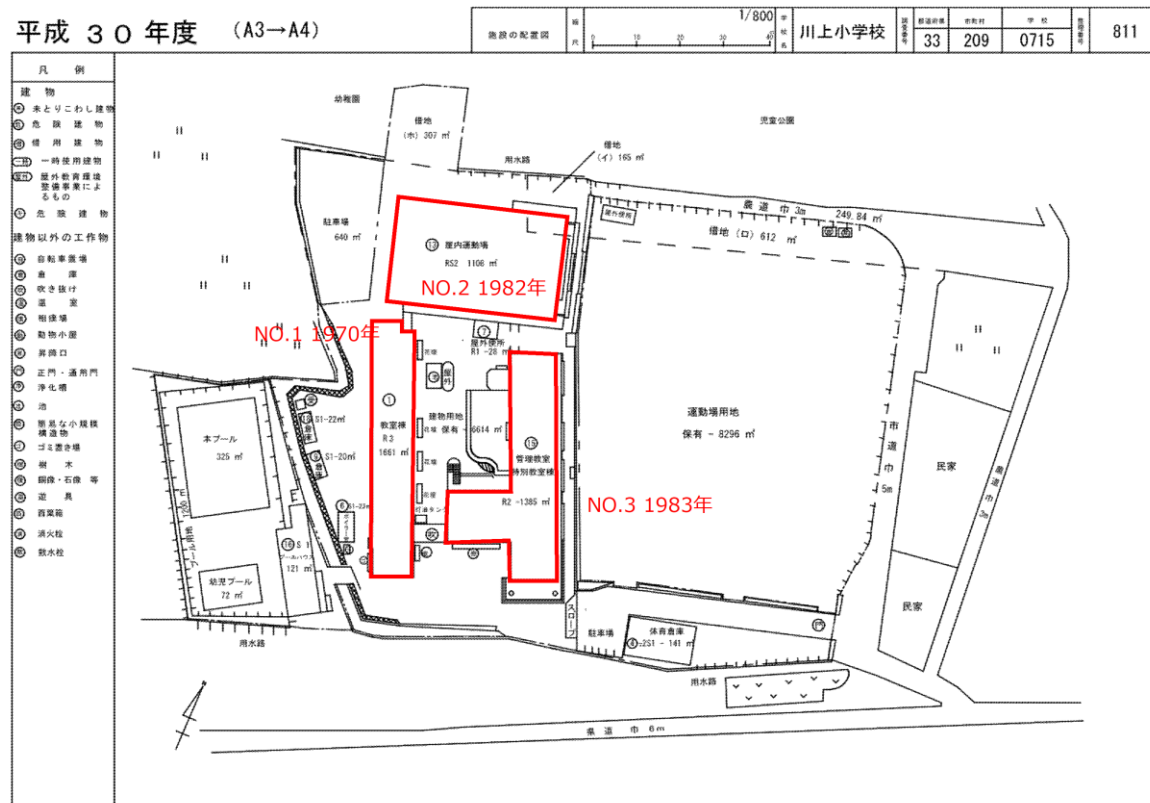
長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



文 部 科 学 省

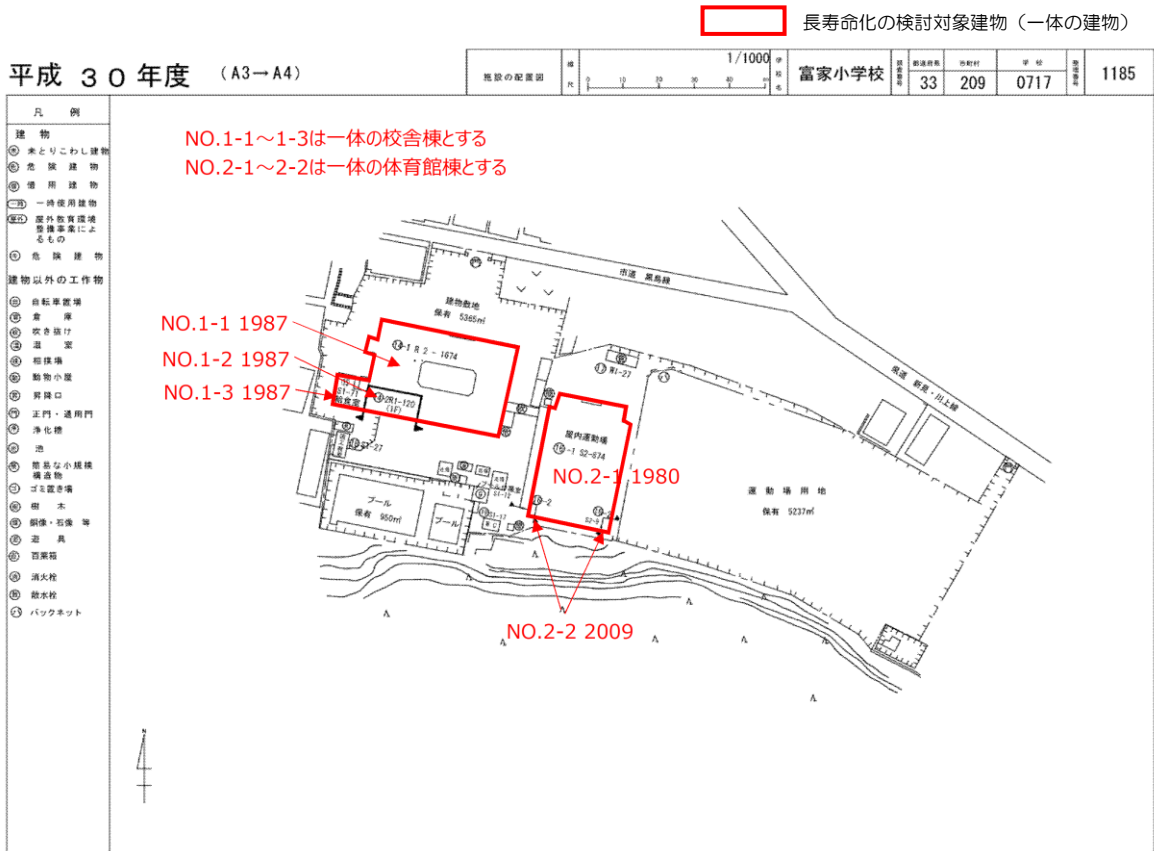
図表 20 川上小学校

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



文 部 科 学 省

図表 21 富家小学校



文 部 科 学 省

(3) 中学校の計画対象施設

計画対象棟の考え方に従い、中学校の計画対象施設をまとめると以下のようになります。

図表 22 中学校の計画対象施設

施設名	建物名	棟番号	建物用途	建築年度 (和暦)	棟別床面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
高梁中学校	校舎	1-1,1-2	校舎	H11	2,220	7,002
	校舎	1-3	校舎	H12	3,462	
	校舎	2	校舎	H12	203	
	屋内運動場	3	体育館	H16	1,117	
高梁北中学校	校舎	1	校舎	H元	2,250	3,150
	屋内運動場	2	体育館	H元	900	
高梁東中学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	校舎	S62	1,760	3,047
	校舎	2	校舎	H7	364	
	屋内運動場	3	体育館	H7	923	
有漢中学校	校舎	1	校舎	S63	1,929	2,529
	屋内運動場	2	体育館	S63	600	
成羽中学校	屋内運動場	1	体育館	S48	1,125	4,213
	校舎	2-1,2-2, 2-3,2-4	校舎	H19	3,088	
川上中学校	屋内運動場	1-1,1-2	体育館	S53	828	3,804
	校舎	2-1,2-2	校舎	S61	2,976	
施設計	6施設	15棟			23,745	23,745

図表 23 高梁中学校



文 部 科 学 省

図表 24 高梁北中学校



文 部 科 学 省

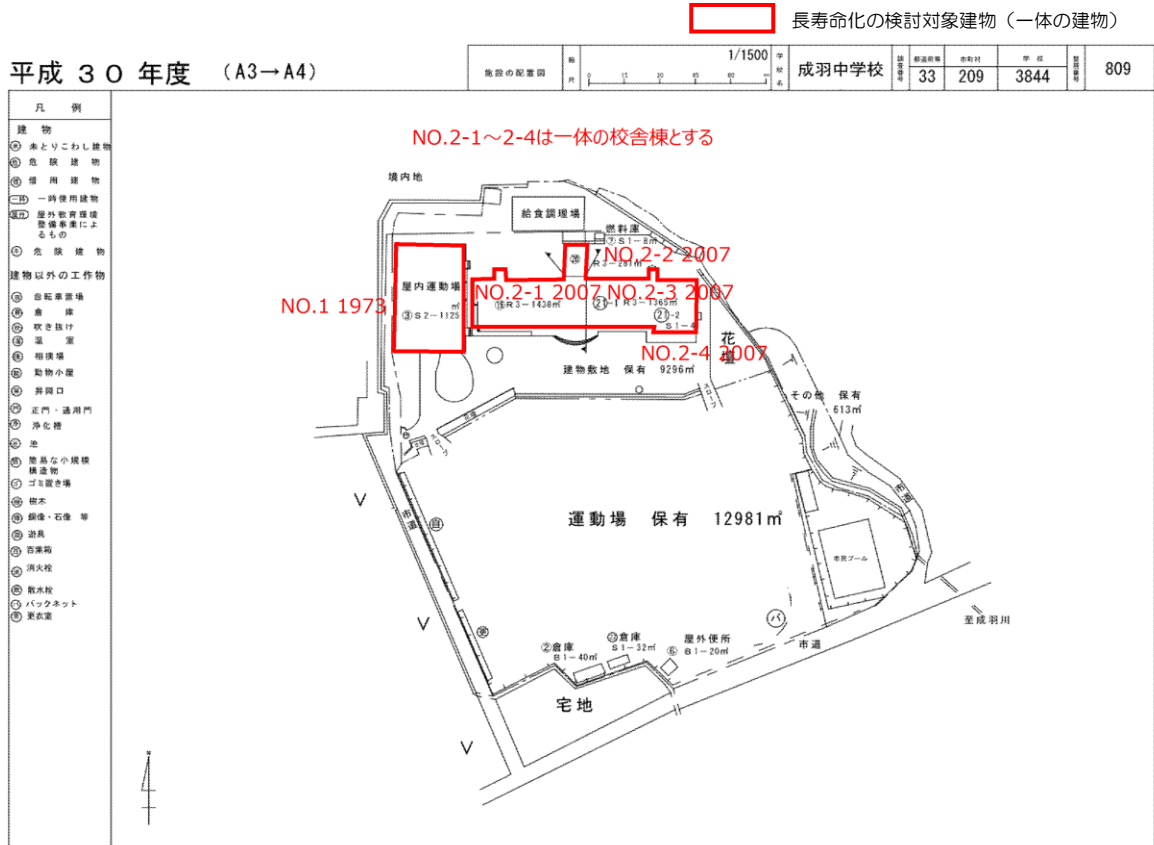
図表 25 高梁東中学校



図表 26 有漢中学校

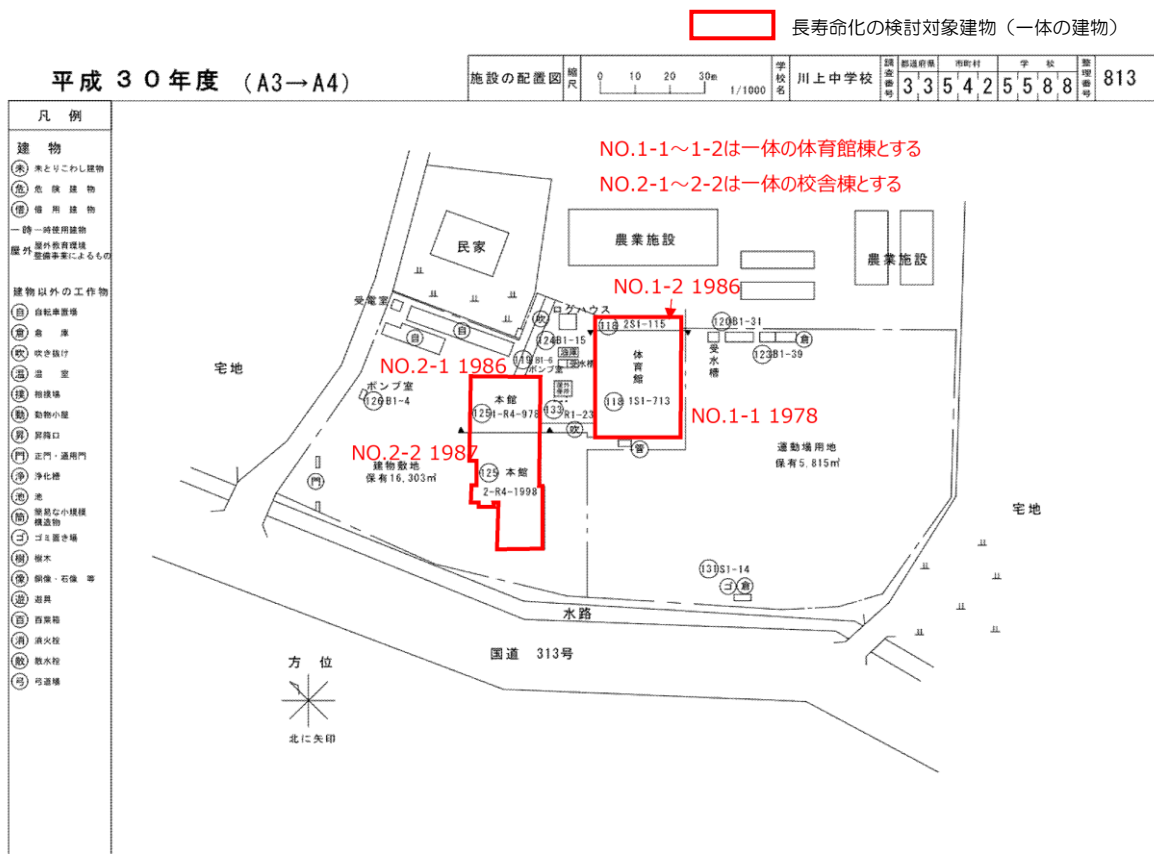


図表 27 成羽中学校



文 部 科 学 省

図表 28 川上中学校



文 部 科 学 省

(4) 高等学校・幼稚園・こども園の計画対象施設

計画対象棟の考え方に従い、高等学校・幼稚園・こども園の計画対象施設をまとめると以下のようになります。

図表 29 高等学校・幼稚園・こども園の計画対象施設

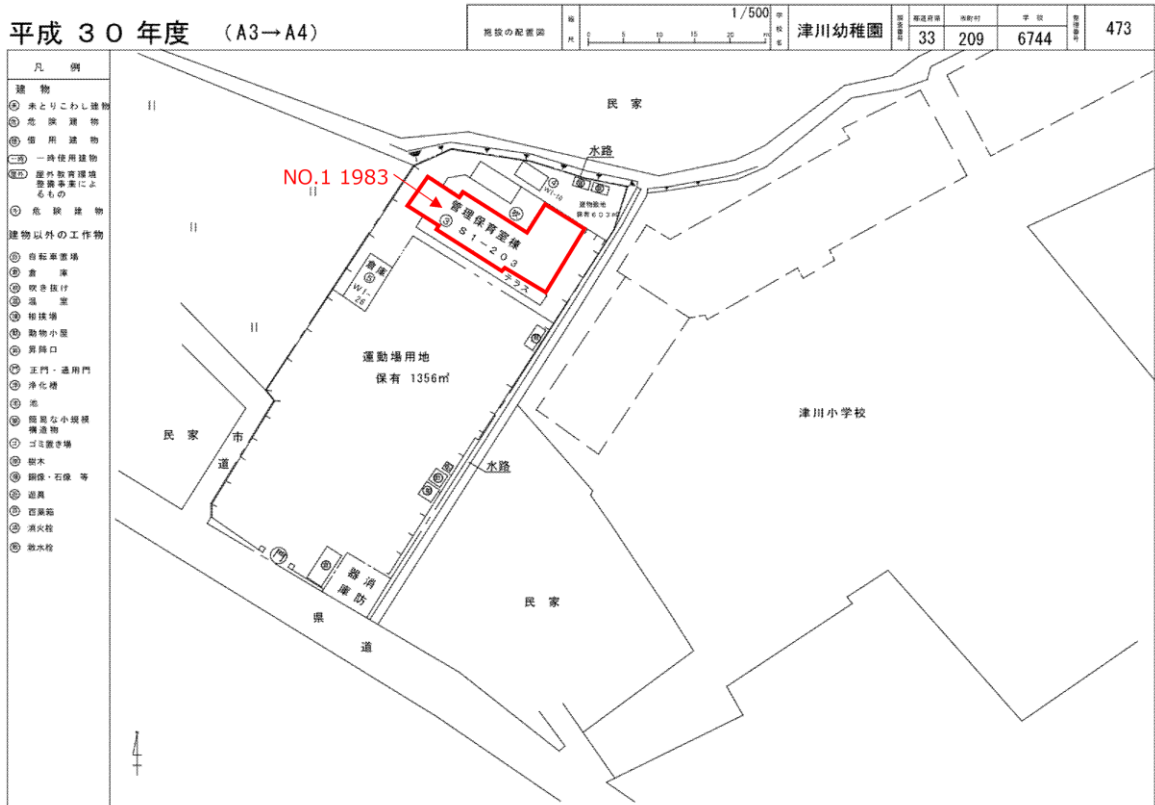
施設名	建物名	棟番号	建物用途	建築年度 (和暦)	棟別床面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
宇治高等学校	校舎	1-1,1-2	校舎	S27	279	279
津川幼稚園	園舎	1	校舎	S58	203	203
川面幼稚園	園舎	1-1,1-2	校舎	S51	218	218
巨瀬幼稚園	園舎	1	校舎	H9	203	203
落合幼稚園	園舎	1-1,1-2, 1-3	校舎	S53	323	451
	園舎	2	校舎	S53	128	
中井幼稚園	園舎	1	校舎	H8	203	203
福地幼稚園	園舎	1	校舎	H3	191	191
有漢こども園	園舎	1-1,1-2	校舎	H9	350	853
	園舎	2	校舎	H8	503	
川上こども園	園舎	1	校舎	H5	707	1,132
	園舎	2	校舎	H13	425	
施設計	9施設	12棟			3,733	3,733

図表 30 宇治高等学校



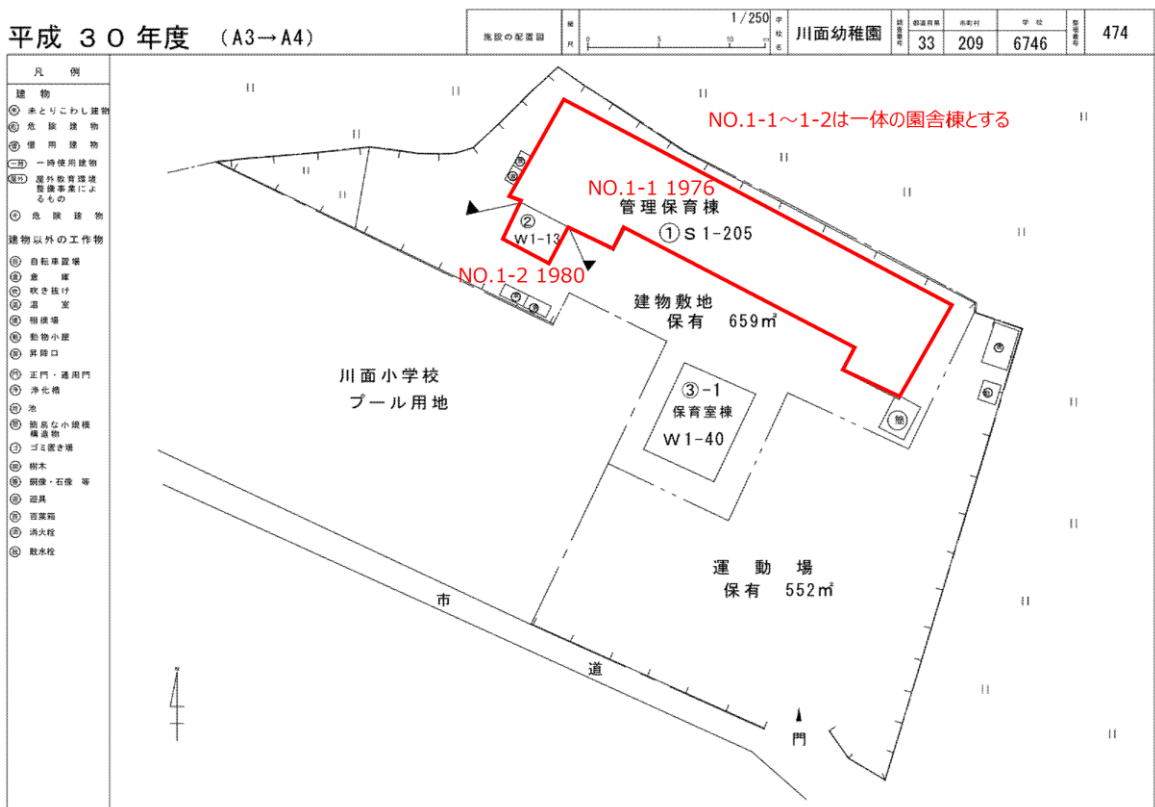
図表 31 津川幼稚園

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



図表 32 川面幼稚園

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

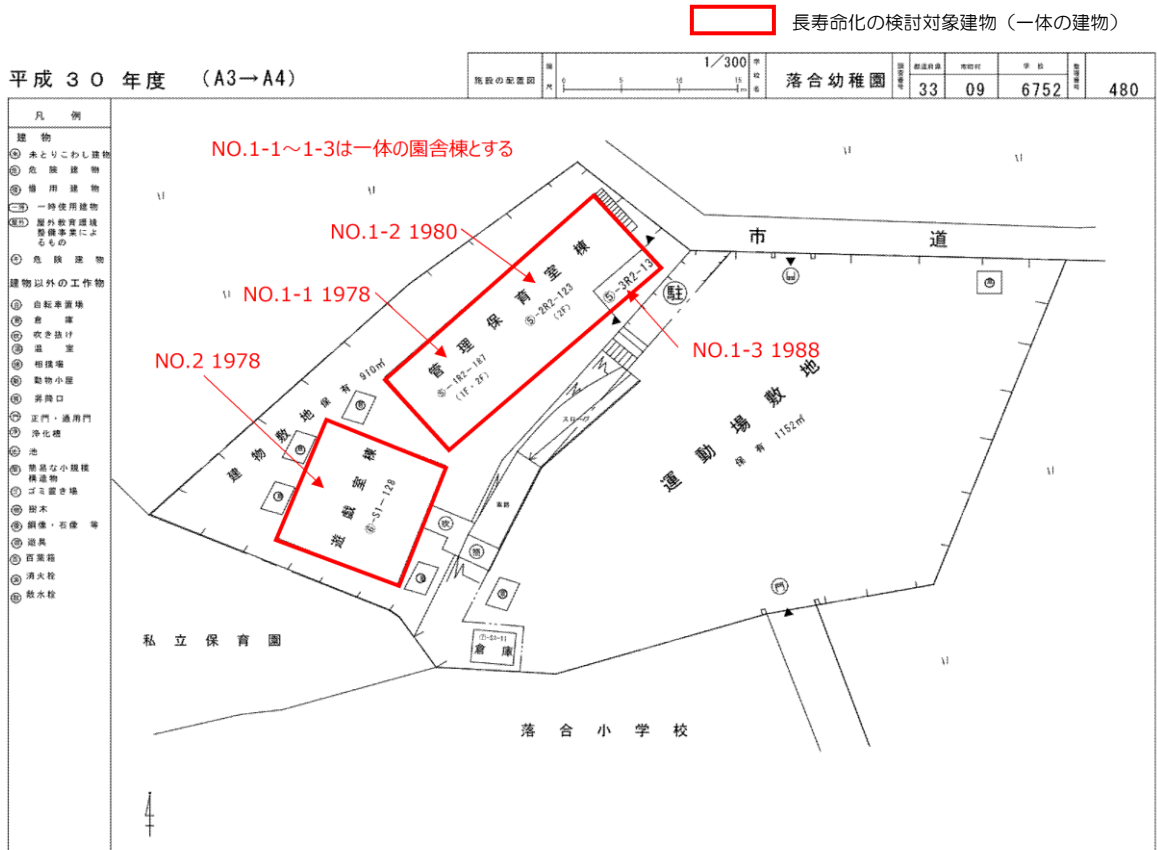


図表 33 巨瀬幼稚園



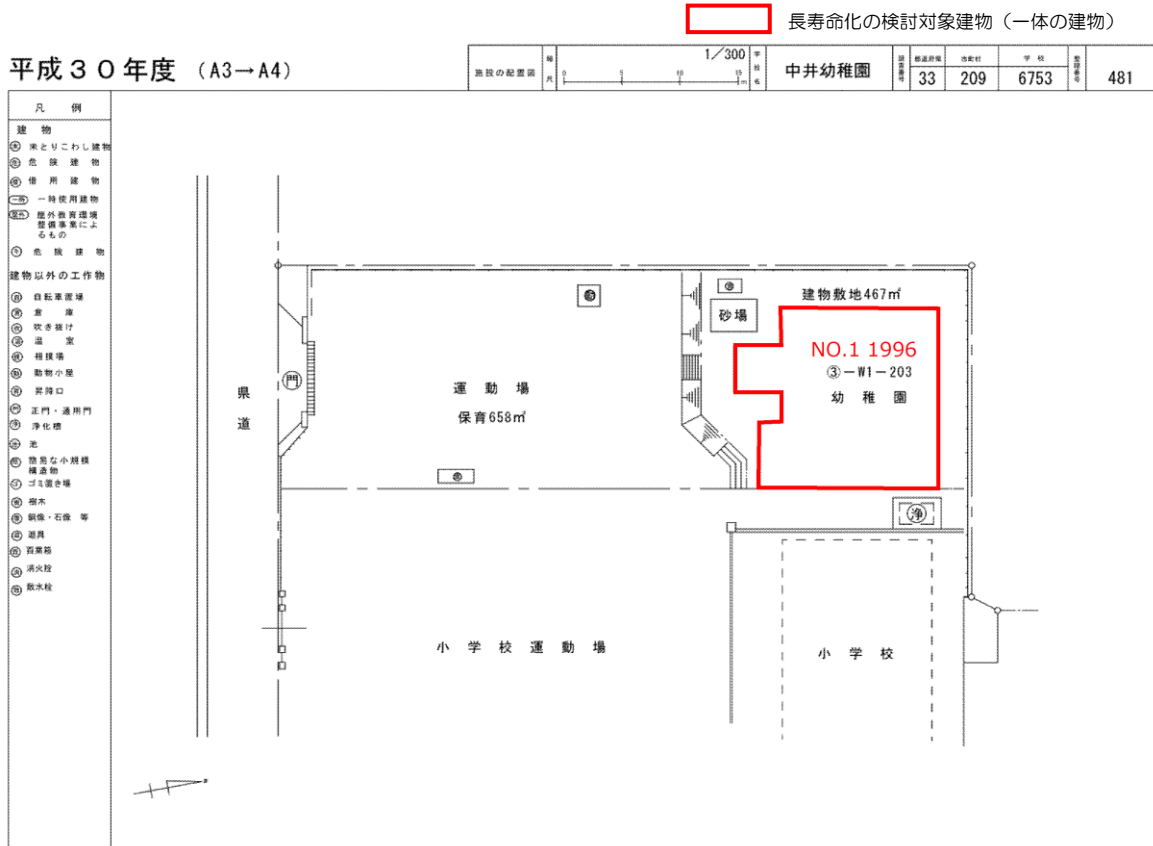
文 部 科 学 省

図表 34 落合幼稚園



文 部 科 学 省

図表 35 中井幼稚園



文 部 科 学 省

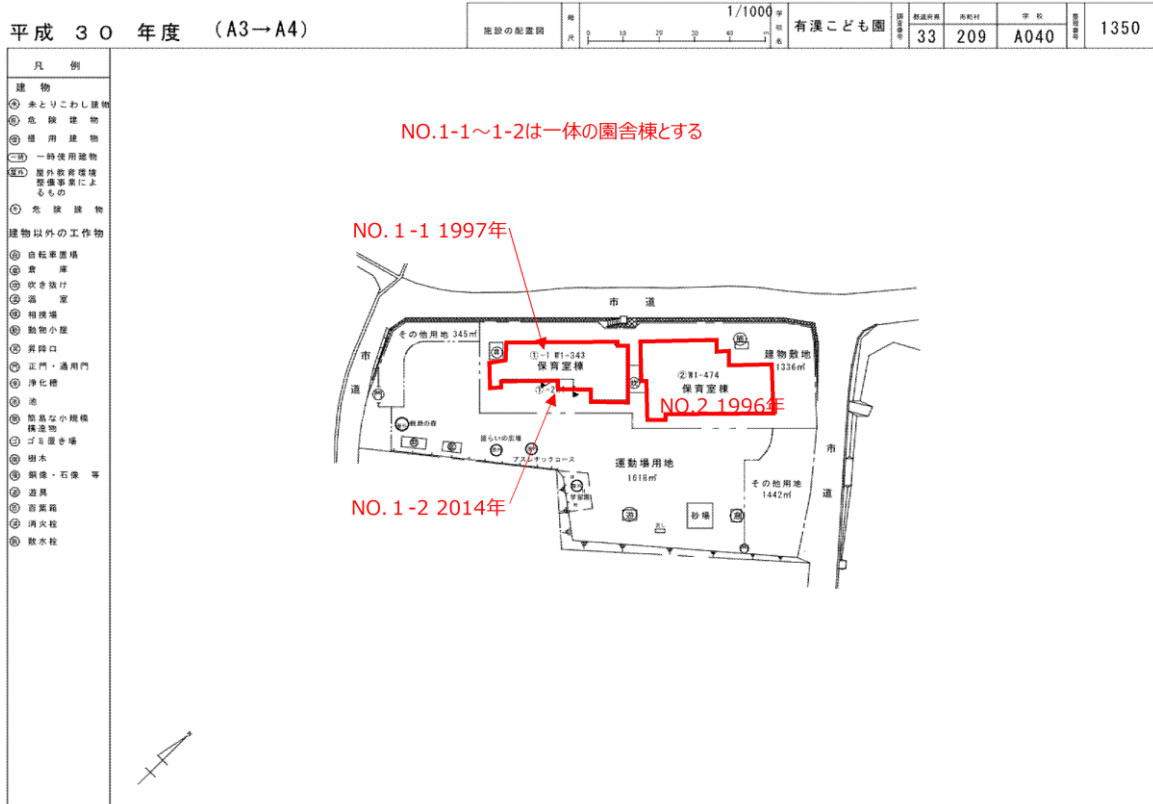
図表 36 福地幼稚園



文 部 科 学 省

図表 37 有漢こども園

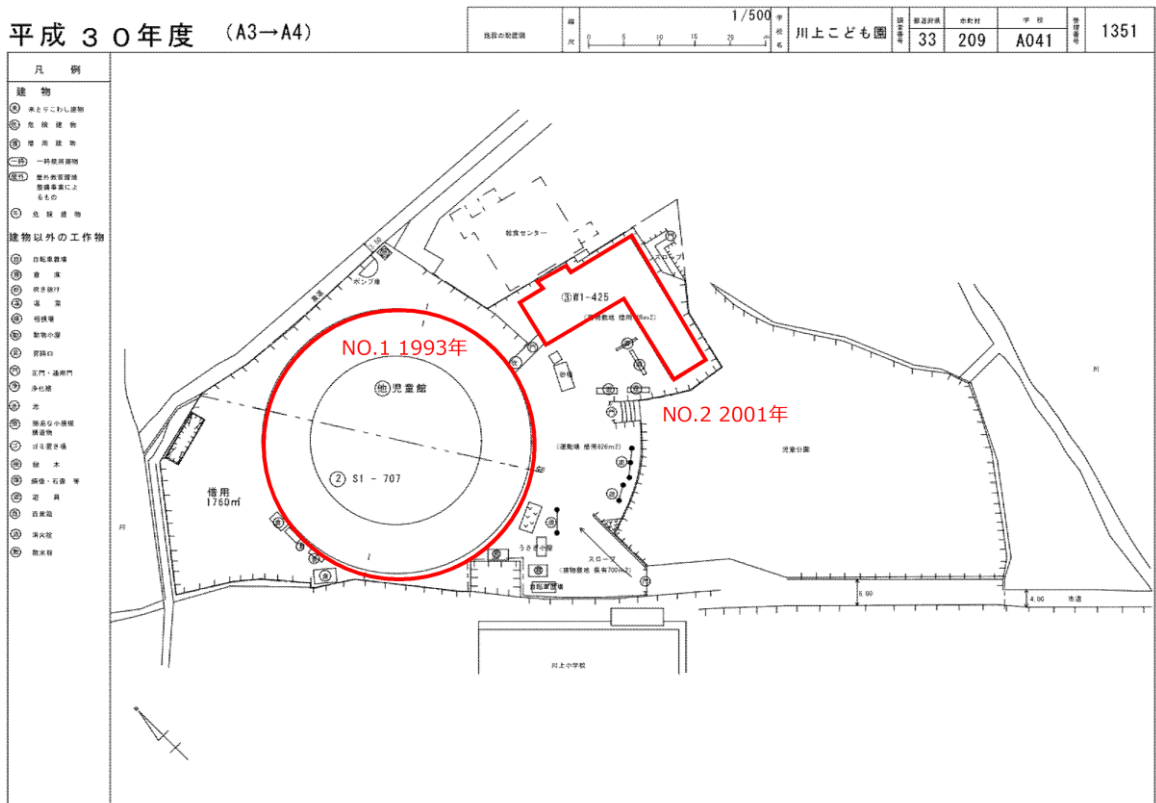
長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



文 部 科 学 省

図表 38 川上こども園

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）



文 部 科 学 省

(5) 給食センターの計画対象施設

計画対象棟の考え方に従い、給食センターの計画対象施設をまとめると以下の様になります。

図表 39 給食センターの計画対象施設

施設名	建物名	棟番号	建物用途	建築年度 (和暦)	棟別床面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
高梁学校給食センター	共同利用施設	1	共同利用施設	H11	878	1,077
	共同利用施設	2		H23	199	
有漢学校給食センター	共同利用施設	1-1	共同利用施設	H23	345	403
	共同利用施設	1-2		H12	58	
川上学校給食センター	共同利用施設	1-1,1-2	共同利用施設	H11	388	388
施設計	3施設	5棟			1,868	1,868

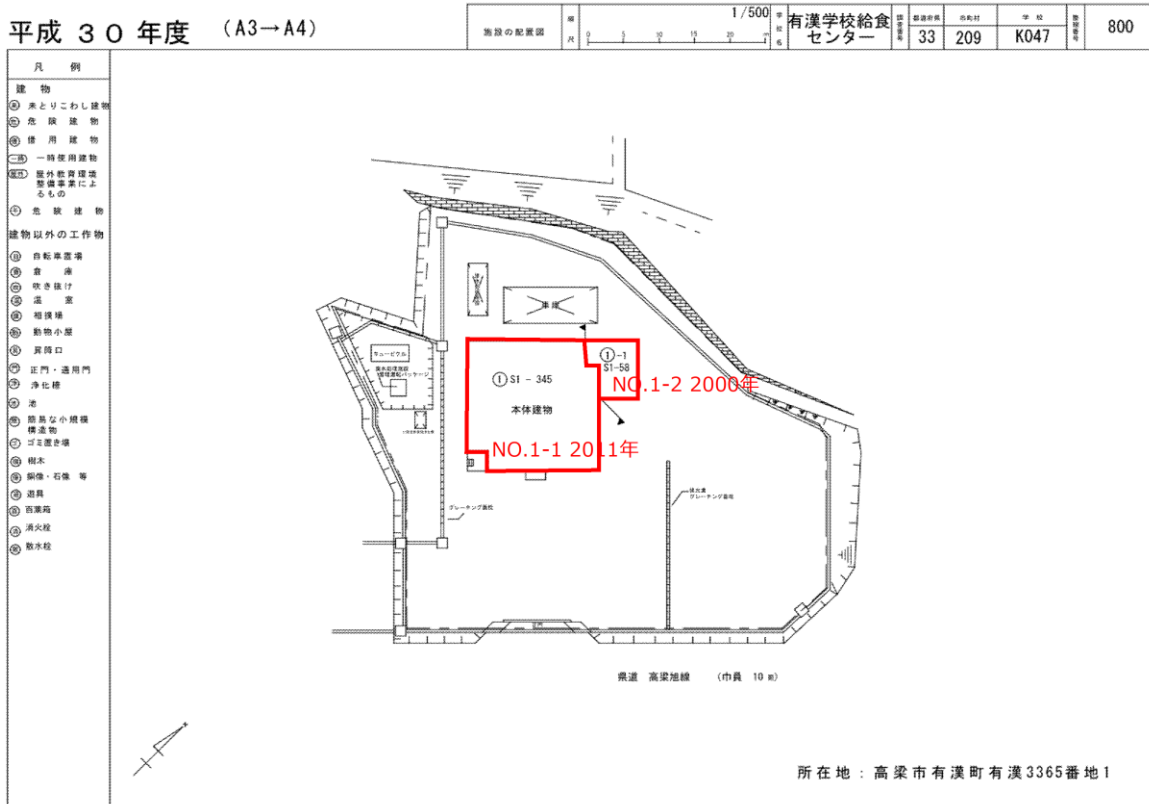
図表 40 高梁学校給食センター



図表 41 有漢学校給食センター

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度 (A3→A4)

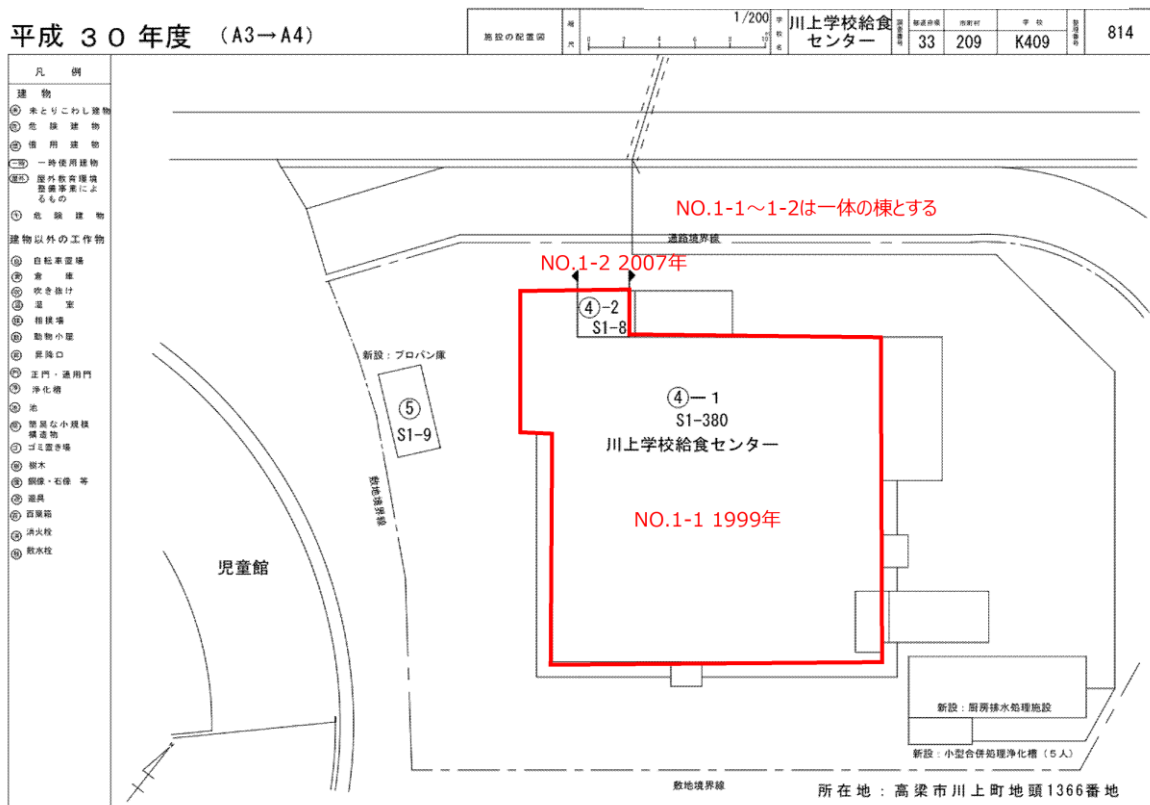


文 部 科 学 省

図表 42 川上学校給食センター

長寿命化の検討対象建物（一体の建物）

平成 30 年度 (A3→A4)



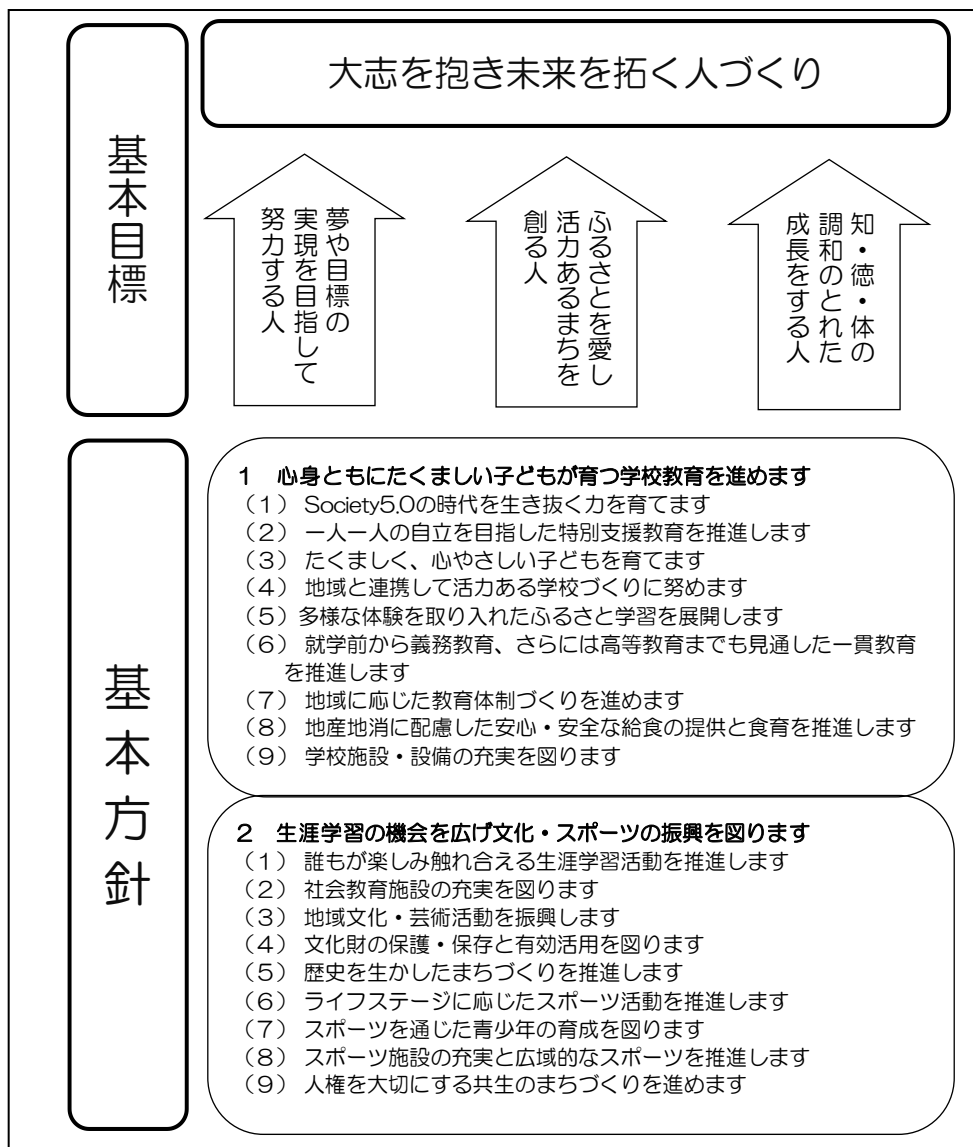
文 部 科 学 省

第2章 学校施設の目指すべき姿

2-1 高梁市教育大綱

高梁市教育大綱（令和2年12月改訂）では、今後の本市の教育、学術及び文化の振興等に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を次のとおり定めています。

図表 43 高梁市教育大綱



参考資料：高梁市教育大綱より抜粋

この教育大綱に基づき、少子高齢化そして過疎化という厳しい環境下にあっても、高梁の豊かな自然や素晴らしい伝統文化を活かした教育を進め、子どもたちがふるさとを愛し元気に育っていくことにより、地域の教育力は高まり、地域は活性化していきます。

そのために、就学前から高等教育までの学校教育、家庭教育や社会教育を充実させ、教育環境を整備することにより、人づくりとまちづくりを一体的に進め、「教育のまち 高梁」の実現を目指します。

2-2 第3次高梁市教育振興基本計画

高梁市教育大綱を指針に本市の教育行政における総合計画として、「第3次高梁市教育振興基本計画」を策定しています。

この基本計画から、学校施設の整備に関する施策を示します。

■基本方針1 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます

●施策7 地域に応じた教育体制づくりを進めます

◆【適切な学校配置と教育体制づくり】

今後の幼児・児童・生徒数の推移を踏まえ、子どもの能力を最大限に伸ばすことができる学級・学校規模を考慮し、統廃合も含めて適切な学校配置を推進します。小学校の通常の学級においては、令和3年度より市独自の弾力化事業として、1学級当たりの人数を30人以下とし、子どもたちが生活しやすく学びやすい環境を整備します。

小規模特認校、義務教育学校等、小規模校の環境を生かした学校環境整備の在り方を研究し、子どもたちの学びの充実を図ります。

●施策8 地産地消に配慮した安心・安全な給食の提供と食育を推進します

◆【施設・設備の適切な維持管理と運営の検討】

食物アレルギー対応等に配慮した安心・安全な学校給食の提供を図るため、老朽化した施設・設備の計画的な更新を進めます。また、施設運営面の今後の在り方については、統合・民間委託等を検討します。

●施策9 学校施設・設備の充実を図ります

◆【施設整備の計画的な実行】

「高梁市学校施設長寿命化計画」に基づき、各学校施設・設備の整備を行います。

◆【施設の維持管理と質的改善】

施設・設備の維持管理に努め、バリアフリー化や空調設備、照明のLED化、トイレ洋式化・乾式化等、教育環境の質的改善を図ります。

参考資料：第3次高梁市教育振興基本計画より抜粋

第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 人口推計及び将来予測

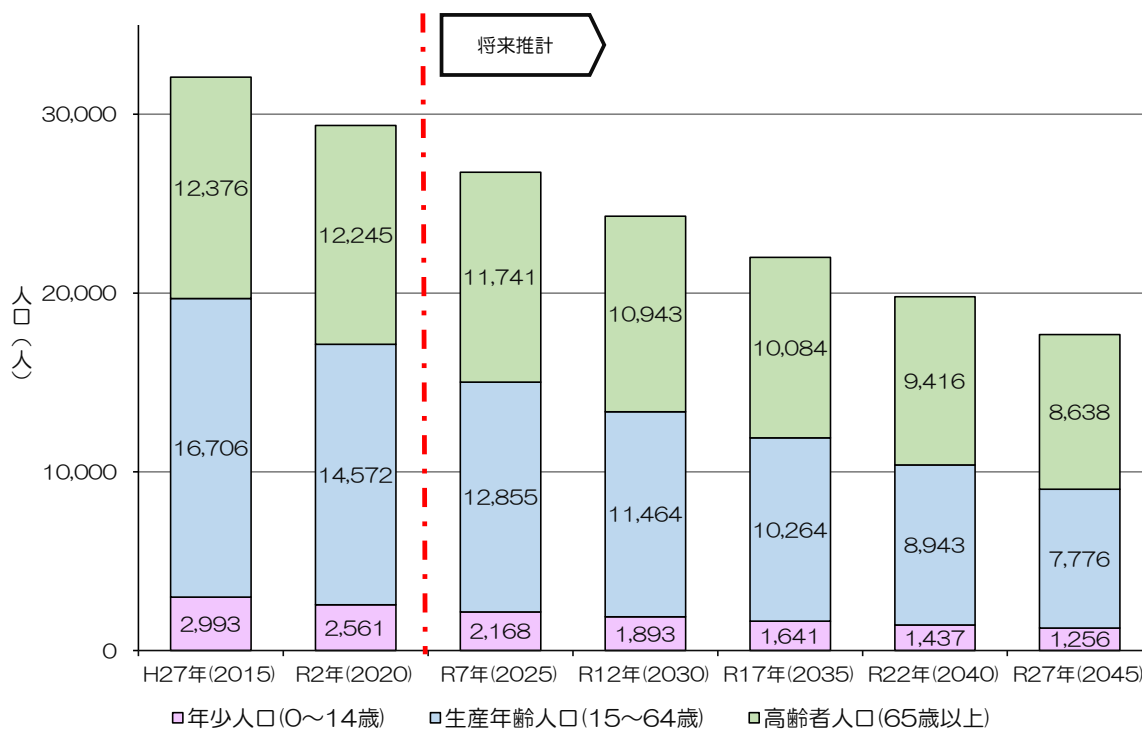
全国的に人口減少が進んでいますが、本市においても同様に年々減少傾向にあります。

国立社会保障・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口（平成30年（2018年）推計）』によると、生産年齢人口（15～64歳）については、平成27年（2015年）の16,706人から、令和27年（2045年）には7,776人に減少すると予測されています。

また、学校園施設に通園・通学の対象となる年少人口（0～14歳）については、平成27年（2015年）の2,993人から、令和27年（2045年）には1,256人に減少し、こちらも約半数になると予測されています。

このように、今後においては、人口減少に伴う公共施設等の整理統合、市民のニーズに即した公共施設等の見直しが必要になると考えられます。

図表 44 人口の将来推計



(2) 児童・生徒数及び学級数の推移

【小学校】

本市における小学校の児童数は、令和2年（2020年）現在で、1,102人（93学級）となっており、平成21年（2009年）から約27%（409人）減少しています。また、令和3年（2021）以降の将来推計においても減少は変わらず、令和8年（2026年）には897人（83学級）になると見込まれています。

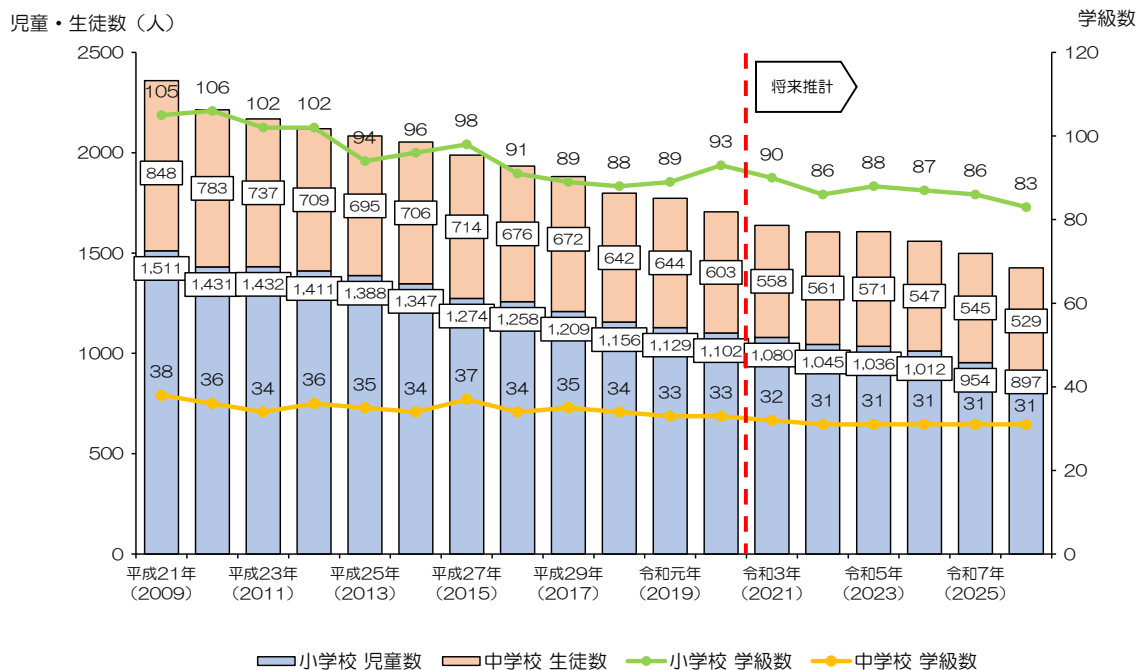
なお、本市においては、児童数の推移に合わせて、平成22年（2010年）4月に高倉小学校を川面小学校に統合、平成24年（2012年）4月に布寄小学校、吹屋小学校を成羽小学校に統合、平成25年（2013年）4月に湯野小学校、平川小学校を富家小学校に統合、平成28年（2016年）4月に西山小学校を新見市の野馳小学校に統合し、学習環境の確保に努めています。

【中学校】

本市における中学校の生徒数は、令和2年（2020年）現在603人（33学級）となっており、平成21年（2009年）から約29%（245人）減少しています。また、令和3年（2021）以降の将来推計においても減少は変わらず、令和8年（2026年）には529人（31学級）になると見込まれています。

また、中学校も小学校と同様に、平成29年（2017年）4月に備中中学校を成羽中学校に統合しています。

図表 45 児童・生徒数及び学級数の推移



- ※西山小学校（H28.4 新見市の野馳小学校へ統合）
- ※湯野小学校（H25.4 富家小学校へ統合）
- ※平川小学校（H25.4 富家小学校へ統合）
- ※布寄小学校（H24.4 成羽小学校へ統合）
- ※吹屋小学校（H24.4 成羽小学校へ統合）
- ※高倉小学校（H22.4 川面小学校へ統合）
- ※備中中学校（H29.4 成羽中学校へ統合）

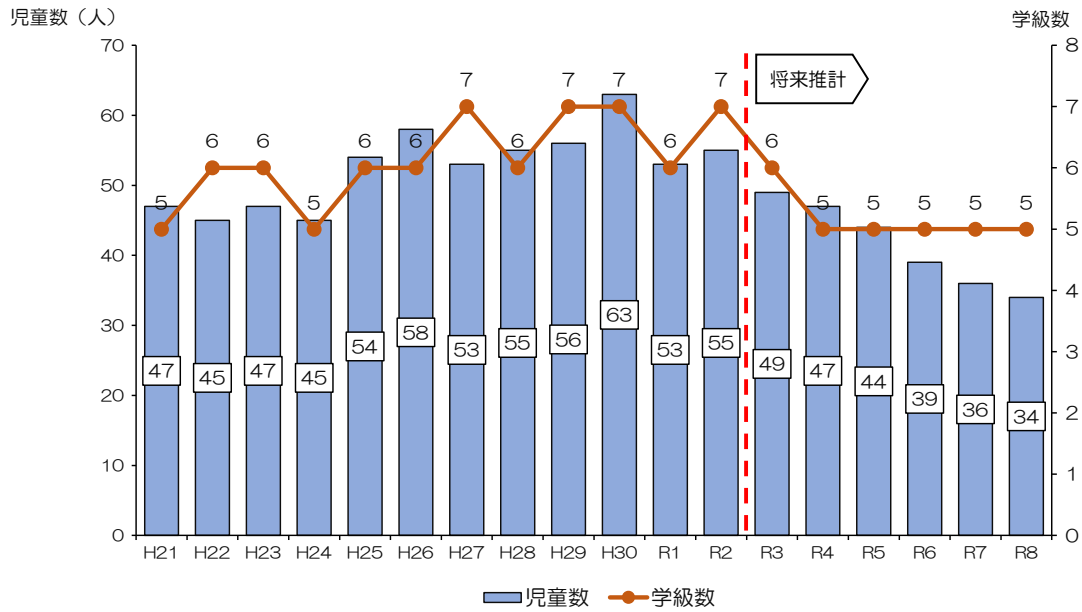
(3) 各小学校における児童数・学級数の推移

各小学校における児童数及び学級数の推移の一覧及び学校ごとの推移を示したグラフを以下に掲載します。

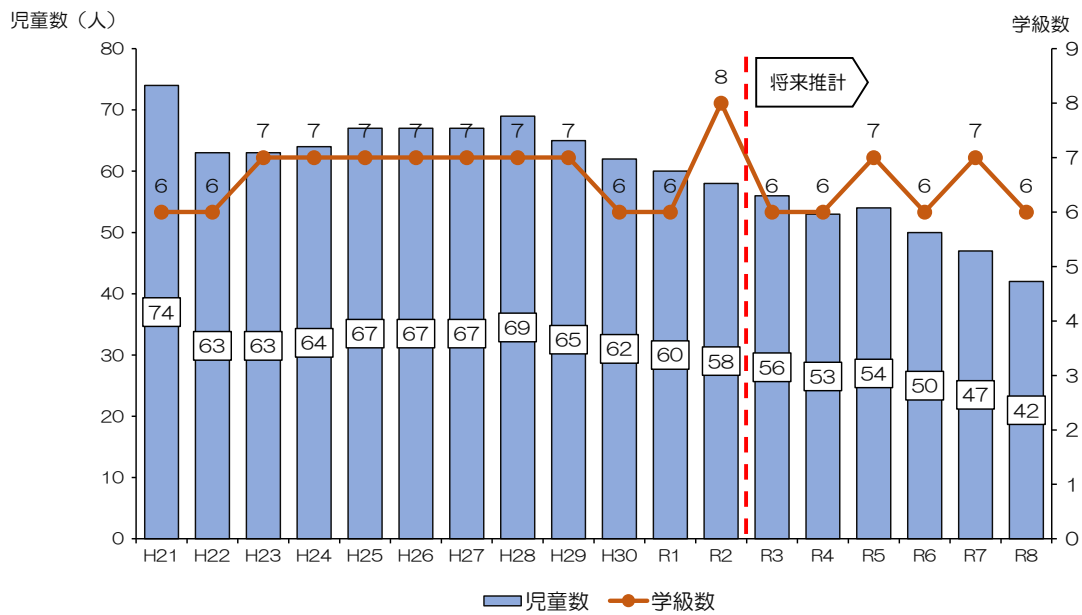
図表 46 各小学校における児童数・学級数の推移

施設名	区分	実績←将来推計																		
		H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	
津川 小学校	児童数	47	45	47	45	54	58	53	55	56	63	53	55	49	47	44	39	36	34	
	学級数	5	6	6	5	6	6	7	6	7	7	6	7	6	5	5	5	5	5	
川面 小学校	児童数	74	63	63	64	67	67	67	69	65	62	60	58	56	53	54	50	47	42	
	学級数	6	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	8	6	6	7	6	7	6	
巨瀬 小学校	児童数	48	40	42	45	45	46	42	44	37	31	26	25	24	22	22	20	21	18	
	学級数	5	5	4	5	5	4	5	4	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	
中井 小学校	児童数	35	32	28	26	25	23	20	21	21	25	26	28	29	26	19	15	16	15	
	学級数	5	5	4	3	3	4	3	3	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	
玉川 小学校	児童数	29	29	31	33	29	31	30	30	26	28	24	22	21	15	16	15	13	13	
	学級数	3	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	
宇治 小学校	児童数	17	17	15	16	19	15	13	12	11	11	12	11	11	12	13	12	10	9	
	学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
松原 小学校	児童数	31	31	28	24	25	25	24	22	24	24	17	15	13	10	6	8	8	8	
	学級数	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
落合 小学校	児童数	244	238	253	251	255	242	234	231	205	188	189	189	182	186	203	202	196	185	
	学級数	11	11	12	12	11	10	12	10	8	7	9	10	9	9	10	10	10	10	
福地 小学校	児童数	12	8	7	6	6	5	8	13	13	13	13	14	12	11	13	14	14	13	
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
高梁 小学校	児童数	407	382	384	377	375	362	345	357	357	344	360	341	340	330	308	312	281	273	
	学級数	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	16	16	16	15	15	15	15	15	
有漢東 小学校	児童数	42	43	47	48	51	52	45	43	38	36	37	35	37	36	37	34	33	31	
	学級数	5	5	5	6	5	6	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	
有漢西 小学校	児童数	64	62	63	61	57	54	58	60	62	63	55	58	58	54	49	44	42	33	
	学級数	6	6	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	6	5	6	5	4	
成羽 小学校	児童数	223	216	207	217	206	194	182	171	165	144	149	150	151	151	164	165	155	141	
	学級数	8	8	9	9	9	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
川上 小学校	児童数	119	120	120	115	100	100	88	87	86	86	72	70	71	65	64	60	61	58	
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
富家 小学校	児童数	61	55	49	49	58	56	55	43	43	38	36	31	26	27	24	22	21	24	
	学級数	7	6	5	6	5	6	6	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	
西山 小学校	児童数	13	11	14	16	16	17	10	H28年4月 新見市の野馳小学校へ統合											
	学級数	3	3	3	3	3	3	3												
湯野 小学校	児童数	11	13	11	9	平成25年4月 富家小学校へ統合														
	学級数	3	3	2	2															
平川 小学校	児童数	13	11	9	9	平成25年4月 富家小学校へ統合														
	学級数	3	3	3	3															
布寄 小学校	児童数	11	8	7	平成24年4月 成羽小学校へ統合															
	学級数	2	2	1																
吹屋 小学校	児童数	5	7	7	平成24年4月 成羽小学校へ統合															
	学級数	1	2	2																
高倉 小学校	児童数	5	平成22年4月 川面小学校へ統合																	
	学級数	1																		
合計	児童数	1,511	1,431	1,432	1,411	1,388	1,347	1,274	1,258	1,209	1,156	1,129	1,102	1,080	1,045	1,036	1,012	954	897	
	学級数	105	106	102	102	94	96	98	91	89	88	89	93	90	86	88	87	86	83	

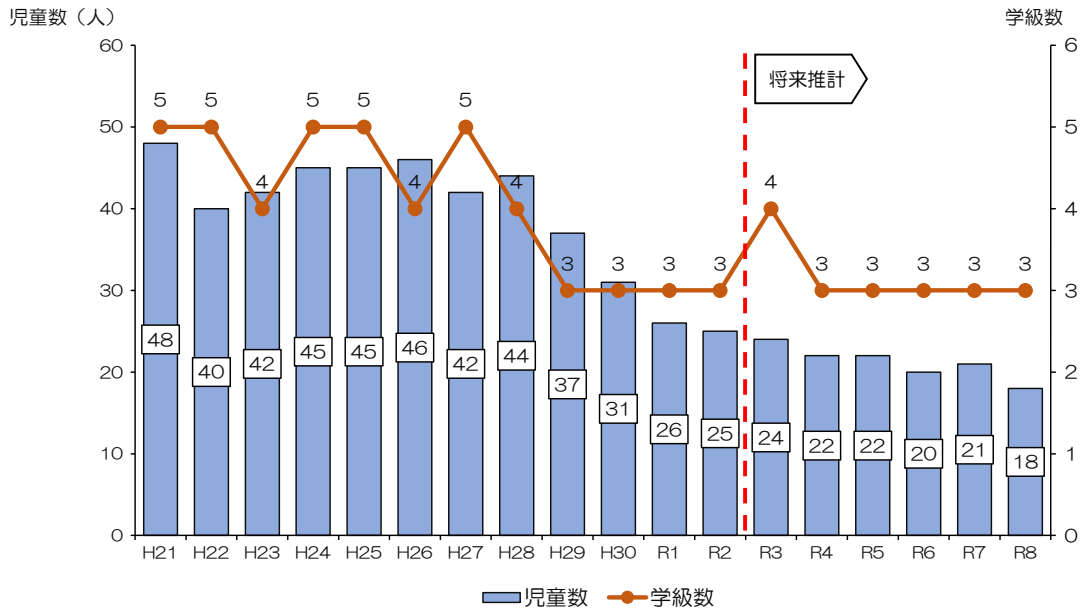
図表 47 津川小学校（児童数・学級数の推移）



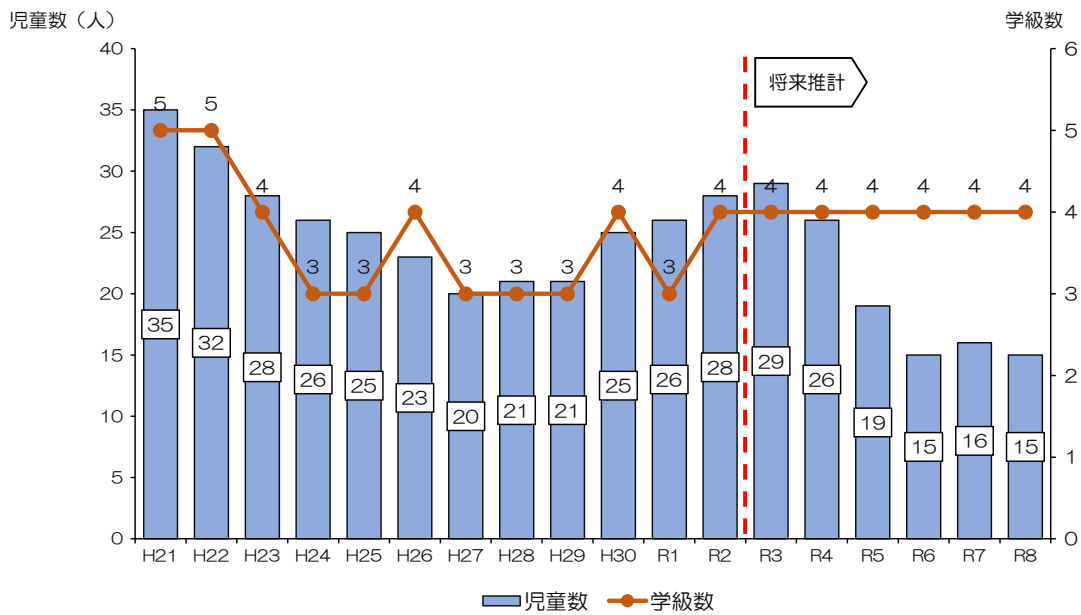
図表 48 川面小学校（児童数・学級数の推移）



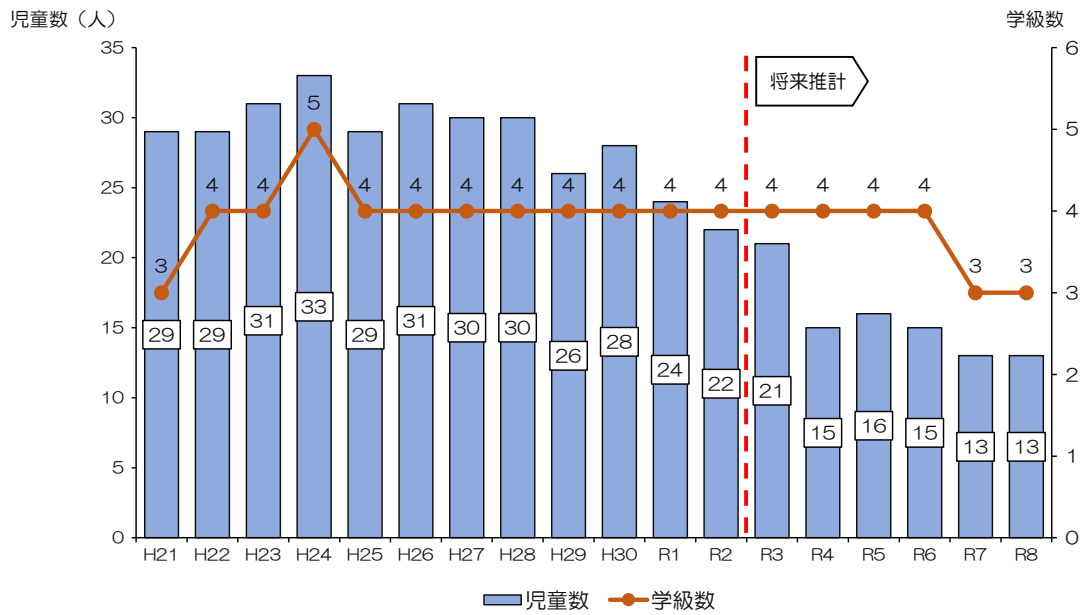
図表 49 巨瀬小学校（児童数・学級数の推移）



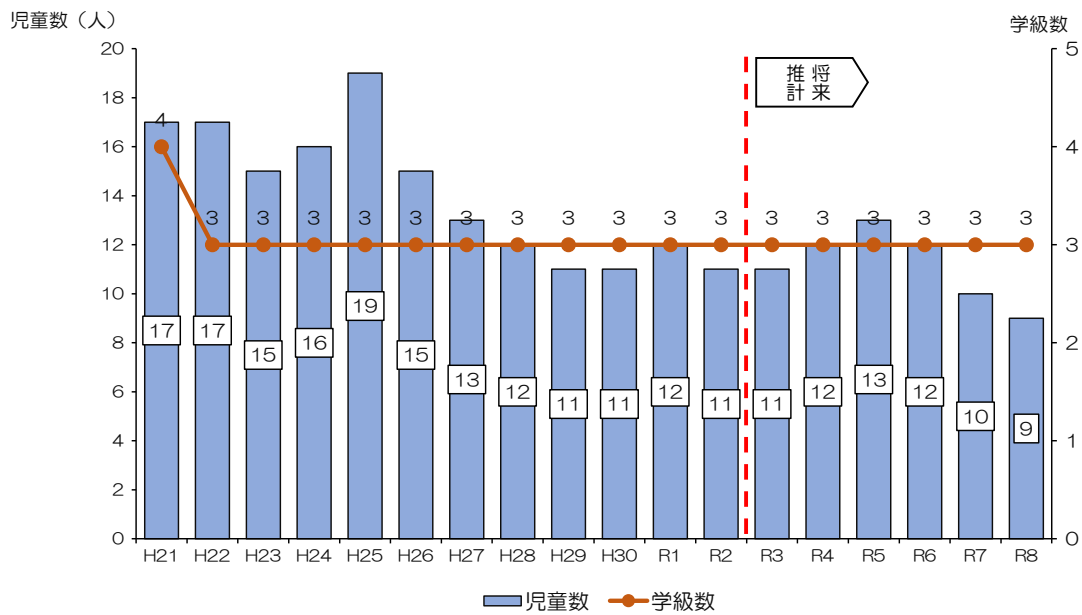
図表 50 中井小学校（児童数・学級数の推移）



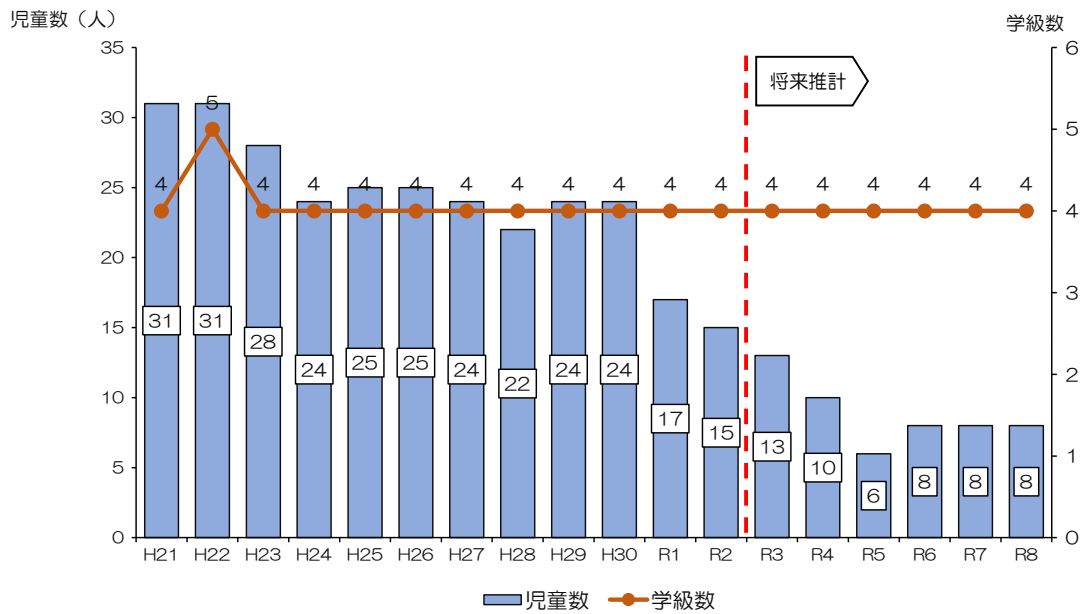
図表 51 玉川小学校（児童数・学級数の推移）



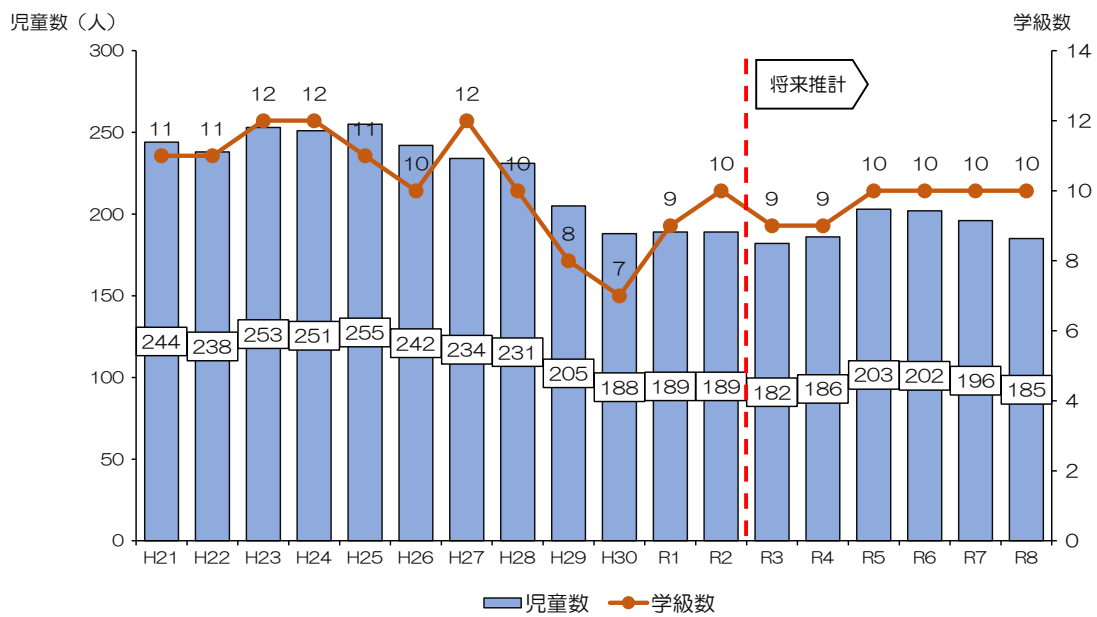
図表 52 宇治小学校（児童数・学級数の推移）



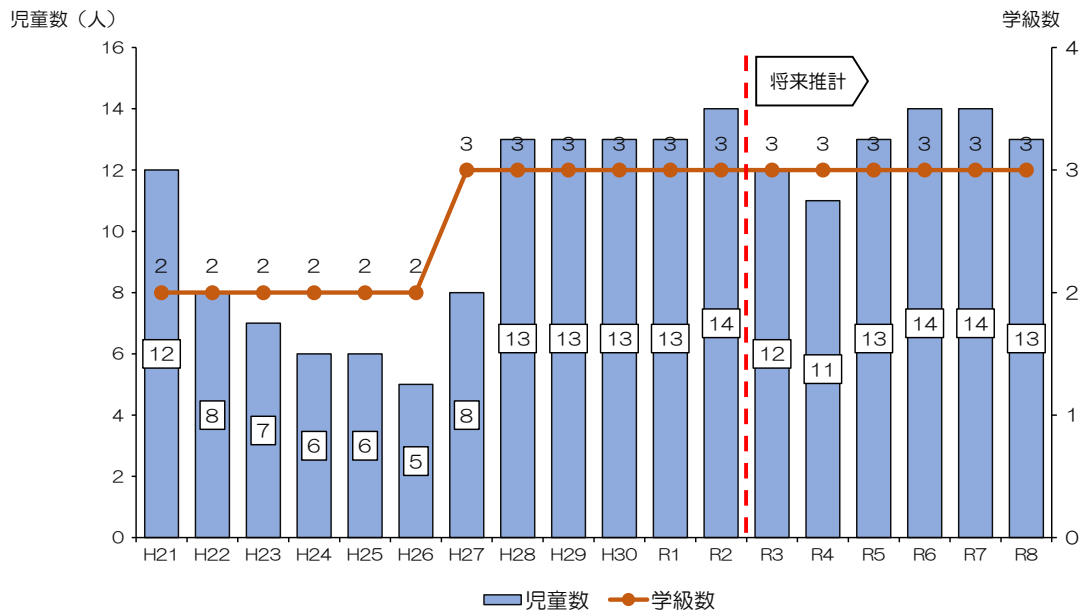
図表 53 松原小学校（児童数・学級数の推移）



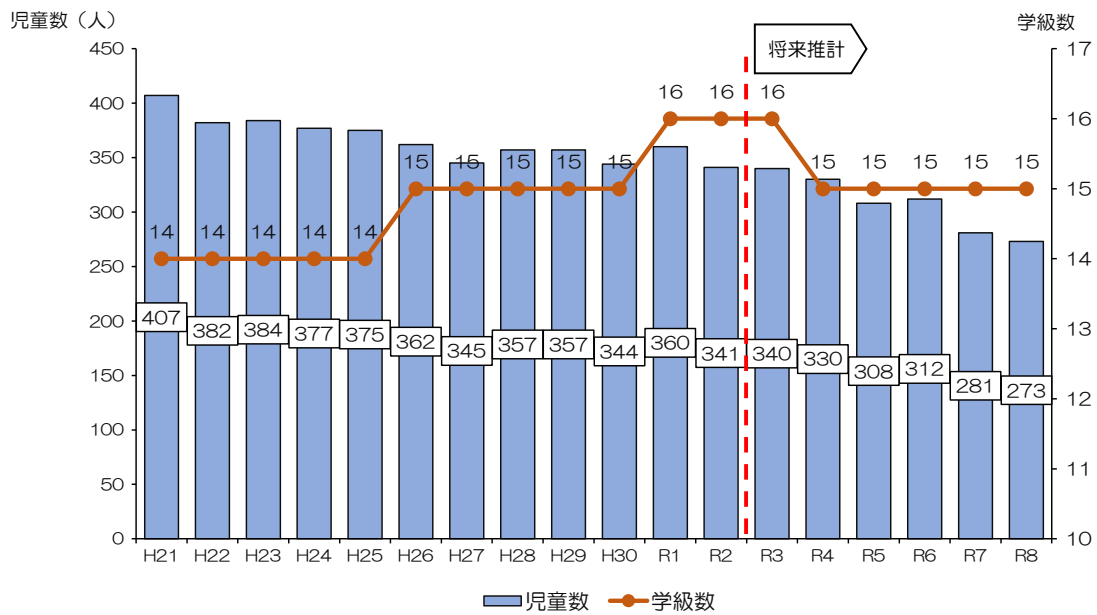
図表 54 落合小学校（児童数・学級数の推移）



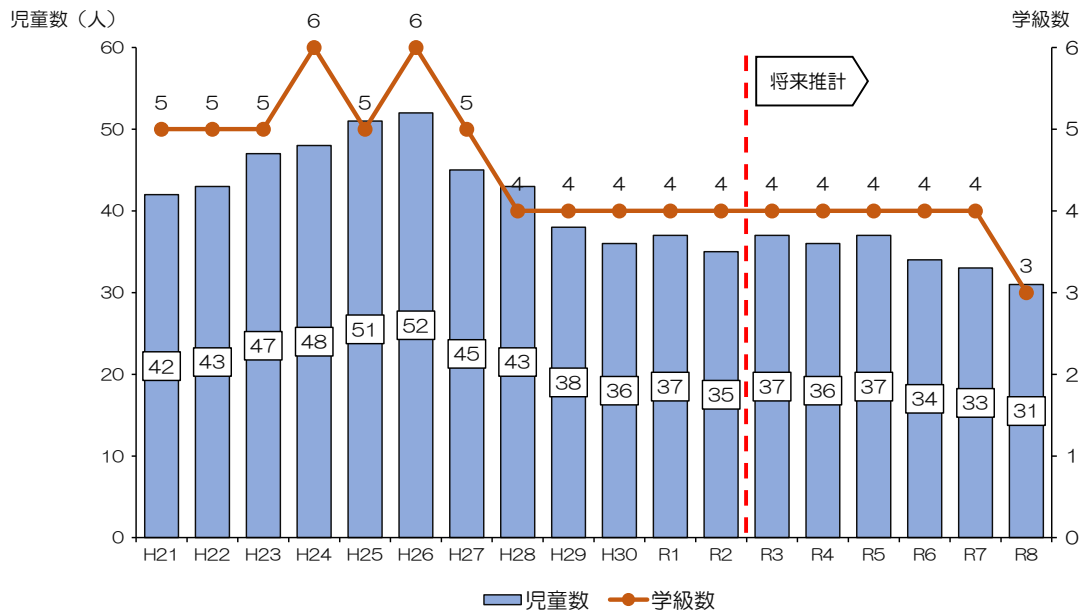
図表 55 福地小学校（児童数・学級数の推移）



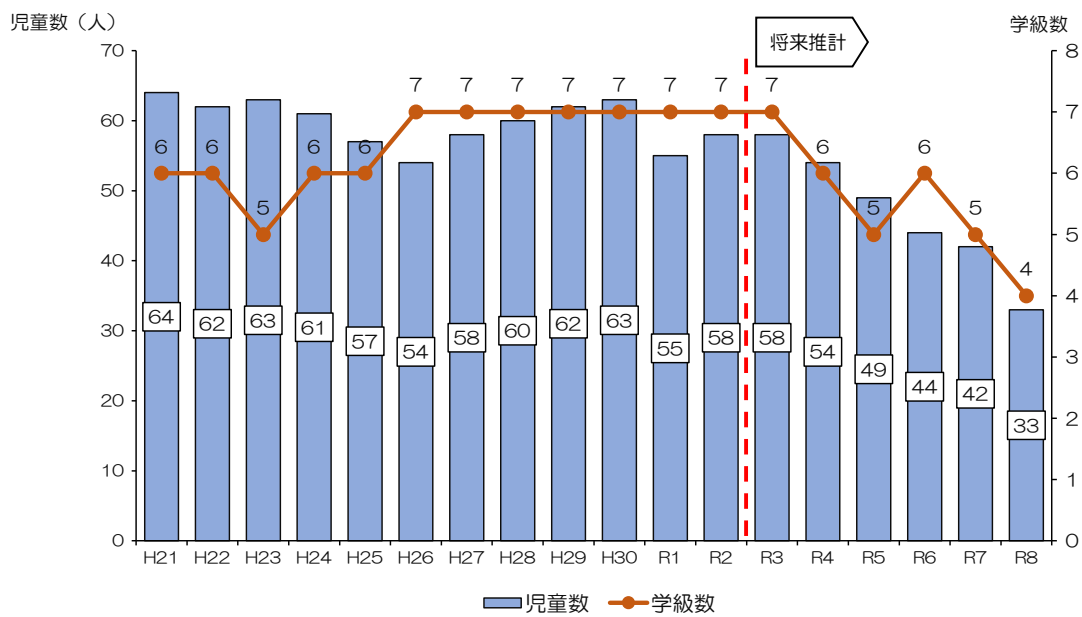
図表 56 高梁小学校（児童数・学級数の推移）



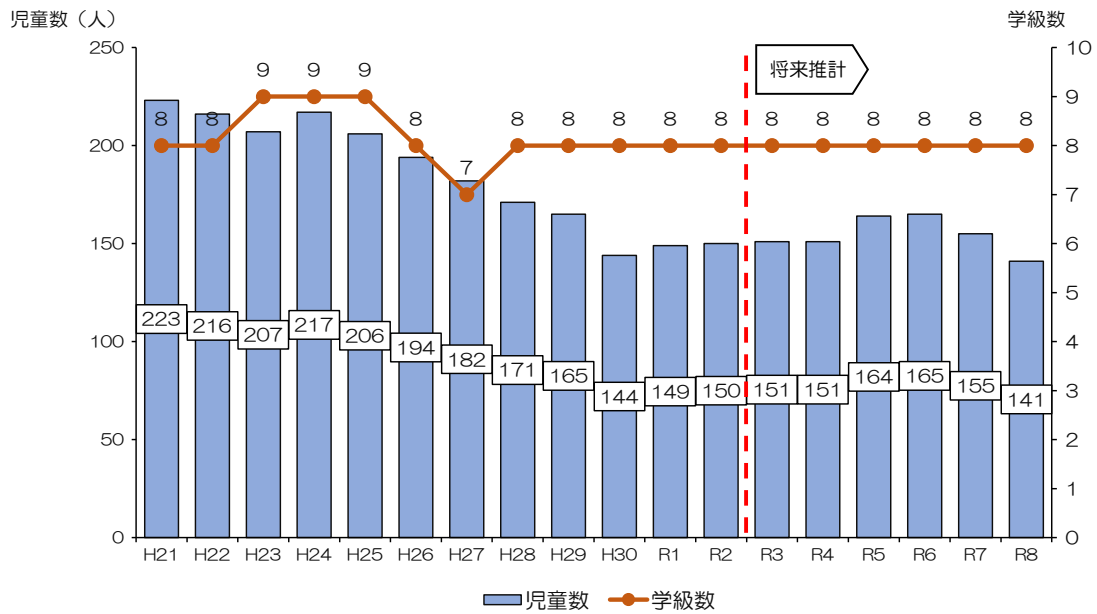
図表 57 有漢東小学校（児童数・学級数の推移）



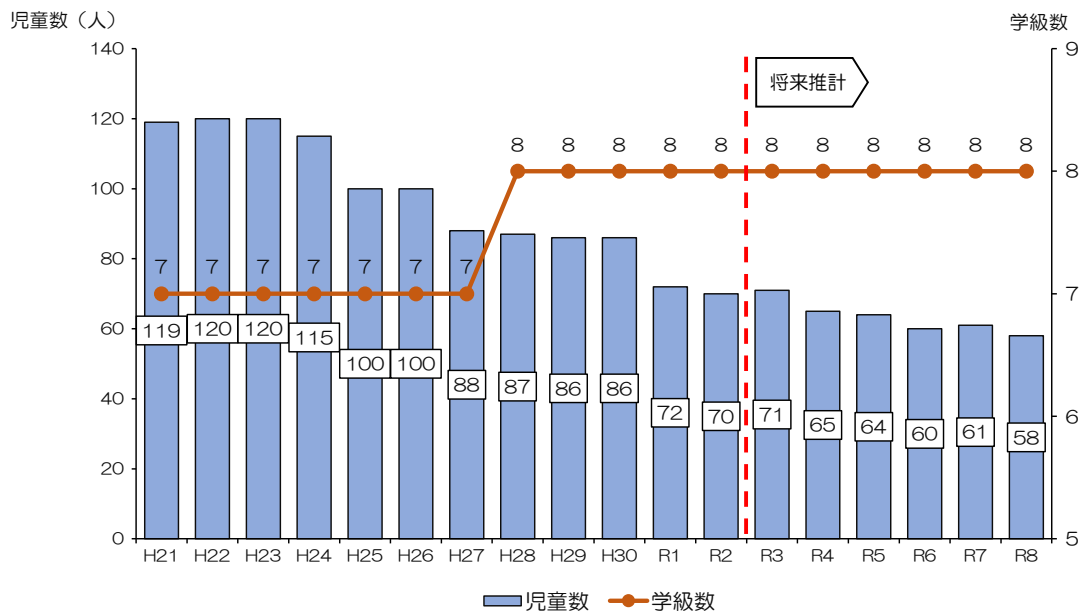
図表 58 有漢西小学校（児童数・学級数の推移）



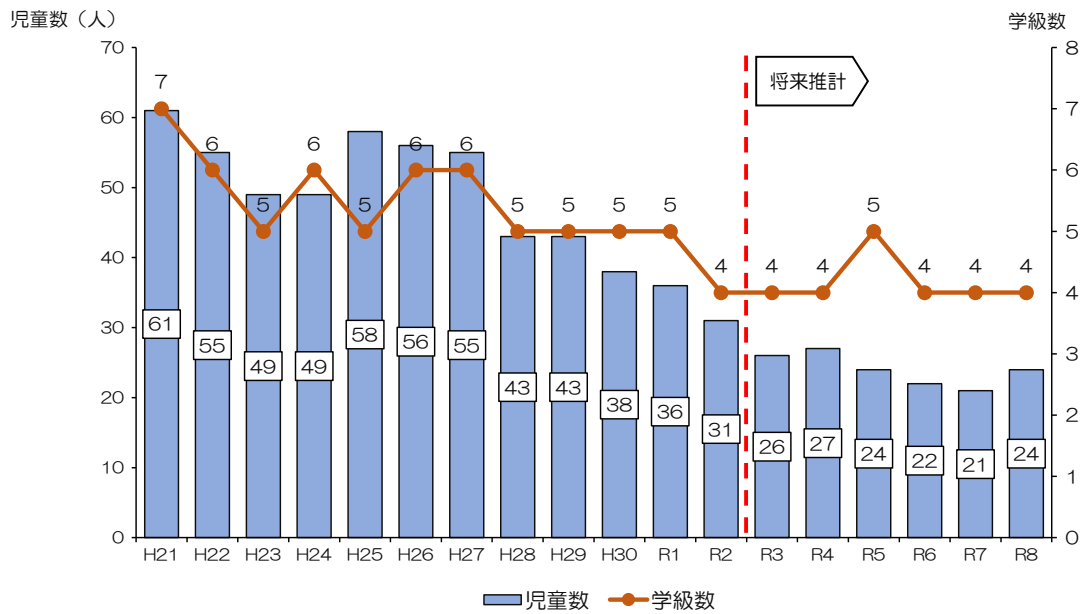
図表 59 成羽小学校（児童数・学級数の推移）



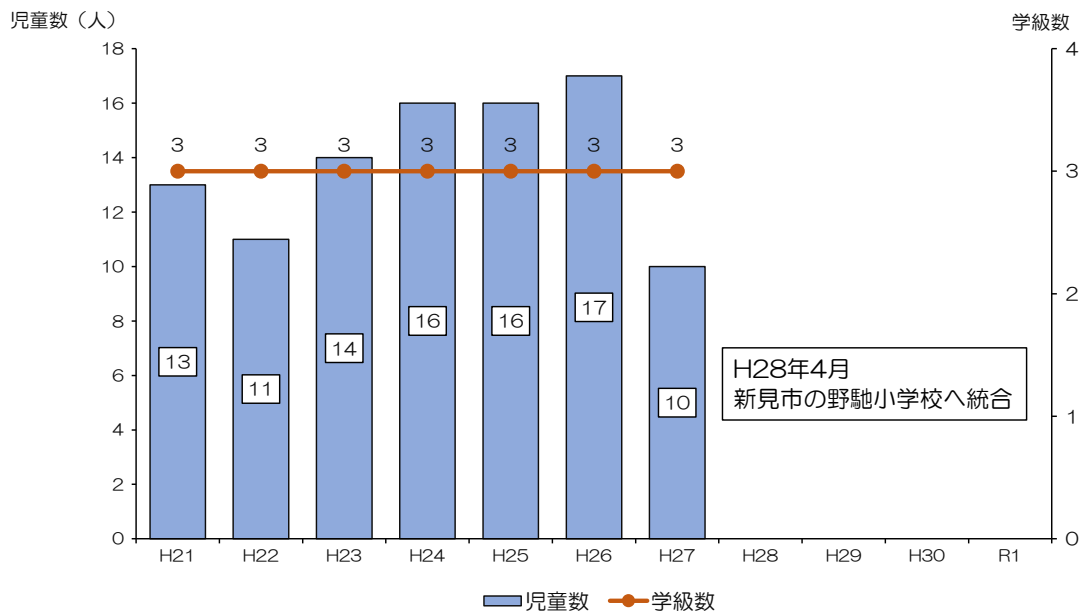
図表 60 川上小学校（児童数・学級数の推移）



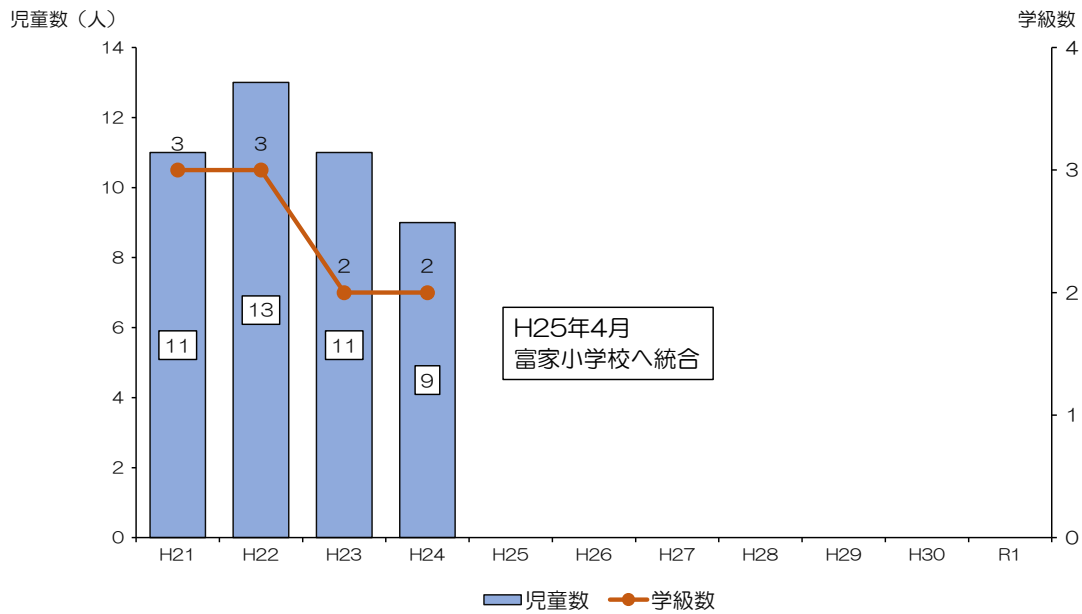
図表 61 富家小学校（児童数・学級数の推移）



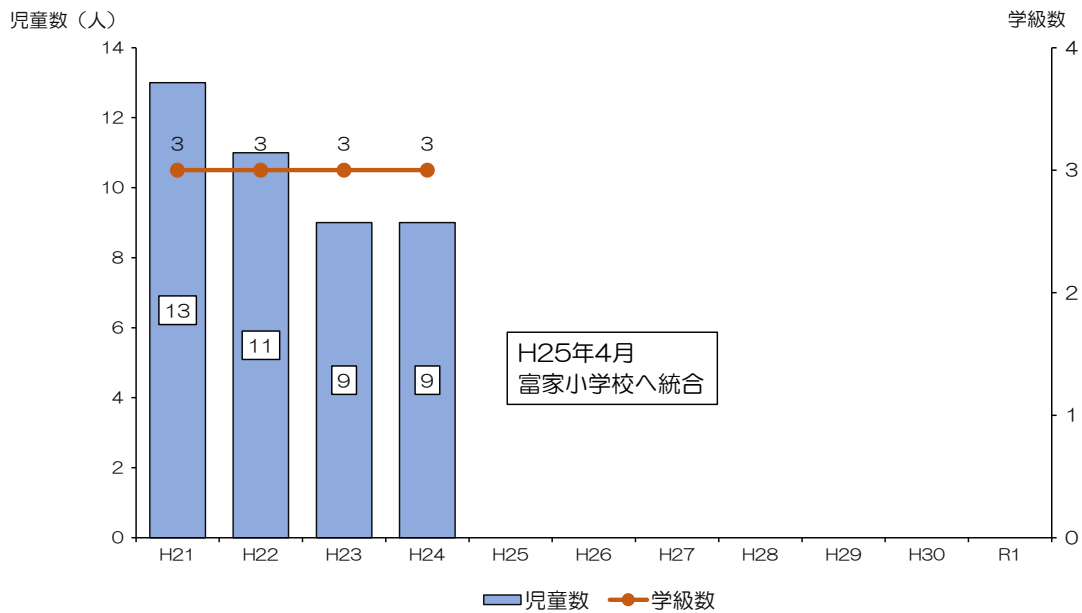
図表 62 西山小学校（児童数・学級数の推移）※平成 28 年閉校



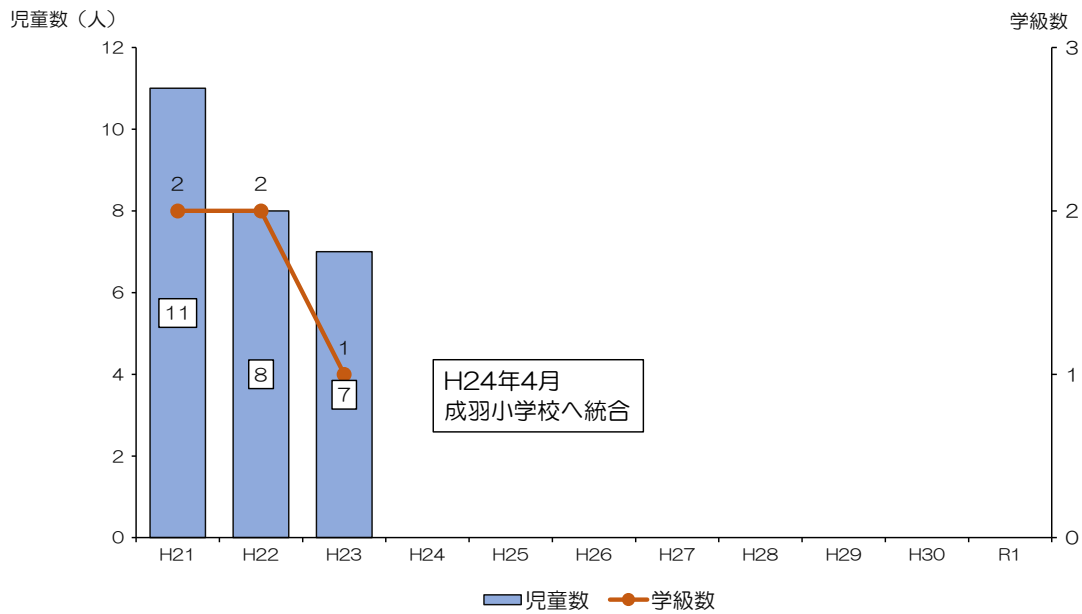
図表 63 湯野小学校（児童数・学級数の推移）※平成 25 年閉校



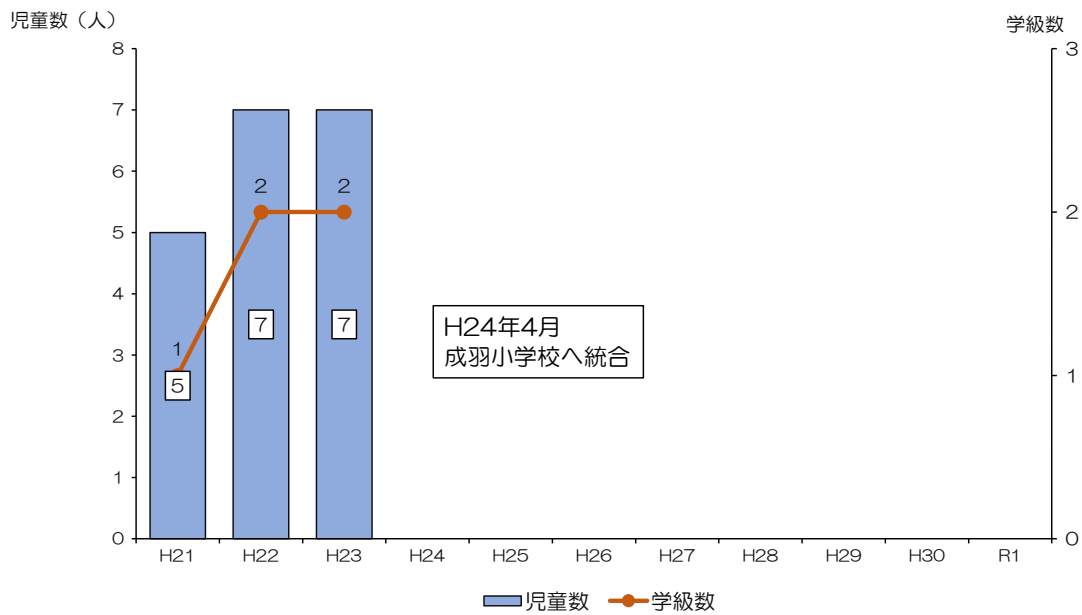
図表 64 平川小学校（児童数・学級数の推移）※平成 25 年閉校



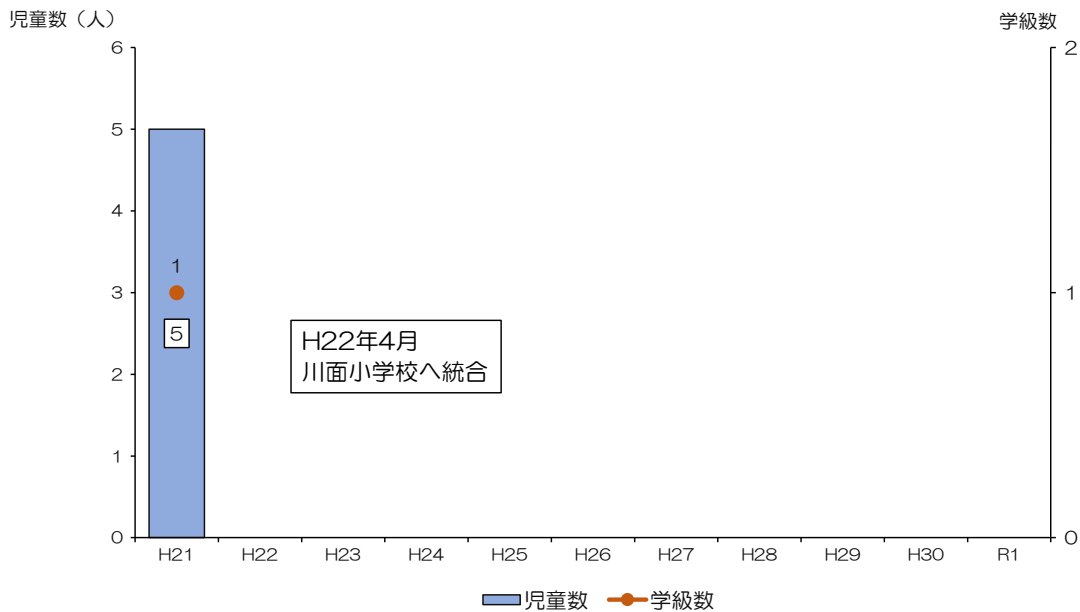
図表 65 布寄小学校（児童数・学級数の推移）※平成 24 年廃校



図表 66 吹屋小学校（児童数・学級数の推移）※平成 24 年閉校



図表 67 高倉小学校（児童数・学級数の推移）※平成 22 年閉校



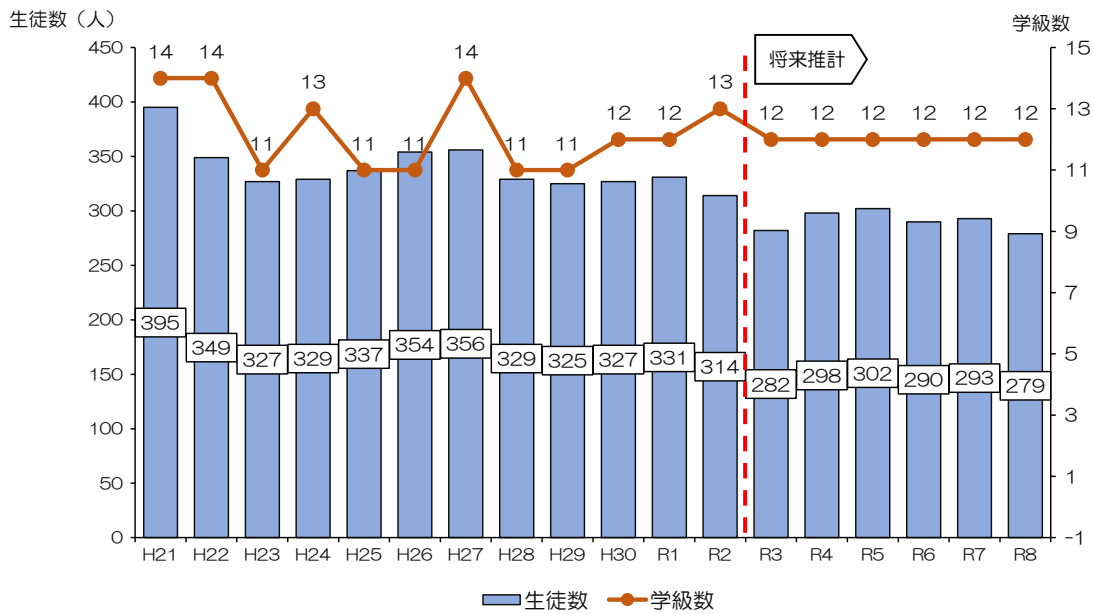
(4) 各中学校における生徒数・学級数の推移

各中学校における生徒数及び学級数推移の一覧及び学校ごとの推移を示したグラフを以下に掲載します。

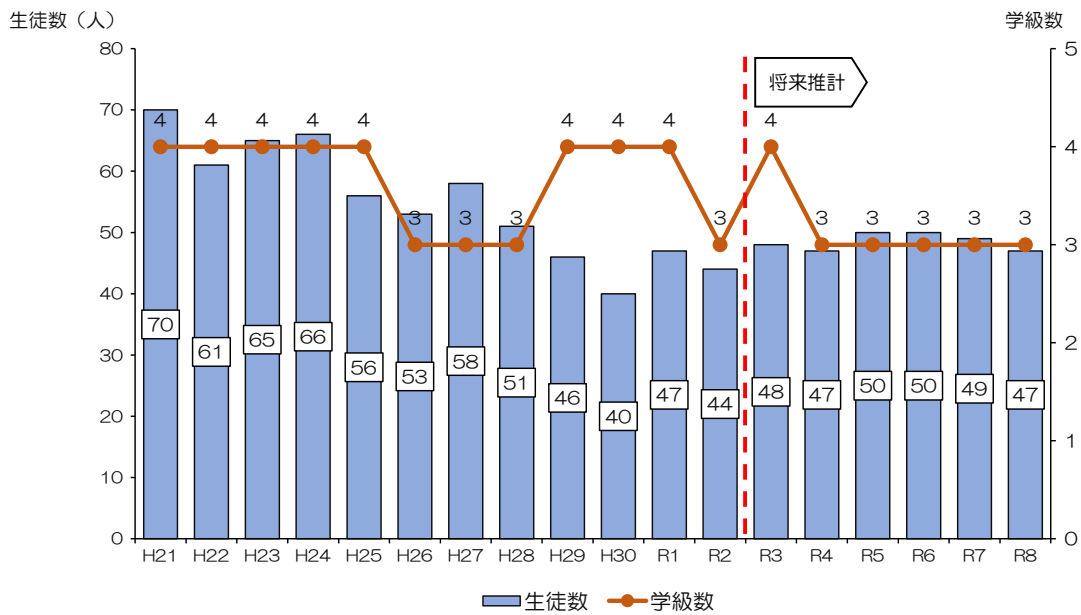
図表 68 各中学校における生徒数・学級数の推移

施設名	区分	実績←→将来推計																	
		H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
高梁 中学校	生徒数	395	349	327	329	337	354	356	329	325	327	331	314	282	298	302	290	293	279
	学級数	14	14	11	13	11	11	14	11	11	12	12	13	12	12	12	12	12	12
高梁北 中学校	生徒数	70	61	65	66	56	53	58	51	46	40	47	44	48	47	50	50	49	47
	学級数	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3
高梁東 中学校	生徒数	71	58	55	41	35	39	47	47	54	39	49	43	49	45	42	40	34	37
	学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
有漢 中学校	生徒数	45	51	45	49	49	50	50	50	51	51	55	53	53	45	49	47	46	44
	学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
成羽 中学校	生徒数	138	129	132	119	111	114	108	111	139	135	112	102	90	91	92	81	89	88
	学級数	6	5	6	5	5	5	5	5	8	7	6	6	5	5	5	5	5	5
川上 中学校	生徒数	72	74	62	55	60	58	58	51	57	50	50	47	36	35	36	39	34	34
	学級数	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
備中 中学校	生徒数	57	61	51	50	47	38	37	37	H29年4月 成羽中学校へ統合									
	学級数	3	3	3	4	4	4	4	4										
合計	生徒数	848	783	737	709	695	706	714	676	672	642	644	603	558	561	571	547	545	529
	学級数	38	36	34	36	35	34	37	34	35	34	33	33	32	31	31	31	31	31

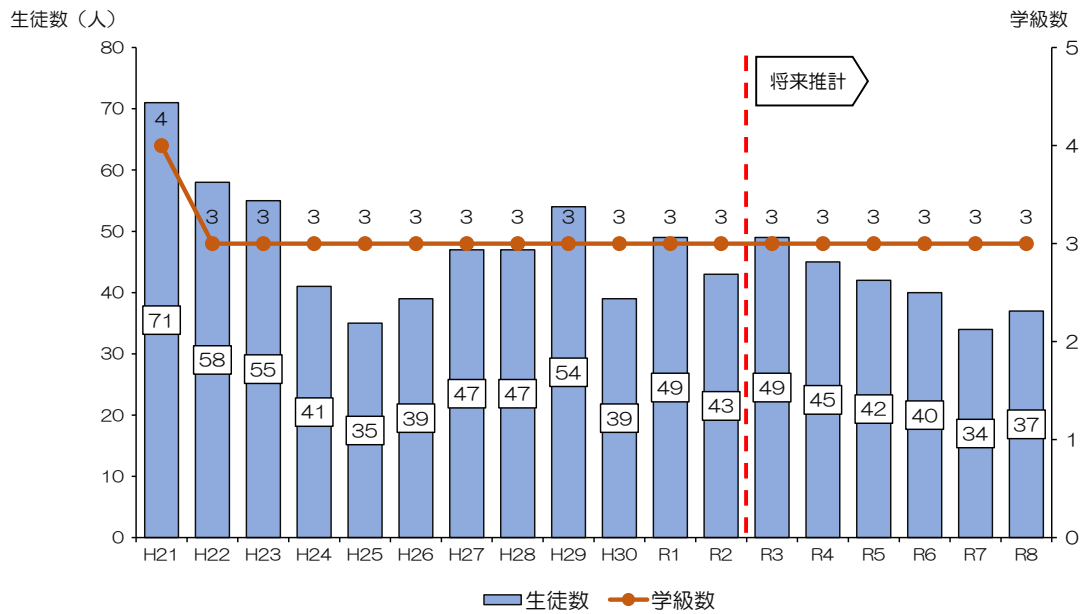
図表 69 高梁中学校（生徒数・学級数の推移）



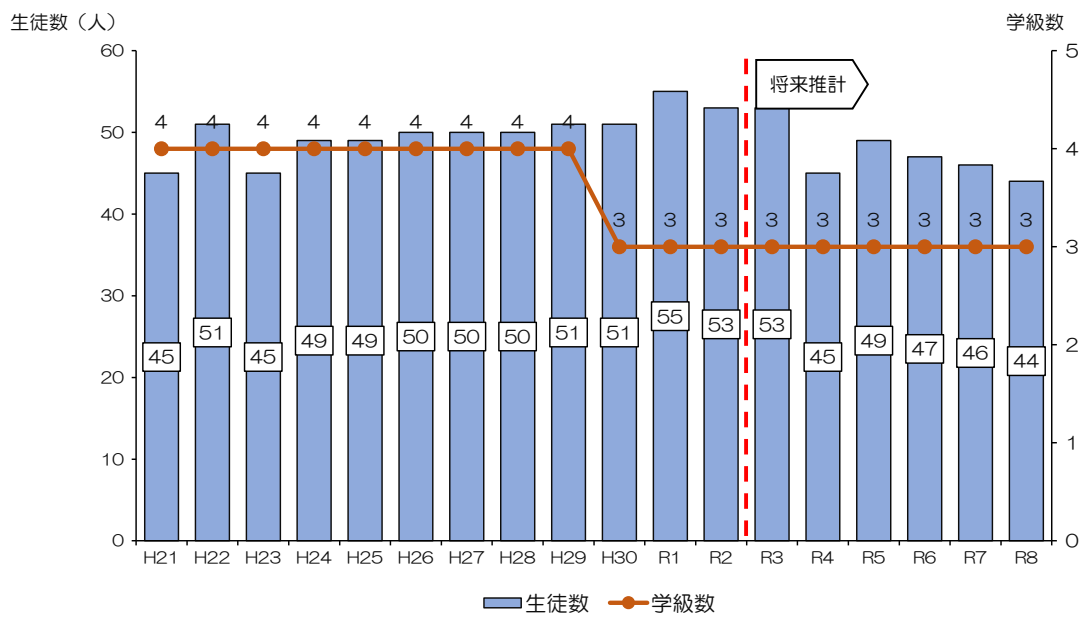
図表 70 高梁北中学校（生徒数・学級数の推移）



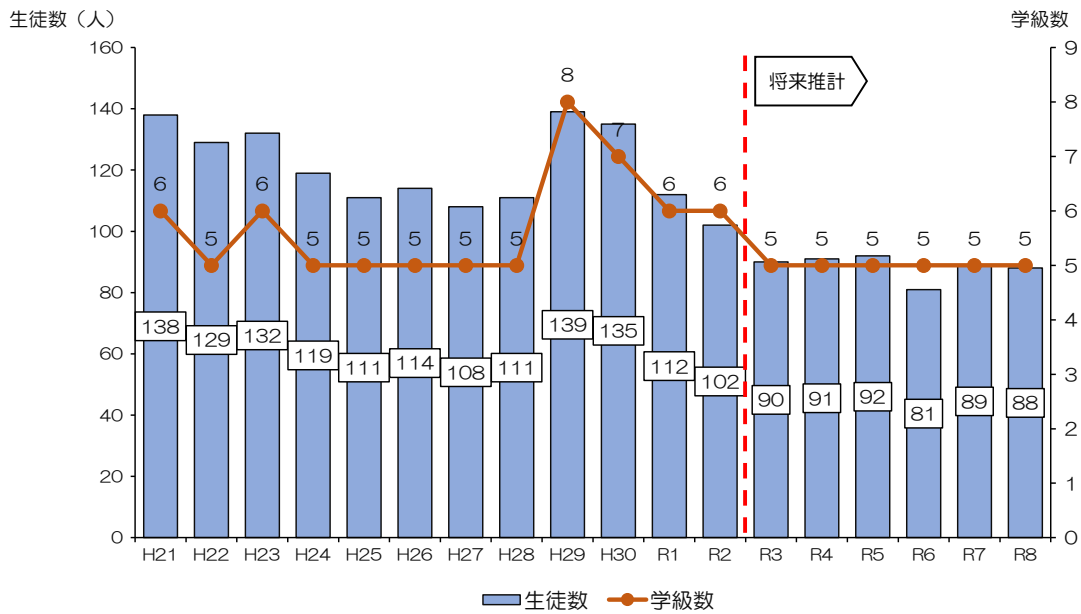
図表 71 高梁東中学校（生徒数・学級数の推移）



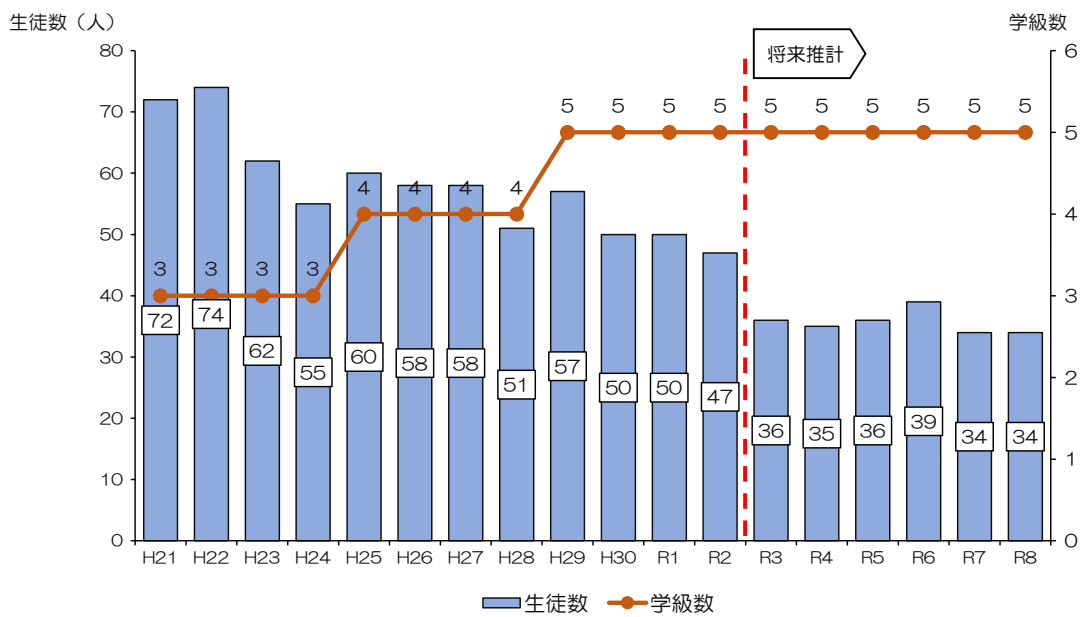
図表 72 有漢中学校（生徒数・学級数の推移）



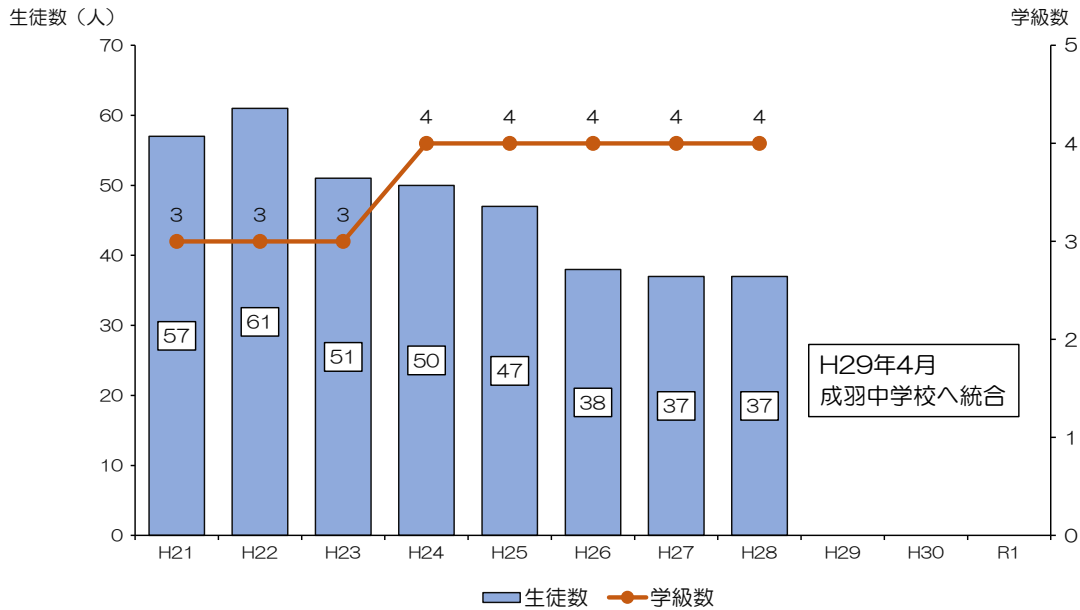
図表 73 成羽中学校（生徒数・学級数の推移）



図表 74 川上中学校（生徒数・学級数の推移）



図表 75 備中中学校（生徒数・学級数の推移）※平成 29 年閉校



(5) 学校教育施設の保有量

本計画対象の建築物(棟)の総面積は、69,985㎡で、小学校約58.1%、中学校約33.9%、高等学校0.4%、幼稚園・こども園4.9%、給食センター2.7%となっています。また、計画対象とした一体棟の全棟数は77棟です。

これら建築物(棟)が建築された年をみると、多少のばらつきはあるものの昭和50年代から平成初期にかけて多くの建築物(棟)が整備されています。

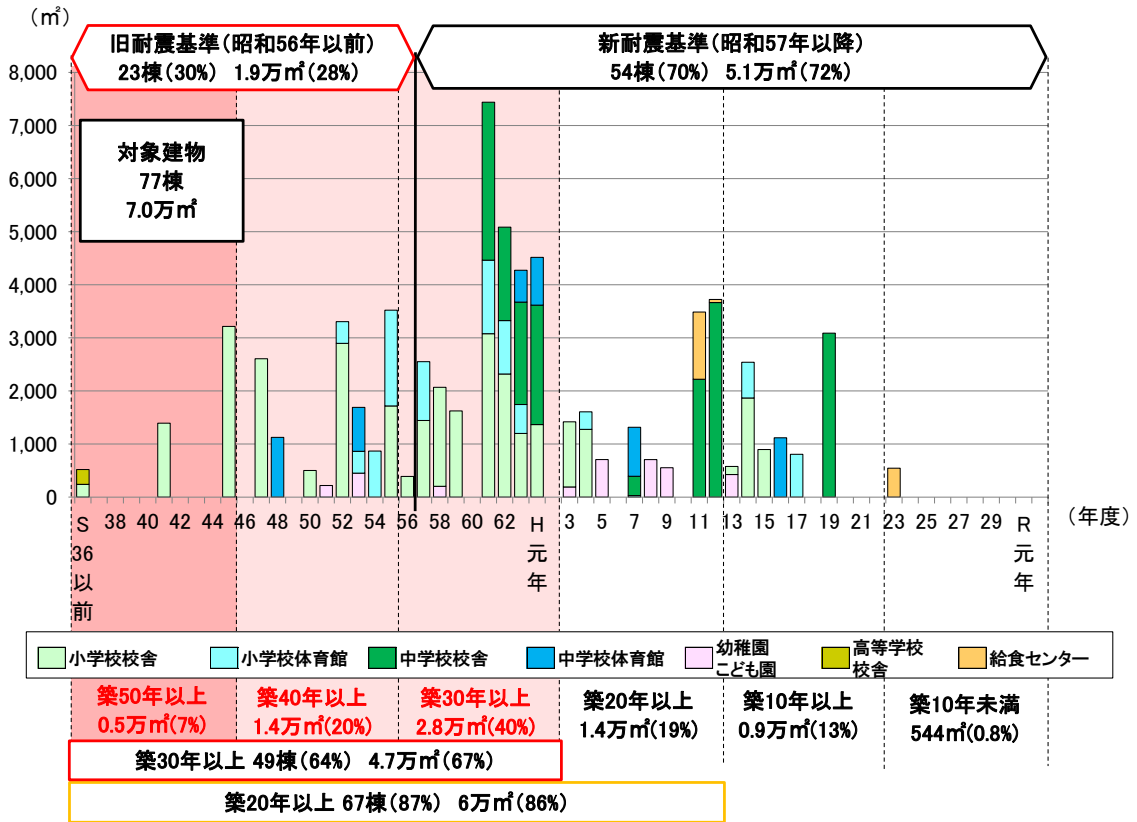
現時点(令和2年度)において、築30年以上を経過している建物は約4.7万㎡(49棟)となっており、全体の約67%を占めています。また、新耐震基準(昭和57(1982)年)以降に建てられた建築物(棟)は、約5.1万㎡(54棟)で全体の約72%となっています。

なお、現在までに校舎棟、屋内運動場については、宇治高校の施設を除き耐震補強を実施しています。

図表 76 計画対象棟数及び面積

施設区分	施設数	集約した棟数	延床面積(㎡)	面積構成比
小学校	15施設	45棟	40,639	58.1%
中学校	6施設	15棟	23,745	33.9%
高等学校	1施設	1棟	279	0.4%
幼稚園・こども園	8施設	11棟	3,454	4.9%
給食センター	3施設	5棟	1,868	2.7%
総計	33施設	77棟	69,985	100.0%

図表 77 築年別整備面積

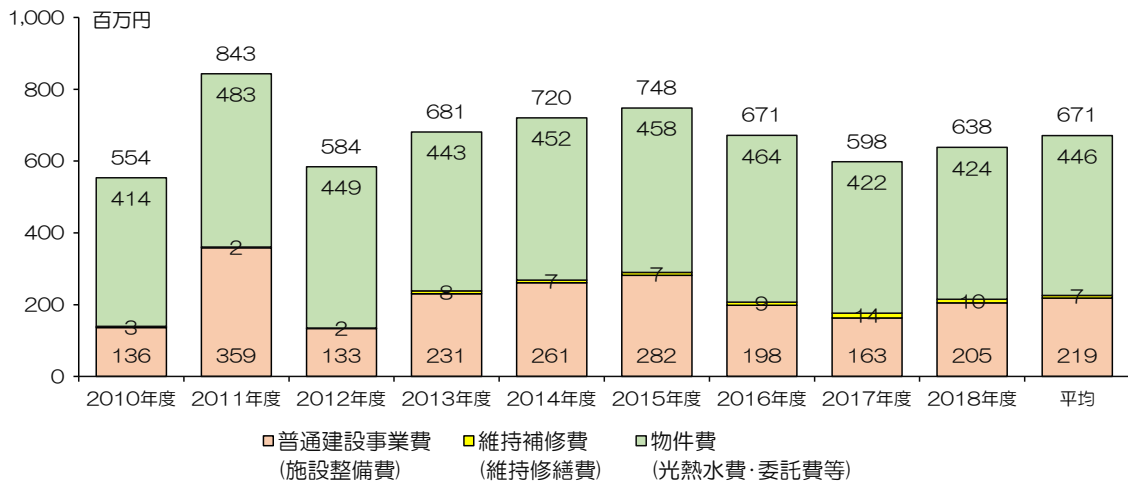


(6) 学校教育施設の全体コスト

平成 22 (2010) 年度から平成 30 (2018) 年度の施設関連経費 (施設整備費、維持修繕費、光熱水費等) をみると、年間約 5.5 億円～8.4 億円となっており、施設整備内容に応じて変動しています。

これら施設関連経費について直近9年間 (平成 22 (2010) 年度～平成 30 (2018) 年度) の平均でみると、約6.7 億円となっています。(図表 78～図表 79 参照)

図表 78 施設関連経費の推移



図表 79 施設関連経費の内訳（単位千円）

区分	性質別歳出項目	H22年度 2010年度	H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	平均
総計	普通建設事業費 (施設整備費)	136,048	358,673	133,481	230,576	261,136	282,061	198,034	162,704	204,897	218,623
	維持補修費 (維持修繕費)	3,440	1,614	1,700	7,678	7,372	7,450	9,324	13,504	9,841	6,880
	物件費 (光熱水費・委託費等)	414,317	483,046	449,269	442,962	451,767	458,499	464,127	422,093	423,648	445,525
	合計	553,805	843,333	584,450	681,216	720,275	748,010	671,485	598,301	638,386	671,029

資料：総務省地方財政状況調査から高梁市における教育費の歳出項目を整理

施設整備費：決算統計表示項目の「普通建設事業費」

維持修繕費：決算統計表示項目の「維持補修費」

光熱水費：決算統計表示項目の「物件費」を採用している。

図表 80 各区分における施設関連経費の内訳（単位千円）

区分	性質別歳出項目	H22年度 2010年度	H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	平均
小学校	普通建設事業費 (施設整備費)	88,933	133,963	40,046	84,141	106,090	175,932	99,354	19,815	57,349	57,349
	維持補修費 (維持修繕費)	689	985	1,038	2,284	1,365	1,243	1,362	2,972	3,270	3,270
	物件費 (光熱水費・委託費等)	160,859	195,831	156,704	154,190	156,310	179,137	165,430	156,246	148,159	148,159
	合計	250,481	330,779	197,788	240,615	263,765	356,312	266,146	179,033	208,778	208,778
中学校	普通建設事業費 (施設整備費)	28,590	15,209	75,839	59,232	86,512	53,022	18,197	68,092	17,182	17,182
	維持補修費 (維持修繕費)	587	462	442	909	426	403	501	597	969	969
	物件費 (光熱水費・委託費等)	75,401	76,501	86,322	84,570	82,219	75,335	93,841	68,243	68,462	68,462
	合計	104,578	92,172	162,603	144,711	169,157	128,760	112,539	136,932	86,613	86,613
高等学校	普通建設事業費 (施設整備費)	1,999	939	2,358	1,245	2,921	2,276	1,997	1,927	1,197	1,197
	維持補修費 (維持修繕費)	13	4	5	5	9	18	17	17	19	19
	物件費 (光熱水費・委託費等)	13,603	13,717	28,732	19,226	19,569	21,448	21,907	20,125	20,184	20,184
	合計	15,615	14,660	31,095	20,476	22,499	23,742	23,921	22,069	21,400	21,400
幼稚園	普通建設事業費 (施設整備費)	14,416	37,220	14,608	44,976	17,923	4,715	28,470	26,001	92,881	92,881
	維持補修費 (維持修繕費)	228	163	215	149	220	287	337	2,683	1,576	1,576
	物件費 (光熱水費・委託費等)	68,870	74,554	69,312	69,218	67,305	56,768	51,965	45,131	46,895	46,895
	合計	83,514	111,937	84,135	114,343	85,448	61,770	80,772	73,815	141,352	141,352
学校給食 センター	普通建設事業費 (施設整備費)	2,110	171,342	630	40,982	47,690	46,116	50,016	46,869	36,288	36,288
	維持補修費 (維持修繕費)	1,923	0	0	4,331	5,352	5,499	7,107	7,235	4,007	4,007
	物件費 (光熱水費・委託費等)	95,584	122,443	108,199	115,758	126,364	125,811	130,984	132,348	139,948	139,948
	合計	99,617	293,785	108,829	161,071	179,406	177,426	188,107	186,452	180,243	180,243

資料：総務省地方財政状況調査から高梁市における教育費の歳出項目を整理

施設整備費：決算統計表示項目の「普通建設事業費」

維持修繕費：決算統計表示項目の「維持補修費」

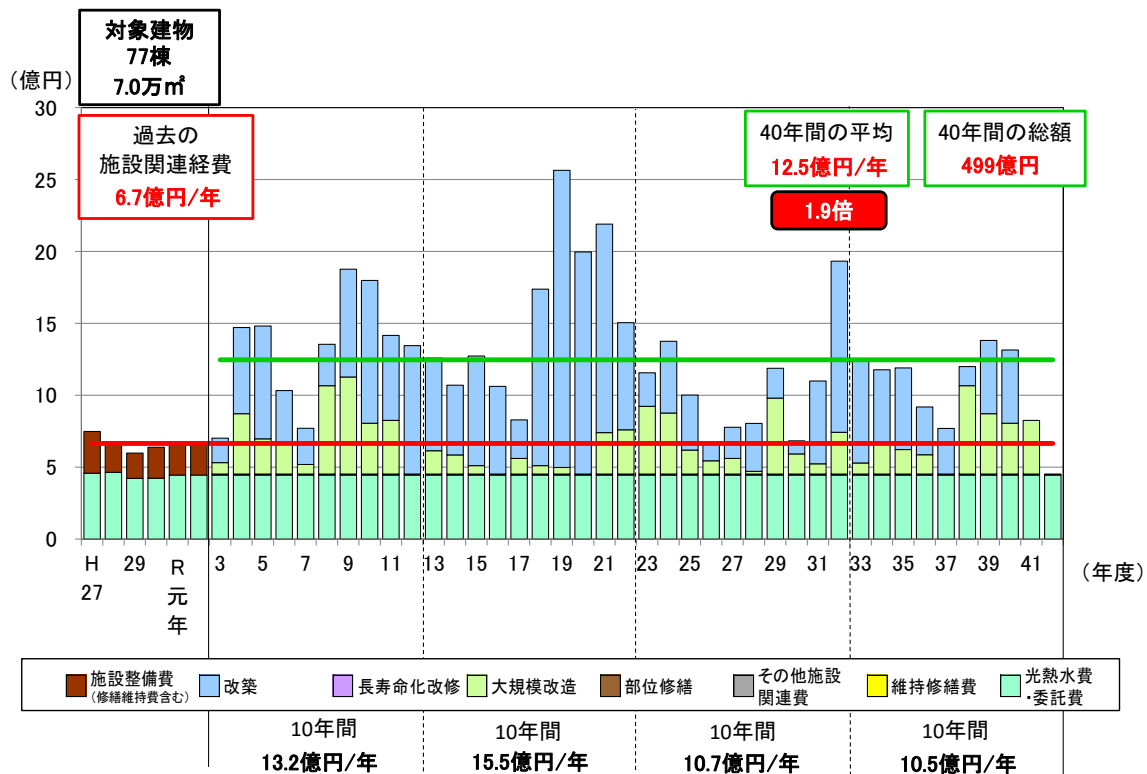
光熱水費：決算統計表示項目の「物件費」を採用している。

(7) 今後の維持・更新コスト（従来型）

令和3（2021）年度から令和42（2060）年度までの40年間で必要な維持・更新費用は約499億円となります。特に学校教育施設等の改築は、令和4（2022）年度から令和22（2040）年度にかけて、常に施設を改築している状態となっており、特に令和18年度（2036）年度から令和22年度（2040）にかけて多くの施設の改築時期となっています。

年平均では、約12.5億円で、直近9年間の施設関連経費の平均値6.7億円の約1.9倍となります。

図表 81 維持・更新コスト（従来型）



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算

図表 82 従来型の維持・更新コストの計算条件

改築（建替え）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築後50年で同規模建替え、改築工事期間は2年 ・ なお、改築時期を既に経過している場合は10年間で実施 ・ 改築単価：33万円/㎡ <p>※改築単価は、『地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書』（平成23年3月）における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）単価を参照</p>
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20年周期、工事期間は1年 ・ 大規模改造単価：改築単価の25%（付属プログラム仕様による固定値）
施設関連経費	<p>※直近9年間（H22～H30年度）の施設関連経費（維持補修費、物件費）の平均（452,406千円）をR3年度以降毎年計上</p>

3-2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 点検方法等

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 平成 29 年 3 月文部科学省」(以下、「解説書」という。)において、劣化部位の修繕コストや改修等の優先順位付けを今後の維持・更新コストの算出に反映させるため、調査対象建物ごとに躯体以外の劣化状況を把握することにしています。このため、今回、調査対象建物について、解説書に示されている「躯体以外の劣化状況の把握」に従い調査しました。なお、劣化状況の把握に当たっては、本市が実施した建築基準法 12 条調査報告を基にしました。

解説書に示された「劣化状況調査票」を用いて、建物の「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」について目視調査を行い、「A～D」の 4 段階で評価します。

「電気設備」「機械設備」は部位の全面的な改修年度からの経年数を基本に「A～D」の 4 段階で評価します。なお、設備の全面的な改修年度が不明、又は、未改修の場合は、建築年度からの経年数で評価することにします。

図表 83 劣化状況調査票 (サンプル)

通し番号		劣化状況調査票				
学校名	〇〇〇〇学校	学校番号	〇〇〇〇	調査日	〇〇〇〇	
建物名	〇〇〇〇棟	記入者	〇〇〇〇			
棟番号	〇〇〇〇	建築年度	昭和60 年度 (1985 年度)			
構造種別	〇〇〇〇	延床面積	〇.〇〇〇 m ²	階数	地上 3 階 地下 0 階	

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフィングに異常がある <input type="checkbox"/> その他点検等で指摘がある		良好	A
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ 多数 <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> クラックがある <input checked="" type="checkbox"/> 大きな亀裂がある 3 <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> その他点検等で指摘がある			B
3 内部仕上	<input type="checkbox"/> 天井 <input checked="" type="checkbox"/> 壁 <input checked="" type="checkbox"/> 床			<input checked="" type="checkbox"/> 剥がれ、亀裂がある 多数 <input type="checkbox"/> 雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 懸垂物・付属物等の不具合 <input type="checkbox"/> その他点検等で指摘がある			C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修 <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事		経年数評価	B
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修 <input type="checkbox"/> 排水配管改修 <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事		経年数評価	B

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
64 / 100点
経年数
基準年度 2019
34年

(2) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

① 目視による評価基準（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ）

建物の「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」については、次のとおり、「A～D」の4段階で評価します。

図表 84 屋根・屋上、外壁、内部仕上げにおける評価（目視による）

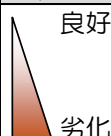
評価	基準	評価点	状況
A	おおむね良好	100点	 良好 劣化
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	75点	
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	40点	
D	早急に対応する必要がある	10点	

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月 文部科学省）

② 設備における評価基準（経過年数）

「電気設備」「機械設備」については、点検（目視）による判断が困難であることから、経過年数を基に評価します。なお、修繕、改修等の年次が不明の場合は、建築年からの経過年数としています。

図表 85 電気設備、機械設備における評価（経過年数による）

評価	基準	評価点	状況
A	経過年数が 20 年未満	100点	 良好 劣化
B	経過年数が 20 年以上 40 年未満	75点	
C	経過年数が 40 年以上	40点	
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	10点	

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月 文部科学省）

③ 健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」「電気設備」「機械設備」について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

「部位の評価点」と「部位のコスト配分」を下表のように定め、「健全度」を100点満点で算定します。

図表 86 部位の評価点

部位	コスト配分係数
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
合計値	60.0

「部位のコスト配分」は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に案分して設定しています。

資料：「学校施設の長寿命化計画に係る解説書」（平成 29 年 3 月 文部科学省）

図表 87 建物健全度の計算例

部位	評価	評価点	コスト配分係数	点数
1 屋根・屋上	C	40点	× 5.1	204点
2 外壁	D	10点	× 17.2	172点
3 内部仕上げ	B	75点	× 22.4	1,680点
4 電気設備	B	100点	× 8.0	800点
5 機械設備	C	40点	× 7.3	292点
計			60.0	3,148点
健全度 = $\frac{\sum (\text{各部位の評価点} \times \text{コスト配分})}{\sum (\text{コスト配分係数})} = \frac{3,148\text{点}}{60.0} = 52\text{点}$				

資料：「学校施設の長寿命化計画に係る解説書」（平成 29 年 3 月 文部科学省）

※健全度を 100 点満点にするためにコスト配分係数の合計値（60 点）で割っています。

④ 評価結果

調査対象建物については部位別の劣化状況評価と健全度点数は次のとおりです。

図表 88 各施設の健全度

 : 築50年以上 : 概ね良好
 : 築30年以上 : 部分的に劣化
 : 広範囲に劣化 : 早急に対応する必要がある

建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					健全度 (100点満点)
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
								西暦	和暦							
1	257	津川小学校	屋内運動場	1	S	1	409	1977	S52	43	B	A	B	C	C	73
2	257	津川小学校	校舎	2-1	RC	2	480	1983	S58	37	A	B	B	B	B	77
3	257	津川小学校	校舎	2-2	RC	2	1,276	1992	H4	28	A	B	B	B	B	77
4	259	川面小学校	校舎	1-1	RC	2	389	1981	S56	39	A	C	B	B	B	67
5	259	川面小学校	校舎	1-2	RC	2	560	1989	H元	31	B	B	A	B	B	84
6	259	川面小学校	校舎	1-3	RC	2	806	1989	H元	31	A	C	B	B	B	67
7	259	川面小学校	屋内運動場	2	S	1	545	1988	S63	32	A	C	B	B	B	67
8	261	巨瀬小学校	校舎	1	RC	3	1,867	2002	H14	18	C	B	C	A	A	65
9	261	巨瀬小学校	屋内運動場	2	S	2	673	2002	H14	18	C	B	C	A	A	65
10	263	中井小学校	屋内運動場	1	S	3	421	1980	S55	40	A	B	B	C	C	68
11	263	中井小学校	校舎	2	RC	1	1,717	1980	S55	40	A	C	B	C	C	58
12	264	玉川小学校	屋内運動場	1	S	1	330	1992	H4	28	C	B	B	B	B	72
13	264	玉川小学校	校舎	2	RC	3	1,199	1988	S63	32	A	B	C	B	B	64
14	266	宇治小学校	屋内運動場	1	S	1	500	1980	S55	40	D	B	B	C	C	61
15	266	宇治小学校	校舎	2	RC	3	1,623	1984	S59	36	C	B	B	B	B	72
16	267	松原小学校	校舎	1-1	RC	2	501	1975	S50	45	B	C	B	C	C	56
17	267	松原小学校	校舎	1-2	RC	3	1,077	1986	S61	34	A	B	B	C	C	68
18	267	松原小学校	屋内運動場	2-1	S	2	411	1978	S53	42	C	B	B	B	B	72
19	267	松原小学校	屋内運動場	2-2	S	1	23	1986	S61	34	B	B	B	B	B	75
20	267	松原小学校	屋内運動場	2-3	W	1	28	1995	H7	25	A	B	A	B	B	87
21	269	落合小学校	校舎	1-1,1-2,1-3,1-4	RC	3	1,443	1982	S57	38	B	B	C	B	B	62
22	269	落合小学校	屋内運動場	2	S	1	774	1986	S61	34	A	B	A	B	B	87
23	269	落合小学校	校舎	3	RC	3	896	2003	H15	17	B	B	C	B	B	62
24	271	福地小学校	校舎	1	RC	3	1,227	1991	H3	29	B	C	B	B	B	65
25	271	福地小学校	屋内運動場	2	S	1	388	1987	S62	33	A	C	B	B	B	67
26	272	高梁小学校	校舎	1	RC	3	1,554	1970	S45	50	B	C	B	C	C	56
27	272	高梁小学校	校舎	2	RC	3	1,787	1972	S47	48	B	C	B	C	C	56
28	272	高梁小学校	校舎	3	RC	2	627	1972	S47	48	B	B	B	C	C	66
29	272	高梁小学校	校舎	4	RC	3	192	1972	S47	48	B	B	B	C	C	66
30	272	高梁小学校	屋内運動場	5	S	1	806	2005	H17	15	A	B	A	A	A	93

図表 88 各施設の健全度（つづき）

 :築50年以上 A :概ね良好 C :広範囲に劣化
 :築30年以上 B :部分的に劣化 D :早急に対応する必要がある

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	構 造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数	屋根 ・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
								西 暦	和 暦							
31	671	有漢東小学校	校舎	1	RC	3	2,001	1986	S61	34	C	C	B	B	B	62
32	671	有漢東小学校	屋内運動場	2	RC	1	588	1986	S61	34	C	B	B	B	B	72
33	672	有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	RC	2	1,392	1966	S41	54	D	C	C	C	C	37
34	672	有漢西小学校	校舎	1-3	S	2	124	1987	S62	33	C	B	B	B	B	72
35	672	有漢西小学校	校舎	1-4	S	2	213	1987	S62	33	C	B	C	B	B	59
36	672	有漢西小学校	屋内運動場	2-1,2-2	RC	1	618	1987	S62	33	C	C	B	B	B	62
37	672	有漢西小学校	校舎	3	RC	1	152	2001	H13	19	A	B	B	A	A	84
38	696	成羽小学校	校舎	1-1,1-2,↑-3,1-4	RC	3	2,896	1977	S52	43	C	C	C	C	C	40
39	696	成羽小学校	校舎	2	W	1	240	1957	S32	63	A	C	D	C	C	34
40	696	成羽小学校	屋内運動場	3	S	1	867	1979	S54	41	A	B	B	C	C	68
41	715	川上小学校	校舎	1	R	3	1,661	1970	S45	50	A	B	B	C	C	68
42	715	川上小学校	屋内運動場	2	RC	2	1,108	1982	S57	38	A	B	C	C	C	55
43	715	川上小学校	校舎	3	RC	2	1,385	1983	S58	37	C	C	B	C	C	53
44	717	富家小学校	校舎	1-1,1-2,↑-3	RC	2	1,982	1987	S62	33	B	B	B	B	B	75
45	717	富家小学校	屋内運動場	2-1,2-2	S	2	883	1980	S55	40	B	B	B	C	C	66
46	3632	高梁中学校	校舎	1-1,1-2	RC	4	2,220	1999	H11	21	A	B	C	B	B	64
47	3632	高梁中学校	校舎	1-3	RC	4	3,462	2000	H12	20	A	B	C	B	B	64
48	3632	高梁中学校	校舎	2	S	2	203	2000	H12	20	A	B	B	B	B	77
49	3632	高梁中学校	屋内運動場	3	RC	2	1,117	2004	H16	16	A	C	A	A	A	83
50	3639	高梁北中学校	校舎	1	RC	3	2,250	1989	H元	31	B	B	C	B	B	62
51	3639	高梁北中学校	屋内運動場	2	S	1	900	1989	H元	31	A	B	B	B	B	77
52	3640	高梁東中学校	校舎	1-1,1-2,↑-3,1-4	RC	2	1,760	1987	S62	33	B	C	B	B	B	65
53	3640	高梁東中学校	校舎	2	RC	2	364	1995	H7	25	A	B	A	B	B	87
54	3640	高梁東中学校	屋内運動場	3	S	1	923	1995	H7	25	B	B	B	B	B	75
55	3823	有漢中学校	校舎	1	RC	2	1,929	1988	S63	32	D	C	B	B	B	59
56	3823	有漢中学校	屋内運動場	2	RC	1	600	1988	S63	32	C	C	B	B	B	62
57	3844	成羽中学校	屋内運動場	1	S	2	1,125	1973	S48	47	B	B	B	C	C	66
58	3844	成羽中学校	校舎	2-1,2-2,3-2,4	RC	3	3,088	2007	H19	13	B	B	B	A	A	81
59	3850	川上中学校	屋内運動場	1-1,1-2	S	1	828	1978	S53	42	D	C	C	C	C	37
60	3850	川上中学校	校舎	2-1,2-2	RC	4	2,976	1986	S61	34	D	C	C	B	B	46
61	5619	宇治高等学校	校舎	1-1,1-2	W	1	279	1952	S27	68	C	B	C	C	C	50
62	6744	津川幼稚園	園舎	1	S	1	203	1983	S58	37	B	B	A	B	B	84
63	6746	川面幼稚園	園舎	1-1,1-2	S	1	218	1976	S51	44	A	B	C	C	C	55
64	6749	巨瀬幼稚園	園舎	1	W	1	203	1997	H9	23	B	A	A	B	B	92
65	6752	落合幼稚園	園舎	1-1,1-2,↑-3	RC	2	323	1978	S53	42	A	B	C	C	C	55
66	6752	落合幼稚園	園舎	2	S	1	128	1978	S53	42	A	B	A	C	C	78
67	6753	中井幼稚園	園舎	1	W	1	203	1996	H8	24	A	B	B	B	B	77
68	6754	福地幼稚園	園舎	1	RC	1	191	1991	H3	29	A	B	B	B	B	77
69	A040	有漢こども園	園舎	1-1,1-2	W	1	350	1997	H9	23	A	B	B	B	B	77
70	A040	有漢こども園	園舎	2	W	1	503	1996	H8	24	B	B	B	B	B	75
71	A041	川上こども園	園舎	1	S	1	707	1993	H5	27	C	B	C	B	B	59
72	A041	川上こども園	園舎	2	W	1	425	2001	H13	19	A	C	B	A	A	74
73	K014	高梁学校給食センター	共同利用施設	1	S	2	878	1999	H11	21	B	B	B	B	B	75
74	K014	高梁学校給食センター	共同利用施設	2	S	2	199	2011	H23	9	B	B	B	B	B	75
75	K047	有漢学校給食センター	共同利用施設	1-1	S	1	345	2011	H23	9	A	B	B	A	A	84
76	K047	有漢学校給食センター	共同利用施設	1-2	S	1	58	2000	H12	20	A	A	A	B	B	94
77	K409	川上学校給食センター	共同利用施設	1-1,1-2	S	1	388	1999	H11	21	B	B	B	B	B	75

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

「高梁市公共施設等総合管理計画」（平成 29 年 3 月）では、学校教育系施設の施設類型ごとの現状や課題に関する基本認識、管理に関する基本的な方針がまとめられています。

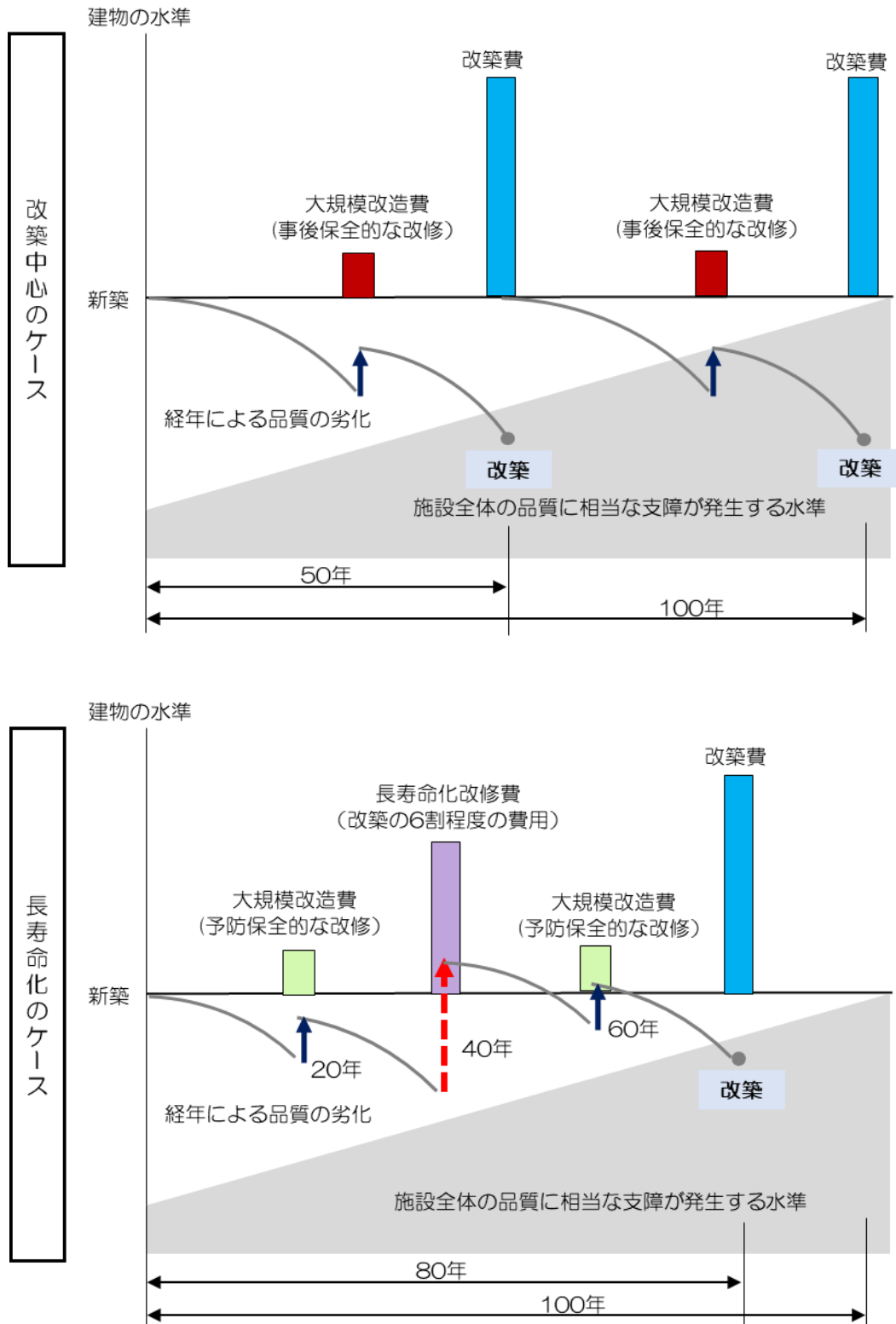
<p>現状や課題に関する基本認識</p> <p>【抜粋】</p>	<p>少子高齢化に伴い児童・生徒数が減少傾向にあるため、人数に合わせた施設規模に合わせていく必要があります。しかし、文部科学省が平成 27 年 1 月 27 日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」によれば、学級数が少ないことによる学校運営上の課題として、クラス替えができないことや遠足などの集団活動・行事の教育効果が下がること、人間関係や相互の評価が固定化しやすいなどのデメリットが挙げられています。また、学校は地域のコミュニティの核としての性格を有することから、地域の状況や特性を十分に考慮しつつ検討する必要があります。</p> <p>しかし、学校施設は鉄筋コンクリート造に代表されるように適切に維持管理すれば長期間使用できる建物となっているため、地域コミュニティの核となる施設としての観点から他の類型分類にて老朽化が進んでいる建物の機能を集約し、複合施設としての活用が見込めます。</p>
<p>管理に関する基本的な方針</p> <p>【抜粋】</p>	<p>学校施設は設置されている地域の中心地に配置されているため、利用者の交通の利便性を考慮し、周辺の公共施設の機能の複合化も視野に入れて今後の更新を検討します。</p> <p>また、児童・生徒が日常的に使用する施設であるため、安全確保について特に重要視し、平成 27 年 4 月に文部科学省から示された「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を基に個別施設計画を定め、適切な維持管理・長寿命化対策を推進すべく行動します。</p>

4-2 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の方針

今後は、改修中心から長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。以下に長寿命化改修を実施した場合の修繕・改修周期を示します。

図表 89 建替え中心から長寿命化への転換イメージ



(2) 目標使用年数、改修周期の設定

耐用年数の考え方については、法定耐用年数、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数などがあり、それらの特性は以下のとおりです。

図表 90 耐用年数の考え方

法定耐用年数	<p>税務上の減価償却率を求める場合の基となる耐用年数で、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」(昭和 40 年大蔵省令第 15 号)により定められている年数です。</p> <p>なお、法定耐用年数は、省令制定当時に建物を構成する主要な部位(構造躯体、外装、床等)ごとの耐用年数を総合的に勘案して算出されたといわれており、構造躯体の劣化によって建物が使用できなくなる寿命ではないとされています。</p>
物理的耐用年数	<p>材料・部品・設備が劣化して建物の性能が低下することによって決定される年数です。</p>
機能的耐用年数	<p>建築物が時代の変遷とともに期待される機能を果たせなくなってしまうことで決定される年数です。</p> <p>しかしながら技術的には、機能を向上させることは可能なため、その費用がどの程度かかるかによって、機能的耐用年数に大きく影響します。</p>
経済的耐用年数	<p>建築物を存続させるために必要となる費用が建築物を存続させることによって得られる価値を上回ってしまうことで決定される年数です。</p> <p>ただし、実際には公共施設の多くは、建築物を存続させることによって得られる価値の算定が難しい面があります。</p>

長寿命化による目標耐用年数は、物理的耐用年数を採用することとし、「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会 1988 年 10 月)を参照し、用途が学校・官庁の場合、構造別に以下のように設定します。

図表 91 建築物の構造別の目標耐用年数

構造	耐用年数	目標耐用年数	
鉄筋コンクリート造(RC造)	60年	80年	
鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)			
鉄骨造	重量(S造)	60年	80年
	軽量鉄骨造	40年	50年
木造(W造)	60年	80年	

資料：「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会 1988 年 10 月)

「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会 1988 年 10 月）との用途分類の整合については、以下のように考え、「学校・官庁」の用途を用いることとします。

図表 92 建築物の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック 造・レンガ 造	木造
	高品質 の場合	普通品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質 の場合	普通品質 の場合			
学校 官庁	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 60以上
住宅 事務所 病院	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上
店舗旅館・ ホテル	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上
工場	Y _o 40以上	Y _o 25以上	Y _o 40以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上

資料：「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会 1988 年 10 月）

図表 93 建築物の望ましい目標耐用年数の級

級	目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
Y _o 150		150年	120~200年	120年
Y _o 100		100年	80~120年	80年
Y _o 60		60年	50~80年	50年
Y _o 40		40年	30~50年	30年
Y _o 25		25年	20~30年	20年
Y _o 15		15年	12~20年	12年
Y _o 10		10年	8~12年	8年
Y _o 6		6年	5~8年	5年
Y _o 3		3年	2~5年	2年

資料：「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会 1988 年 10 月）

- Y_o は目標耐用年数の級を表す記号です。
- Y_o 60 の場合、目標耐用年数の代表値が 60 年、その範囲は 50~80 年、下限値が 50 年としています。
- 目標耐用年数の級を建物の用途、構造、コンクリートの品質に応じて建築物の望ましい目標耐用年数の級を当てはめています。

(3) 部位ごとの更新周期

目標耐用年数まで、安全で快適に施設を使用するためには、施設の劣化状況等を考慮しながら計画的な予防保全を実施する必要があります。

なお、それらの更新周期は、部位・設備等によって異なりますが、屋根、外壁については概ね40年、設備については概ね30年程度となっています。

また、屋根、外壁における塗料の塗替えや再塗装等の修繕周期は、概ね10～20年となっています。

これらを踏まえて、大規模な改修周期を20年とし、長寿命化改修の周期を40年とします。

図表 94 部位ごとの主な修繕工事と更新周期の目安

部位・設備等	主な修繕工事	同時に改修した方が 良い部位・設備等の例	更新周期の目安(年)
屋根	防水改修	排水溝(ルーフトレン)、 笠木、屋上手すり、設備 架台、断熱材	<ul style="list-style-type: none"> ・露出防水(露出防水、シート防水、塗膜防水等): 25~40年 ・葺き屋根(ストレート、折板等): 40年
外壁	仕上げ改修(塗装、吹付、タイル張替え等)	シーリング、外部建具、 笠木、断熱材	<ul style="list-style-type: none"> ・壁(タイル、塗材塗り、塗装、ストレート等): 20~25年
	クラック補修、浮き補修	シーリング、外部建具、 笠木	—
	建具改修(サッシ、カーテンウォール等)	シーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・建具(アルミ): 40年
電気設備	受変電設備改修	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧受配電盤: 25~30年 ・高圧変圧器盤: 25~30年
空調設備	冷暖房設備(ファンコイル、空気調和機)改修	ポンプ、冷却塔、配管等、 屋上防水	<ul style="list-style-type: none"> ・空気調和機: 20~30年
	熱源改修	配管等	<ul style="list-style-type: none"> ・空調配管類: 30年
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ、受水槽配管、(冷温水管)等	<ul style="list-style-type: none"> ・給水給湯配管類: 25~30年 ・排水配管類: 30~40年

資料:「公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル(平成17(2005)年6月)」(国土交通省 国土技術政策総合研究所)

・更新周期の目安については、「平成31年版建築物のライフサイクルコスト(平成31(2019)年3月)」(一般財団法人 建築保全センター)を基に、関連する部位等から予防保全のものを選定しました。

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準



施設を快適で安全に、また、長く利用するためには、様々な改修が必要となることから、施設を長く利用するための長寿命化に向けた改修と施設の機能や性能の向上を図るための改修を行います。

(1) 長寿命化に資する改修

屋根や外壁の劣化、損傷は、構造躯体に影響を及ぼし、建築物全体の寿命を縮めることにつながることから、定期的に修繕や更新を行うこととします。この場合、対策に要する費用と更新周期を考慮し、ライフサイクルコストの観点から耐久性に優れた安価な材料、工法等を選択することとします。

また、躯体については、コンクリートのひび割れの補修や中性化対策、鉄筋の腐食対策を実施するなど、経年劣化の回復に努めます。なお、施設の機能向上や長寿命化に向けた大規模な改修を実施する際には、コンクリートの強度、中性化深さ等を把握するため、コア抜き調査の実施について検討することとします。

図表 95 屋根・外壁改修の事例

屋上防水改修例	金属屋根改修例
	
既存の防水層の傷んだ部分のみを撤去し、部分的な下地処理をしてから新規防水層を設置する工法。工期も短く、安価となる。	耐久性の高いガルバリウム鋼板を用いた金属屋根の例。塗り直しは約 15 年ごとに行う。

資料：「学校施設の長寿命化改修の手引（平成 26（2014）年 1 月）」（文部科学省）

(2) 機能や性能の向上に資する改修

経済・社会情勢の変革や技術の発達により、施設に求められる「要求性能」については、年々高まる傾向にあります。それに伴い、品質が低下していなくても、相対的に性能が低く評価されることとなり、機能の陳腐化が発生することとなります。このため、建築物を長期間にわたって使用するためには、社会的なニーズ等に合わせて、性能の向上を図っていく必要があります。

本市でも、今後も空調の設置やエレベーターの設置等快適な学習環境を整備するとともに、「エコスクール ―環境を考慮した学校教育施設の整備推進―（平成 29（2017）年 6 月）」（文部科学省）に基づき、太陽光発電の設置や省エネルギー型の照明器具の導入など時代に
 応じた環境整備に努めます。

図表 96 エコスクール、バリアフリーの事例

太陽光発電設備	LED 照明の設置	多目的トイレ
		
太陽光発電設備と蓄電池の組み合わせで、停電時や異常時における対応が可能	LED 照明の設置により、省エネルギーで明るい室内空間の提供	車イス利用者も使用可能な多目的トイレ

資料：「自然の恵みを活用したエコスクール（平成 23（2011）年 8 月）」（文部科学省）、
 「エコスクール 環境を考慮した学校施設の整備推進（平成 29（2017）年 6 月）」
 （文部科学省）、「学校施設の長寿命化改修の手引（平成 26（2014）年 1 月）」（文部科学省）

5-2 維持管理の項目・手法等

子ども達が安全で安心な学校生活を送るためには、施設の点検をすることにより、いち早く施設の異常に気付くことや、その予兆を発見することが重要です。

ここで、学校設置者は、点検の目的や主体、時期、項目、方法等を定めた点検方針を策定し、学校は、主に目視による錆やひび割れなどの異常を発見し、その進行状況を確認します。

また、学校設置者は、専門業者に依頼し、建築基準法第 12 条点検、消防用設備の点検等を実施します。学校は、学校保健安全法施行規則に基づく安全点検を実施することとし、この点検方法については、「非構造部材の点検チェックリスト」などを利用した点検とします。

図表 97 学校保健安全法施行規則に基づく安全点検

安全点検の種類	時期・方法等	対象	法的根拠等
定期の安全点検	毎学期 1 回以上 計画的に、また教職員全員が組織的に実施	児童・生徒等が使用する施設・設備及び防火、防災、防犯に関する設備などについて	毎学期 1 回以上、幼児、児童・生徒又は学生が通常使用する施設及び設備の異常の有無について系統的行わなければならない(規則 28 条第 1 項)
	毎月 1 回 計画的に、また教職員全員が組織的に実施	児童・生徒等が多く使用するとと思われる校地、運動場、教室、特別教室、廊下、昇降口、ベランダ、階段、便所、手洗い場、給食室、屋上など	明確な規定はないが、各学校の実情に応じて、上記(規則 28 条第 1 項)に準じて行われる例が多い
臨時の安全点検	必要があるとき ・運動会や体育祭、学芸会や文化祭、展覧会などの学校行事の前後 ・暴風雨、地震、近隣での火災などの災害時 ・近隣で危害のおそれのある犯罪(侵入や放火など)の発生時など	必要に応じて点検項目を設定	必要があるときは、臨時に安全点検を行う(規則 28 条第 1 項)
日常の安全点検	毎授業日ごと	児童・生徒等が最も多く活動を行うと思われる箇所について	設備等について日常的な点検を行い、環境の安全の確保を図らなければならない(規則 29 条)

資料：「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育(平成 31 年 3 月 文部科学省)

第6章 長寿命化等の計画

6-1 改修等の優先順位付け

(1) 総合劣化判定

施設点検結果の結果から健全度を算出しましたが、経年変化に伴う施設の老朽化の進行も生じていることを考慮し、総合劣化度を算出します。

なお、総合劣化度は、次式により算出します。

$$\boxed{\text{総合劣化度}} = \boxed{\text{劣化度} = (100 - \text{健全度})} + \boxed{\text{建築年数}}$$

図表 98 総合劣化度

施設名	建物名	棟番号	延床面積 (㎡)	構造	建築年度 (西暦)	建築年度 (和暦)	築後 年数	健全度	劣化度 100 -健全度	総合 劣化度	優先 順位
津川小学校	屋内運動場	1	409	S	1977	S52	43	73	27	70	31
津川小学校	校舎	2-1	480	RC	1983	S58	37	77	23	60	45
津川小学校	校舎	2-2	1,276	RC	1992	H4	28	77	23	51	57
川面小学校	校舎	1-1	389	RC	1981	S56	39	67	33	72	26
川面小学校	校舎	1-2	560	RC	1989	H元	31	84	16	47	62
川面小学校	校舎	1-3	806	RC	1989	H元	31	67	33	64	42
川面小学校	屋内運動場	2	545	S	1988	S63	32	67	33	65	38
巨瀬小学校	校舎	1	1,867	RC	2002	H14	18	65	35	53	53
巨瀬小学校	屋内運動場	2	673	S	2002	H14	18	65	35	53	53
中井小学校	屋内運動場	1	421	S	1980	S55	40	68	32	72	27
中井小学校	校舎	2	1,717	RC	1980	S55	40	58	42	82	16
玉川小学校	屋内運動場	1	330	S	1992	H4	28	72	28	56	49
玉川小学校	校舎	2	1,199	RC	1988	S63	32	64	36	68	35
宇治小学校	屋内運動場	1	500	S	1980	S55	40	61	39	79	19
宇治小学校	校舎	2	1,623	RC	1984	S59	36	72	28	64	40
松原小学校	校舎	1-1	501	RC	1975	S50	45	56	44	89	8
松原小学校	校舎	1-2	1,077	RC	1986	S61	34	68	32	66	37
松原小学校	屋内運動場	2-1	411	S	1978	S53	42	72	28	70	29
松原小学校	屋内運動場	2-2	23	S	1986	S61	34	75	25	59	46
松原小学校	屋内運動場	2-3	28	W	1995	H7	25	87	14	39	68
落合小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	1,443	RC	1982	S57	38	62	38	76	20
落合小学校	屋内運動場	2	774	S	1986	S61	34	87	14	48	60
落合小学校	校舎	3	896	RC	2003	H15	17	62	38	55	51
福地小学校	校舎	1	1,227	RC	1991	H3	29	65	35	64	40
福地小学校	屋内運動場	2	388	S	1987	S62	33	67	33	66	36
高梁小学校	校舎	1	1,554	RC	1970	S45	50	56	44	94	6
高梁小学校	校舎	2	1,787	RC	1972	S47	48	56	44	92	7
高梁小学校	校舎	3	627	RC	1972	S47	48	66	34	82	14
高梁小学校	校舎	4	192	RC	1972	S47	48	66	34	82	14
高梁小学校	屋内運動場	5	806	S	2005	H17	15	93	7	22	77
有漢東小学校	校舎	1	2,001	RC	1986	S61	34	62	38	72	25
有漢東小学校	屋内運動場	2	588	RC	1986	S61	34	72	28	62	43
有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	1,392	RC	1966	S41	54	37	63	117	3
有漢西小学校	校舎	1-3	124	S	1987	S62	33	72	28	61	44
有漢西小学校	校舎	1-4	213	S	1987	S62	33	59	41	74	21
有漢西小学校	屋内運動場	2-1,2-2	618	RC	1987	S62	33	62	38	71	28
有漢西小学校	校舎	3	152	RC	2001	H13	19	84	17	36	70
成羽小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	2,896	RC	1977	S52	43	40	60	103	5
成羽小学校	校舎	2	240	W	1957	S32	63	34	66	129	1
成羽小学校	屋内運動場	3	867	S	1979	S54	41	68	32	73	23
川上小学校	校舎	1	1,661	R	1970	S45	50	68	32	82	16
川上小学校	屋内運動場	2	1,108	RC	1982	S57	38	55	45	83	13
川上小学校	校舎	3	1,385	RC	1983	S58	37	53	47	84	12

図表 98 総合劣化度（つづき）

施設名	建物名	棟番号	延床面積 (㎡)	構造	建築年度 (西暦)	建築年度 (和暦)	築後 年数	健全度	劣化度 100 -健全度	総合 劣化度	優先 順位
富家小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3	1,982	RC	1987	S62	33	75	25	58	47
富家小学校	屋内運動場	2-1,2-2	883	S	1980	S55	40	66	34	74	22
高梁中学校	校舎	1-1,1-2	2,220	RC	1999	H11	21	64	36	57	48
高梁中学校	校舎	1-3	3,462	RC	2000	H12	20	64	36	56	50
高梁中学校	校舎	2	203	S	2000	H12	20	77	23	43	67
高梁中学校	屋内運動場	3	1,117	RC	2004	H16	16	83	17	33	72
高梁北中学校	校舎	1	2,250	RC	1989	H元	31	62	38	69	32
高梁北中学校	屋内運動場	2	900	S	1989	H元	31	77	23	54	52
高梁東中学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	1,760	RC	1987	S62	33	65	35	68	33
川上こども園	園舎	1	707	S	1993	H5	27	59	41	68	33
高梁東中学校	屋内運動場	3	923	S	1995	H7	25	75	25	50	58
有漢中学校	校舎	1	1,929	RC	1988	S63	32	59	41	73	24
成羽中学校	屋内運動場	1	1,125	S	1973	S48	47	66	34	81	18
成羽中学校	校舎	2-1,2-2, 2-3,2-4	3,088	RC	2007	H19	13	81	19	32	73
川上中学校	屋内運動場	1-1,1-2	828	S	1978	S53	42	37	63	105	4
川上中学校	校舎	2-1,2-2	2,976	RC	1986	S61	34	46	54	88	10
宇治高等学校	校舎	1-1,1-2	279	W	1952	S27	68	50	50	118	2
津川幼稚園	園舎	1	203	S	1983	S58	37	84	16	53	55
川面幼稚園	園舎	1-1,1-2	218	S	1976	S51	44	55	45	89	9
巨瀬幼稚園	園舎	1	203	W	1997	H9	23	92	9	32	74
落合幼稚園	園舎	1-1,1-2, 1-3	323	RC	1978	S53	42	55	45	87	11
落合幼稚園	園舎	2	128	S	1978	S53	42	78	23	65	39
中井幼稚園	園舎	1	203	W	1996	H8	24	77	23	47	61
福地幼稚園	園舎	1	191	RC	1991	H3	29	77	23	52	56
有漢こども園	園舎	1-1,1-2	350	W	1997	H9	23	77	23	46	65
有漢こども園	園舎	2	503	W	1996	H8	24	75	25	49	59
川上こども園	園舎	2	425	W	2001	H13	19	74	27	46	66
高梁学校給食センター	共同利用施設	1	878	S	1999	H11	21	75	25	46	63
川上学校給食センター	共同利用施設	1-1,1-2	388	S	1999	H11	21	75	25	46	63
高梁学校給食センター	共同利用施設	2	199	S	2011	H23	9	75	25	34	71
有漢学校給食センター	共同利用施設	1-1	345	S	2011	H23	9	84	17	26	76
有漢学校給食センター	共同利用施設	1-2	58	S	2000	H12	20	94	6	26	75
施設計	77		69,985								

(2) 施設の優先順位付け

総合劣化度が大きい順に並べ替えた結果は次のとおりです。

図表 99 整備優先順位（総合劣化度が大きい順）

施設名	建物名	棟番号	延床面積 (㎡)	構造	建築年度 (西暦)	建築年度 (和暦)	築後 年数	健全度	劣化度 100 -健全度	総合 劣化度	優先 順位
成羽小学校	校舎	2	240	W	1957	S32	63	34	66	129	1
宇治高等学校	校舎	1-1,1-2	279	W	1952	S27	68	50	50	118	2
有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	1,392	RC	1966	S41	54	37	63	117	3
川上中学校	屋内運動場	1-1,1-2	828	S	1978	S53	42	37	63	105	4
成羽小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	2,896	RC	1977	S52	43	40	60	103	5
高梁小学校	校舎	1	1,554	RC	1970	S45	50	56	44	94	6
高梁小学校	校舎	2	1,787	RC	1972	S47	48	56	44	92	7
松原小学校	校舎	1-1	501	RC	1975	S50	45	56	44	89	8
川面幼稚園	園舎	1-1,1-2	218	S	1976	S51	44	55	45	89	9
川上中学校	校舎	2-1,2-2	2,976	RC	1986	S61	34	46	54	88	10
落合幼稚園	園舎	1-1,1-2, 1-3	323	RC	1978	S53	42	55	45	87	11
川上小学校	校舎	3	1,385	RC	1983	S58	37	53	47	84	12
川上小学校	屋内運動場	2	1,108	RC	1982	S57	38	55	45	83	13
高梁小学校	校舎	3	627	RC	1972	S47	48	66	34	82	14
高梁小学校	校舎	4	192	RC	1972	S47	48	66	34	82	14
中井小学校	校舎	2	1,717	RC	1980	S55	40	58	42	82	16
川上小学校	校舎	1	1,661	R	1970	S45	50	68	32	82	16
成羽中学校	屋内運動場	1	1,125	S	1973	S48	47	66	34	81	18
宇治小学校	屋内運動場	1	500	S	1980	S55	40	61	39	79	19
落合小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	1,443	RC	1982	S57	38	62	38	76	20
有漢西小学校	校舎	1-4	213	S	1987	S62	33	59	41	74	21
富家小学校	屋内運動場	2-1,2-2	883	S	1980	S55	40	66	34	74	22
成羽小学校	屋内運動場	3	867	S	1979	S54	41	68	32	73	23
有漢中学校	校舎	1	1,929	RC	1988	S63	32	59	41	73	24
有漢東小学校	校舎	1	2,001	RC	1986	S61	34	62	38	72	25
川面小学校	校舎	1-1	389	RC	1981	S56	39	67	33	72	26
中井小学校	屋内運動場	1	421	S	1980	S55	40	68	32	72	27
有漢西小学校	屋内運動場	2-1,2-2	618	RC	1987	S62	33	62	38	71	28
有漢中学校	屋内運動場	2	600	RC	1988	S63	32	62	38	70	29
松原小学校	屋内運動場	2-1	411	S	1978	S53	42	72	28	70	29
津川小学校	屋内運動場	1	409	S	1977	S52	43	73	27	70	31
高梁北中学校	校舎	1	2,250	RC	1989	H元	31	62	38	69	32
高梁東中学校	校舎	1-1,1-2, 1-3,1-4	1,760	RC	1987	S62	33	65	35	68	33
川上こども園	園舎	1	707	S	1993	H5	27	59	41	68	33
玉川小学校	校舎	2	1,199	RC	1988	S63	32	64	36	68	35
福地小学校	屋内運動場	2	388	S	1987	S62	33	67	33	66	36
松原小学校	校舎	1-2	1,077	RC	1986	S61	34	68	32	66	37
川面小学校	屋内運動場	2	545	S	1988	S63	32	67	33	65	38
落合幼稚園	園舎	2	128	S	1978	S53	42	78	23	65	39
宇治小学校	校舎	2	1,623	RC	1984	S59	36	72	28	64	40
福地小学校	校舎	1	1,227	RC	1991	H3	29	65	35	64	40
川面小学校	校舎	1-3	806	RC	1989	H元	31	67	33	64	42
有漢東小学校	屋内運動場	2	588	RC	1986	S61	34	72	28	62	43
有漢西小学校	校舎	1-3	124	S	1987	S62	33	72	28	61	44
津川小学校	校舎	2-1	480	RC	1983	S58	37	77	23	60	45
松原小学校	屋内運動場	2-2	23	S	1986	S61	34	75	25	59	46
富家小学校	校舎	1-1,1-2, 1-3	1,982	RC	1987	S62	33	75	25	58	47
高梁中学校	校舎	1-1,1-2	2,220	RC	1999	H11	21	64	36	57	48
玉川小学校	屋内運動場	1	330	S	1992	H4	28	72	28	56	49
高梁中学校	校舎	1-3	3,462	RC	2000	H12	20	64	36	56	50
落合小学校	校舎	3	896	RC	2003	H15	17	62	38	55	51
高梁北中学校	屋内運動場	2	900	S	1989	H元	31	77	23	54	52
巨瀬小学校	校舎	1	1,867	RC	2002	H14	18	65	35	53	53
巨瀬小学校	屋内運動場	2	673	S	2002	H14	18	65	35	53	53
津川幼稚園	園舎	1	203	S	1983	S58	37	84	16	53	55

図表 99 整備優先順位（総合劣化度が大きい順）（つづき）

施設名	建物名	棟番号	延床面積 (㎡)	構造	建築年度 (西暦)	建築年度 (和暦)	築後 年数	健全度	劣化度 100 -健全度	総合 劣化度	優先 順位
福地幼稚園	園舎	1	191	RC	1991	H3	29	77	23	52	56
津川小学校	校舎	2-2	1,276	RC	1992	H4	28	77	23	51	57
高梁東中学校	屋内運動場	3	923	S	1995	H7	25	75	25	50	58
有漢こども園	園舎	2	503	W	1996	H8	24	75	25	49	59
落合小学校	屋内運動場	2	774	S	1986	S61	34	87	14	48	60
中井幼稚園	園舎	1	203	W	1996	H8	24	77	23	47	61
川面小学校	校舎	1-2	560	RC	1989	H元	31	84	16	47	62
高梁学校給食センター	共同利用施設	1	878	S	1999	H11	21	75	25	46	63
川上学校給食センター	共同利用施設	1-1,1-2	388	S	1999	H11	21	75	25	46	63
有漢こども園	園舎	1-1,1-2	350	W	1997	H9	23	77	23	46	65
川上こども園	園舎	2	425	W	2001	H13	19	74	27	46	66
高梁中学校	校舎	2	203	S	2000	H12	20	77	23	43	67
松原小学校	屋内運動場	2-3	28	W	1995	H7	25	87	14	39	68
高梁東中学校	校舎	2	364	RC	1995	H7	25	87	14	39	68
有漢西小学校	校舎	3	152	RC	2001	H13	19	84	17	36	70
高梁学校給食センター	共同利用施設	2	199	S	2011	H23	9	75	25	34	71
高梁中学校	屋内運動場	3	1,117	RC	2004	H16	16	83	17	33	72
成羽中学校	校舎	2-1,2-2, 2-3,2-4	3,088	RC	2007	H19	13	81	19	32	73
巨瀬幼稚園	園舎	1	203	W	1997	H9	23	92	9	32	74
有漢学校給食センター	共同利用施設	1-2	58	S	2000	H12	20	94	6	26	75
有漢学校給食センター	共同利用施設	1-1	345	S	2011	H23	9	84	17	26	76
高梁小学校	屋内運動場	5	806	S	2005	H17	15	93	7	22	77
施設計	77		69,985								

整備優先度の高い建物として、成羽小学校、宇治高等学校、有漢西小学校、川上中学校の校舎又は屋内運動場の優先度が高いことがわかります。

今後の施設整備においては、整備優先度を考慮するとともに、児童・生徒数等の推移を見ながら検討することが必要となります。

6-2 長寿命化対象施設の考え方

長寿命化に対する予防保全を実施した場合でも、鉄筋コンクリートの劣化の程度によっては、費用を投じて長寿命化を実施しても費用対効果が小さいと考えられます。

このため、一般的には、コンクリートの強度が不足している建築物、基礎における鉄筋の腐食が見られる建築物、地すべりやがけ崩れ等の立地安全性の欠如などが考えられる建築物などは、長寿命化に不適と考えられます。

また、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月 文部科学省）によると、長寿命化計画の策定に当たっては、「コンクリートの中酸化深さ試験」と「コンクリート強度の調査」の結果を参考とすることが有効とされています。

【長寿命化に適さない施設】

- 鉄筋コンクリート劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築の方が経済的に望ましい施設
- コンクリート強度が著しく低い施設（おおむね $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下）
- 基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設
- 校地環境の安全性が欠如している施設
- 建物の配置に問題があり、改修によっては適切な教育環境を確保できない施設
- 学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月 文部科学省）

ここで、本計画では、コンクリートの圧縮強度がおおむね $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 未満の建築物及び総合劣化点数が 140 点以上の建築物は、長寿命化に不適と考えます。

今回の対象施設において、旧耐震基準での建築物は 23 棟、そのうち 2 棟の木造施設以外については、耐震改修工事が完了している状況です。これにより木造施設については、築年数が 40 年以上となることから要調査という判断にしています。

なお、コンクリート圧縮強度が不明な施設については、 $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であると仮定しています。

また、建物の構造や強度以外の判断基準として、「建物の配置に問題があり、改修によっては適切な教育環境を確保できない施設」「学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設」といった視点については、庁内並びに保護者及び地域住民と共に随時検討しています。

これまでの検討結果として、児童・生徒数の推移や地域の実情等を踏まえたうえで、有漢地区の小・中学校施設を再編し、現在の有漢中学校を「（仮称）有漢義務教育学校」とする計画です。さらに、現在の有漢中学校の敷地には、現在の有漢東小学校と同規模の校舎等を増築し、有漢中学校の校舎や体育館等を含め長寿命化を図るものとして検討します。

なお、有漢西小学校、有漢東小学校は本計画期間中（図表 101 参照）に廃校とし、長寿命化対象施設から除外するものです。

図表 100 旧耐震基準建物のコンクリート圧縮強度

建物基本情報								構造躯体の健全性								健全度 (100点満点)
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度	築年数	耐震安全性			長寿命化判定			
								西暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分	
1	257	津川小学校	屋内運動場	1	S	1	409	1977	43	旧	済	済	H15	17.6	長寿命	73
4	259	川面小学校	校舎	1-1	RC	2	389	1981	39	旧	済	済	H16	14	長寿命	67
10	263	中井小学校	屋内運動場	1	S	3	421	1980	40	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	68
11	263	中井小学校	校舎	2	RC	1	1,717	1980	40	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	58
14	266	宇治小学校	屋内運動場	1	S	1	500	1980	40	旧	済	済	H17	20.6	長寿命	61
16	267	松原小学校	校舎	1-1	RC	2	501	1975	45	旧	済	済	H15	21	長寿命	56
18	267	松原小学校	屋内運動場	2-1	S	2	411	1978	42	旧	済	済	H16	21	長寿命	72
26	272	高梁小学校	校舎	1	RC	3	1,554	1970	50	旧	済	済	H08	23.3	長寿命	56
27	272	高梁小学校	校舎	2	RC	3	1,787	1972	48	旧	済	済	H08		長寿命	56
28	272	高梁小学校	校舎	3	RC	2	627	1972	48	旧	済	済	H08	25.9	長寿命	66
29	272	高梁小学校	校舎	4	RC	3	192	1972	48	旧	済	済	H08		長寿命	66
33	672	有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	RC	2	1,392	1966	54	旧	済	済	H07	28.4	長寿命	37
38	696	成羽小学校	校舎	1-1,1-2,↑-3,1-4	RC	3	2,896	1977	43	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	40
39	696	成羽小学校	校舎	2	W	1	240	1957	63	旧	済	済			改築	34
40	696	成羽小学校	屋内運動場	3	S	1	867	1979	41	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	68
41	715	川上小学校	校舎	1	R	3	1,661	1970	50	旧	済	済	H18	17.6	長寿命	68
45	717	富家小学校	屋内運動場	2-1,2-2	S	2	883	1980	40	旧	済	済	H18	25.7	長寿命	66
57	3844	成羽中学校	屋内運動場	1	S	2	1,125	1973	47	旧	済	済	H22	17.4	長寿命	66
59	3850	川上中学校	屋内運動場	1-1,1-2	S	1	828	1978	42	旧	済	済	H26	17.6	長寿命	37
61	5619	宇治高等学校	校舎	1-1,1-2	W	1	279	1952	68	旧	-	-			改築	50
63	6746	川面幼稚園	園舎	1-1,1-2	S	1	218	1976	44	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	55
65	6752	落合幼稚園	園舎	1-1,1-2,↑-3	RC	2	323	1978	42	旧	済	済	H18	20.1	長寿命	55
66	6752	落合幼稚園	園舎	2	S	1	128	1978	42	旧	済	済	H21	20.5	長寿命	78

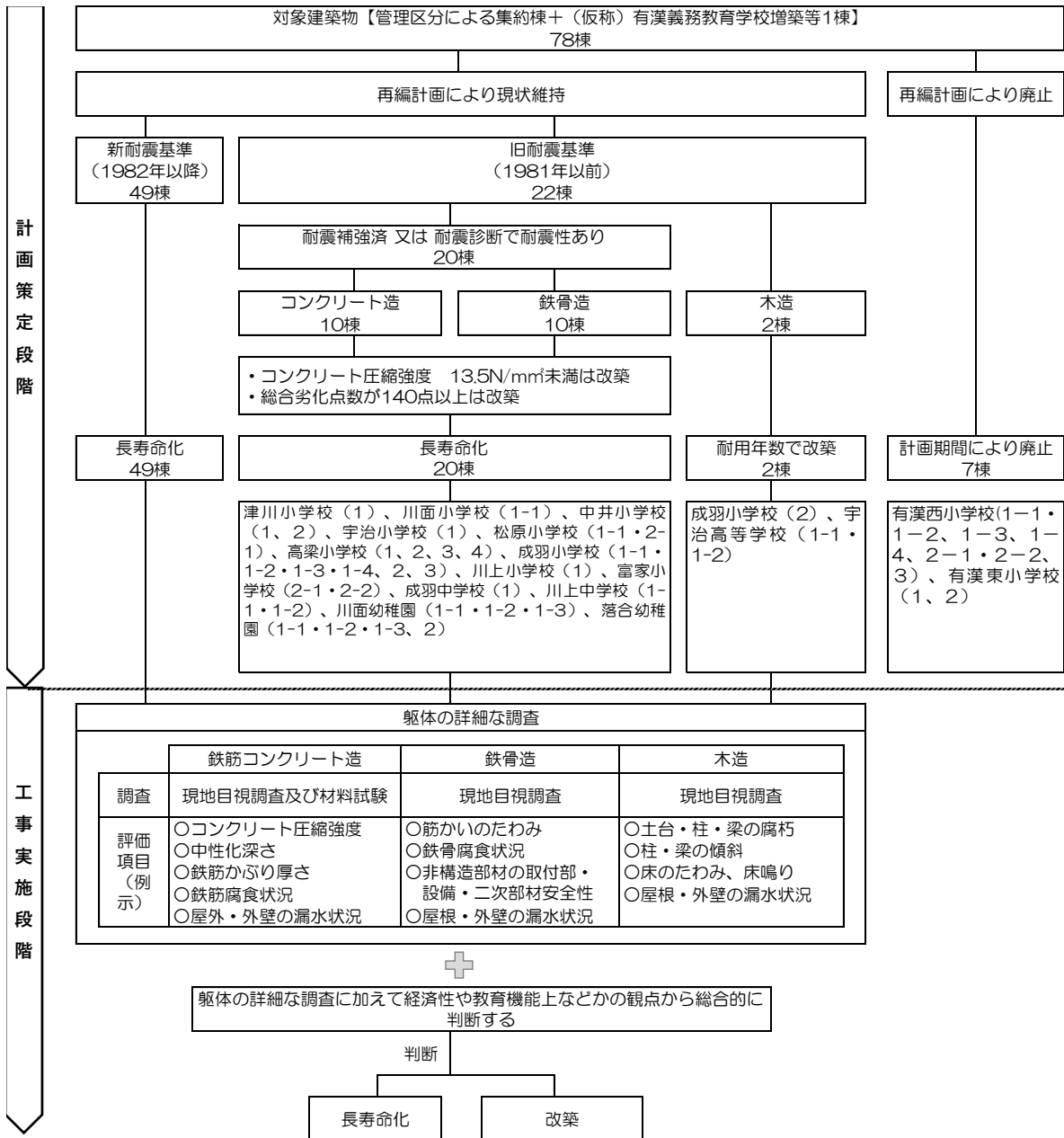
図表 101 有漢地区学校施設の再編計画（案）

施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	再編計画				
						R4	R5	R6	R7	R8
有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	RC	2	1,392	廃校	解体			
有漢西小学校	校舎	1-3	S	2	124					
有漢西小学校	校舎	1-4	S	2	213					
有漢西小学校	屋内運動場	2-1,2-2	RC	1	618					
有漢西小学校	校舎	3	RC	1	152					
有漢東小学校	校舎	1	RC	3	2,001	有漢西小学校を統合して運用			廃校	解体
有漢東小学校	屋内運動場	2	RC	1	588					
有漢中学校	校舎	1	RC	2	1,929	有漢中学校（運用）			義務教育学校として運用	
有漢中学校	屋内運動場	2	RC	1	600					
（仮称）有漢義務教育学校【増築】	校舎	1	RC	3	2,000				増築	

これまでの検討結果に基づき、対象建築物（管理区分による集約棟）77 棟及び（仮称）有漢義務教育学校の増築 1 棟を加え、以下の長寿命化等対象施設選定フロー（図表 102 参照）によって検討した結果、長寿命化を実施する建築物は 69 棟となります。

なお、工事実施段階においては、建築物の構造別に現地目視調査や材料試験等を実施し、それらの結果から総合的に判断して、各施設に応じた対策を実施します。

図表 102 長寿命化等対象施設選定フロー



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）を一部加筆修正

管理区分に基づく一体的な建築物（棟）について、長寿命化の対象となる建築物は以下のとおりです。

図表 103 学校教育施設の長寿命化対象建築物

建物基本情報							構造躯体の健全性							劣化状況評価								
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)		建築年度		耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
							西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分							
1	257	津川小学校	屋内運動場	1	S	1	409	1977	S52	43	旧	済	済	H15	17.6	長寿命	B	A	B	C	C	73
2	257	津川小学校	校舎	2-1	RC	2	480	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77
3	257	津川小学校	校舎	2-2	RC	2	1,276	1992	H4	28	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77
4	259	川面小学校	校舎	1-1	RC	2	389	1981	S56	39	旧	済	済	H16	14	長寿命	A	C	B	B	B	67
5	259	川面小学校	校舎	1-2	RC	2	560	1989	H元	31	新	-	-			長寿命	B	B	A	B	B	84
6	259	川面小学校	校舎	1-3	RC	2	806	1989	H元	31	新	-	-			長寿命	A	C	B	B	B	67
7	259	川面小学校	屋内運動場	2	S	1	545	1988	S63	32	新	-	-			長寿命	A	C	B	B	B	67
8	261	巨瀬小学校	校舎	1	RC	3	1,867	2002	H14	18	新	-	-			長寿命	C	B	C	A	A	65
9	261	巨瀬小学校	屋内運動場	2	S	2	673	2002	H14	18	新	-	-			長寿命	C	B	C	A	A	65
10	263	中井小学校	屋内運動場	1	S	3	421	1980	S55	40	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	A	B	B	C	C	68
11	263	中井小学校	校舎	2	RC	1	1,717	1980	S55	40	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	A	C	B	C	C	58
12	264	玉川小学校	屋内運動場	1	S	1	330	1992	H4	28	新	-	-			長寿命	C	B	B	B	B	72
13	264	玉川小学校	校舎	2	RC	3	1,199	1988	S63	32	新	-	-			長寿命	A	B	C	B	B	64
14	266	宇治小学校	屋内運動場	1	S	1	500	1980	S55	40	旧	済	済	H17	20.6	長寿命	D	B	B	C	C	61
15	266	宇治小学校	校舎	2	RC	3	1,623	1984	S59	36	新	-	-			長寿命	C	B	B	B	B	72
16	267	松原小学校	校舎	1-1	RC	2	501	1975	S50	45	旧	済	済	H15	21	長寿命	B	C	B	C	C	56
17	267	松原小学校	校舎	1-2	RC	3	1,077	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	A	B	B	C	C	68
18	267	松原小学校	屋内運動場	2-1	S	2	411	1978	S53	42	旧	済	済	H16	21	長寿命	C	B	B	B	B	72
19	267	松原小学校	屋内運動場	2-2	S	1	23	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75
20	267	松原小学校	屋内運動場	2-3	W	1	28	1995	H7	25	新	-	-			長寿命	A	B	A	B	B	87
21	269	落合小学校	校舎	1-1,1-2,†-3,1-4	RC	3	1,443	1982	S57	38	新	-	-			長寿命	B	B	C	B	B	62
22	269	落合小学校	屋内運動場	2	S	1	774	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	A	B	A	B	B	87
23	269	落合小学校	校舎	3	RC	3	896	2003	H15	17	新	-	-			長寿命	B	B	C	B	B	62
24	271	福地小学校	校舎	1	RC	3	1,227	1991	H3	29	新	-	-			長寿命	B	C	B	B	B	65
25	271	福地小学校	屋内運動場	2	S	1	388	1987	S62	33	新	-	-			長寿命	A	C	B	B	B	67
26	272	高梁小学校	校舎	1	RC	3	1,554	1970	S45	50	旧	済	済	H08	23.3	長寿命	B	C	B	C	C	56
27	272	高梁小学校	校舎	2	RC	3	1,787	1972	S47	48	旧	済	済	H08		長寿命	B	C	B	C	C	56
28	272	高梁小学校	校舎	3	RC	2	627	1972	S47	48	旧	済	済	H08	25.9	長寿命	B	B	B	C	C	66
29	272	高梁小学校	校舎	4	RC	3	192	1972	S47	48	旧	済	済	H08		長寿命	B	B	B	C	C	66
30	272	高梁小学校	屋内運動場	5	S	1	806	2005	H17	15	新	-	-			長寿命	A	B	A	A	A	93
31	671	有漢東小学校	校舎	1	RC	3	2,001	1986	S61	34	新	-	-			解体	C	C	B	B	B	62
32	671	有漢東小学校	屋内運動場	2	RC	1	588	1986	S61	34	新	-	-			解体	C	B	B	B	B	72
33	672	有漢西小学校	校舎	1-1,1-2	RC	2	1,392	1966	S41	54	旧	済	済	H07	28.4	解体	D	C	C	C	C	37
34	672	有漢西小学校	校舎	1-3	S	2	124	1987	S62	33	新	-	-			解体	C	B	B	B	B	72
35	672	有漢西小学校	校舎	1-4	S	2	213	1987	S62	33	新	-	-			解体	C	B	C	B	B	59
36	672	有漢西小学校	屋内運動場	2-1,2-2	RC	1	618	1987	S62	33	新	-	-			解体	C	C	B	B	B	62
37	672	有漢西小学校	校舎	3	RC	1	152	2001	H13	19	新	-	-			解体	A	B	B	A	A	84
38	696	成羽小学校	校舎	1-1,1-2,†-3,1-4	RC	3	2,896	1977	S52	43	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
39	696	成羽小学校	校舎	2	W	1	240	1957	S32	63	旧	済	済			改築	A	C	D	C	C	34
40	696	成羽小学校	屋内運動場	3	S	1	867	1979	S54	41	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	A	B	B	C	C	68
41	715	川上小学校	校舎	1	R	3	1,661	1970	S45	50	旧	済	済	H18	17.6	長寿命	A	B	B	C	C	68
42	715	川上小学校	屋内運動場	2	RC	2	1,108	1982	S57	38	新	-	-			長寿命	A	B	C	C	C	55
43	715	川上小学校	校舎	3	RC	2	1,385	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	C	C	B	C	C	58
44	717	富家小学校	校舎	1-1,1-2,†-3	RC	2	1,982	1987	S62	33	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75
45	717	富家小学校	屋内運動場	2-1,2-2	S	2	883	1980	S55	40	旧	済	済	H18	25.7	長寿命	B	B	B	C	C	66

図表 103 学校教育施設の長寿命化対象建築物（つづき）

 :築50年以上 A :概ね良好 A :概ね良好 :広範囲に劣化
 :築30年以上 B :部分的 B :部分的に劣化 :早急に対応する必要がある

建物基本情報							構造躯体の健全性							劣化状況評価							
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)						
46	3632	高梁中学校	校舎	1-1,1-2	RC	4	2,220	1999	H11	21	新	-	-	-	長寿命	A	B	C	B	B	64
47	3632	高梁中学校	校舎	1-3	RC	4	3,462	2000	H12	20	新	-	-	-	長寿命	A	B	C	B	B	64
48	3632	高梁中学校	校舎	2	S	2	203	2000	H12	20	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
49	3632	高梁中学校	屋内運動場	3	RC	2	1,117	2004	H16	16	新	-	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83
50	3639	高梁北中学校	校舎	1	RC	3	2,250	1989	H元	31	新	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	62
51	3639	高梁北中学校	屋内運動場	2	S	1	900	1989	H元	31	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
52	3640	高梁東中学校	校舎	1-1,1-2,1-3,1-4	RC	2	1,760	1987	S62	33	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
53	3640	高梁東中学校	校舎	2	RC	2	364	1995	H7	25	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	B	B	87
54	3640	高梁東中学校	屋内運動場	3	S	1	923	1995	H7	25	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
55	3823	有漢中学校	校舎	1	RC	2	1,929	1988	S63	32	新	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	B	59
56	3823	有漢中学校	屋内運動場	2	RC	1	600	1988	S63	32	新	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
57	3844	成羽中学校	屋内運動場	1	S	2	1,125	1973	S48	47	旧	済	済	H22 174	長寿命	B	B	B	C	C	66
58	3844	成羽中学校	校舎	2-1,2-2,2-3,2-4	RC	3	3,088	2007	H19	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
59	3850	川上中学校	屋内運動場	1-1,1-2	S	1	828	1978	S53	42	旧	済	済	H26 176	長寿命	D	C	C	C	C	37
60	3850	川上中学校	校舎	2-1,2-2	RC	4	2,976	1986	S61	34	新	-	-	-	長寿命	D	C	C	B	B	46
61	5619	宇治高等学校	校舎	1-1,1-2	W	1	279	1952	S27	68	旧	-	-	-	改築	C	B	C	C	C	50
62	6744	津川幼稚園	園舎	1	S	1	203	1983	S58	37	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84
63	6746	川面幼稚園	園舎	1-1,1-2	S	1	218	1976	S51	44	旧	済	済	H17 176	長寿命	A	B	C	C	C	55
64	6749	巨瀬幼稚園	園舎	1	W	1	203	1997	H9	23	新	-	-	-	長寿命	B	A	A	B	B	92
65	6752	落合幼稚園	園舎	1-1,1-2,1-3	RC	2	323	1978	S53	42	旧	済	済	H18 201	長寿命	A	B	C	C	C	55
66	6752	落合幼稚園	園舎	2	S	1	128	1978	S53	42	旧	済	済	H21 205	長寿命	A	B	A	C	C	78
67	6753	中井幼稚園	園舎	1	W	1	203	1996	H8	24	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
68	6754	福地幼稚園	園舎	1	RC	1	191	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
69	A040	有漢こども園	園舎	1-1,1-2	W	1	350	1997	H9	23	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
70	A040	有漢こども園	園舎	2	W	1	503	1996	H8	24	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
71	A041	川上こども園	園舎	1	S	1	707	1993	H5	27	新	-	-	-	長寿命	C	B	C	B	B	59
72	A041	川上こども園	園舎	2	W	1	425	2001	H13	19	新	-	-	-	長寿命	A	C	B	A	A	74
73	K014	高梁学校給食センター	共同利用施設	1	S	2	878	1999	H11	21	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
74	K014	高梁学校給食センター	共同利用施設	2	S	2	199	2011	H23	9	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
75	K047	有漢学校給食センター	共同利用施設	1-1	S	1	345	2011	H23	9	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84
76	K047	有漢学校給食センター	共同利用施設	1-2	S	1	58	2000	H12	20	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
77	K409	川上学校給食センター	共同利用施設	1-1,1-2	S	1	388	1999	H11	21	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
78		(仮称)有漢義務教育学校	校舎		RC	3	2,000	2024	R6	0	新				長寿命	A	A	A	A	A	100

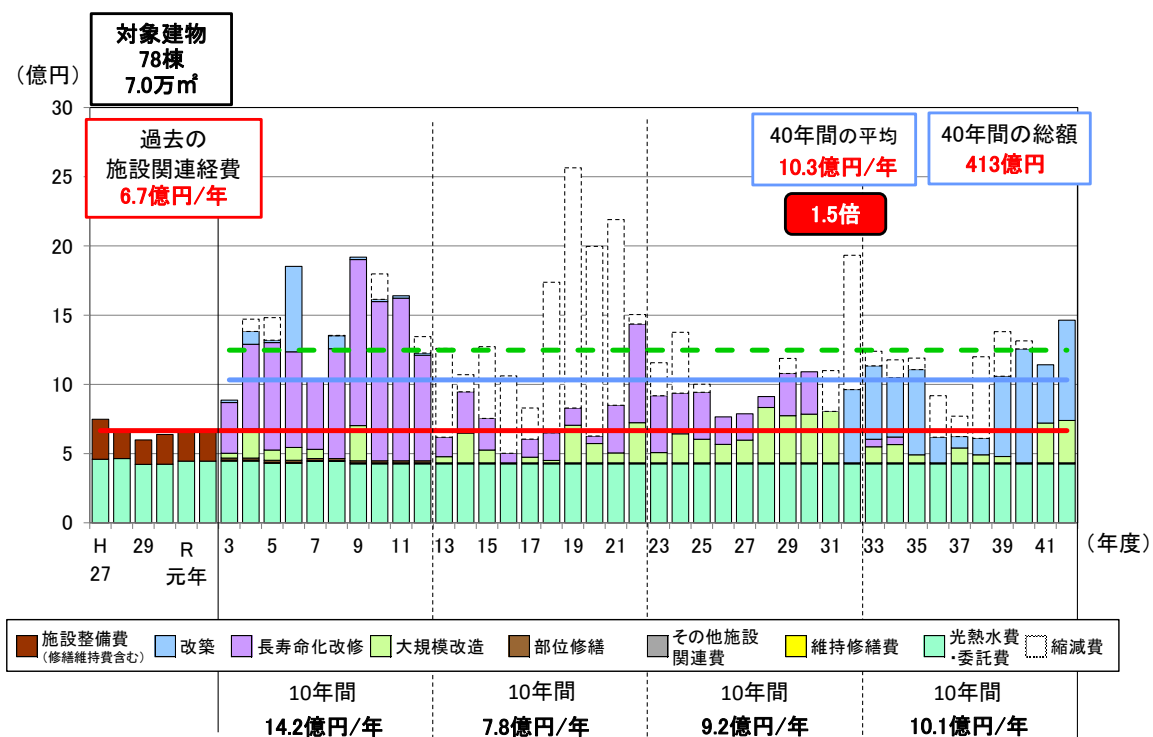
6-3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

(1) 今後の維持・更新コスト

① 長寿命化型

従来型の建替え主体から適正な予防保全を実施することにより、建築物の長寿命化を進めることとし、建築物の建替え（更新）時期を、目標耐用年数の 80 年にした場合、令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度までの 40 年間で必要となる維持・更新費用は約 413 億円となります。年平均では約 10.3 億円となり、直近 9 年間の施設関連経費の平均値（6.7 億円）の約 1.5 倍となります。

図表 104 維持・更新コスト（長寿命化型）



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月）」付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算

図表 105 長寿命化型の維持・更新コストの計算条件

改築 (建替え)	<ul style="list-style-type: none"> 改築対象（築後 50 年で改築、工事期間は 2 年間）又は R3 年度以降 10 年間で改築（積み残し処理） 長寿命化対象の改築（築後 80 年で同規模建替え、工事期間は 2 年） 改築単価：33 万円/m² ※改築単価は、「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書（平成 23 年 3 月）」における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）費用を参照
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化対象（築後 20 年と 60 年、工事期間は 1 年） 長寿命化対象外（築後 20 年、工事期間は 1 年） 大規模改造単価：改築単価の 25%（付属プログラム仕様固定値）
長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化対象（築後 40 年、工事期間は 2 年）又は R3 年度以降 10 年間で改修（積み残し処理） 長寿命化改修単価：改築単価の 60%（付属プログラム仕様初期値）
解体	<ul style="list-style-type: none"> 解体建物（想定時期で解体、工事期間は 1 年） 解体単価：3 万円/m² ※解体単価は、「公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果（平成 25 年 12 月）」における全施設の解体撤去費用を全床面積で除して万円単位にした単価を採用
新築	<ul style="list-style-type: none"> 新築対象（想定時期に想定規模で新築、工事期間は 1 年） 新築単価：30 万円/m²（改築単価から解体単価を控除）
施設関連経費	※直近 9 年間（H22～H30 年度）の施設関連経費（維持補修費、物件費）の平均（452,406 千円）を R3 年度以降保有面積に応じて毎年計上

- 「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）付属プログラムでは、建物における劣化状況評価が「C」又は「D」の場合、部位修繕費を計上することとしています。
- 部位劣化状況評価が「C」評価の場合には、今後 10 年間（均等割）で該当部位の修繕費を計上します。ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後 10 年以内に実施する場合は費用計上しません。
- 部位劣化状況評価が「D」評価の場合には、今後 5 年間（均等割）で該当部位の修繕費を計上します。
- 部位劣化状況評価が「A」の場合、今後 10 年以内に予定する長寿命化改修費用から、該当部位の修繕費を差し引きます。

図表 106 部位別修繕費（㎡あたり）

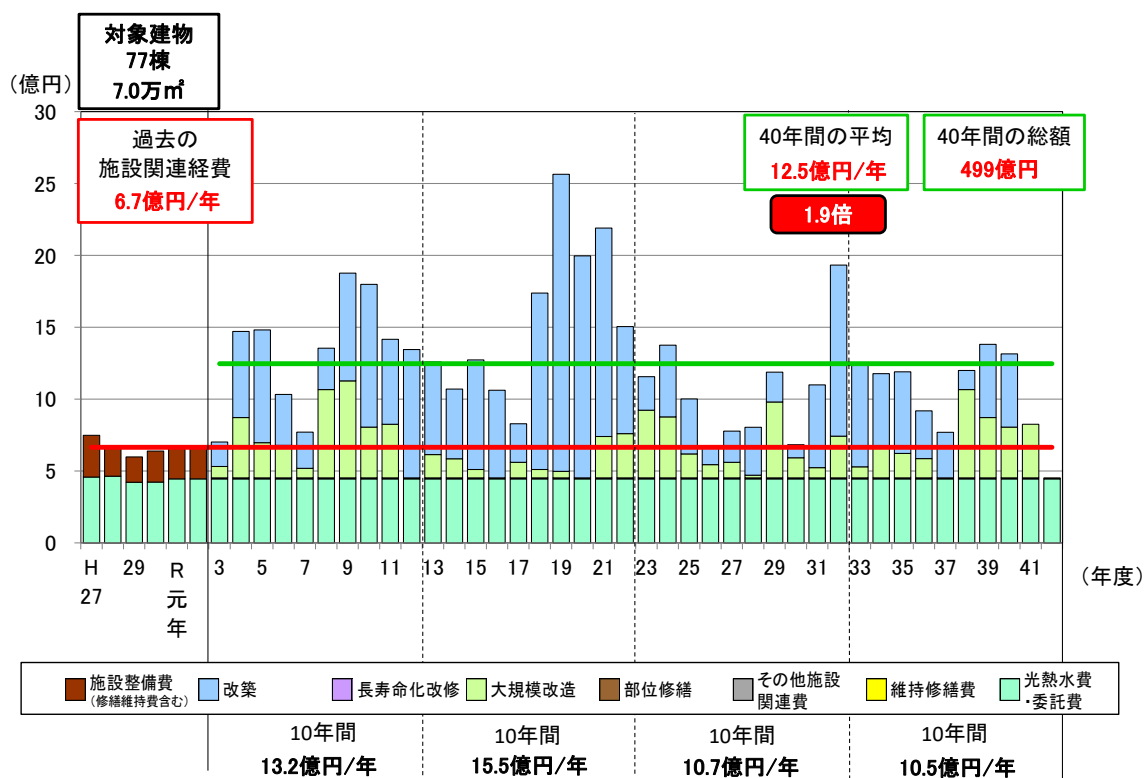
部位	校舎	体育館
屋根・屋上	改築単価の3.5%	改築単価の3.0%
外壁	改築単価の5.1%	改築単価の3.5%
内部仕上げ	改築単価の5.6%	改築単価の5.6%
電気設備	改築単価の4.0%	改築単価の4.8%
機械設備	改築単価の3.7%	改築単価の1.7%

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）付属プログラムの部位別修繕単価（改築単価に対する比率）設定値

② 従来型（再掲）

令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度までの 40 年間で必要な維持・更新費用は約 499 億円となります。年平均は約 12.5 億円で、前述の直近 9 年間の施設関連経費の平均値 6.7 億円の約 1.9 倍となります。

図表 107 維持・更新コスト（従来型）



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算

図表 108 従来型の維持・更新コストの計算条件

改築	<ul style="list-style-type: none"> ・築後 50 年で同規模建替え、改築工事期間は 2 年 なお、改築時期を既に経過している場合は 10 年間で実施 ・改築単価：33 万円/㎡ <p>※改築単価は、「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書』（平成 23 年 3 月）」における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）費用を参照</p>
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> ・20 年周期、工事期間は 1 年 ・大規模改造単価：改築単価の 25%（付属プログラム仕様による固定値）
施設関連経費	<p>※直近 9 年間（H22～H30 年度）の施設関連経費（維持補修費、物件費）の平均（452,406 千円）を R3 年度以降毎年計上</p>

(2) 効果の見通し

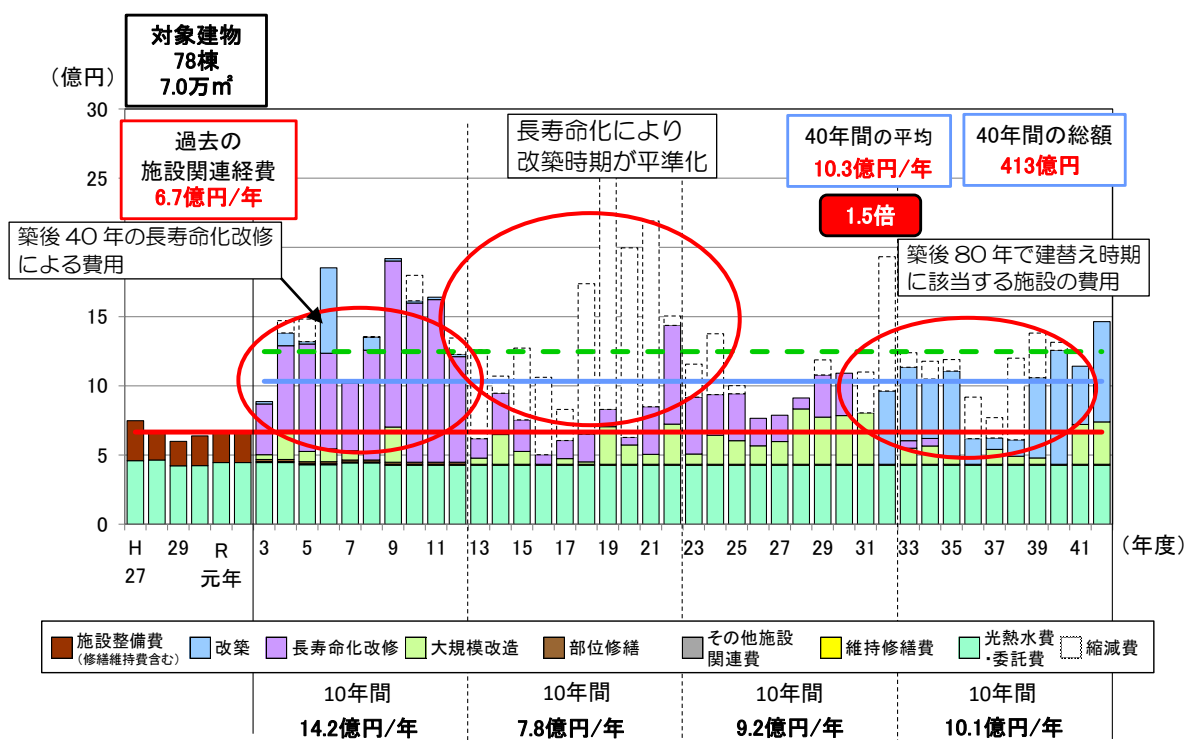
従来型の建替え主体から適正な予防保全を実施することにより、建築物の長寿命化を進め、建築物の建替え（更新）時期を、目標耐用年数の80年にする場合、令和3（2021）年度から令和42（2060）年度までの40年間で必要な維持・更新費用は約413億円となります。

これは、従来型（約499億円）と比べて、約86億円の維持・更新コストが縮減することとなり、年平均で見ると約2.2億円のコスト縮減が期待できる見込みです。

また、従来型においてみられた令和13（2031）年度から令和24（2042）年度頃にかけて多くなっていた改築費用は、平準化されています。

なお、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度にかけて長寿命化改修費が多くなっていますが、工事時期を調整することによって、コストの平準化を図るなど検討が必要であると考えます。

図表 109 維持・更新コスト（長寿命化型）※再掲



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

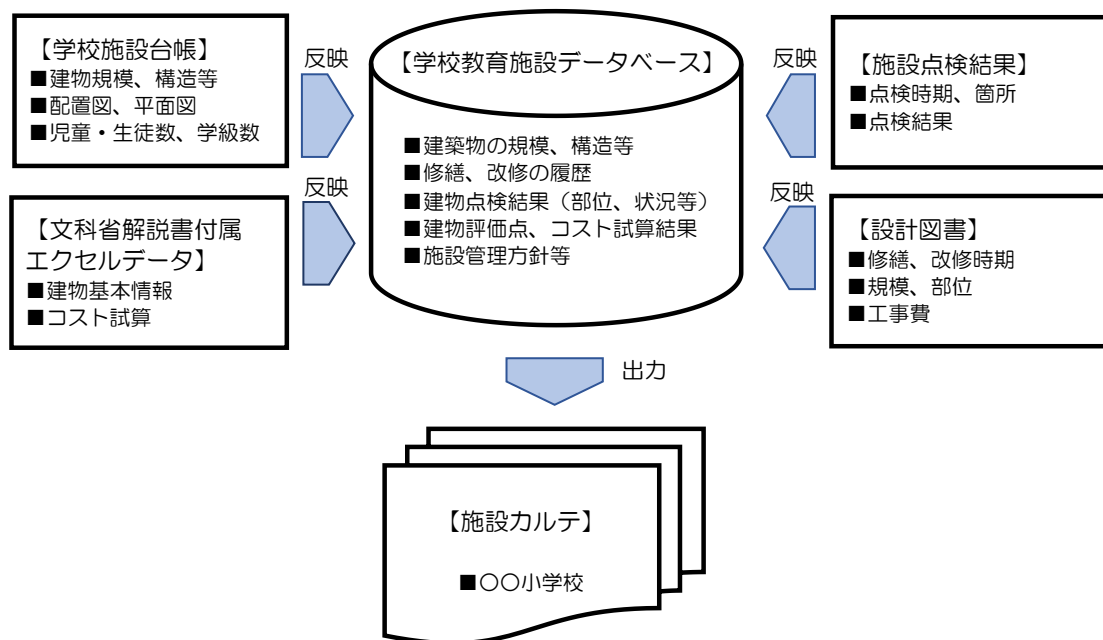
7-1 情報基盤の整備と活用

学校施設に関する基礎的な情報として児童・生徒数、建築の面積、構造、建築年等については学校基本調査・学校施設台帳において整理されています。

今後、各施設の状態を把握するために、改修・修繕履歴や施設点検の結果等の情報を保存、整理することが大切です。

また、それら情報における様式の統一化、データベース化により全庁的に一元管理し、効率的な施設管理を推進し、基本的な修繕・改修等に役立てるよう取り組むものとします。

図表 110 学校教育施設情報管理のイメージ



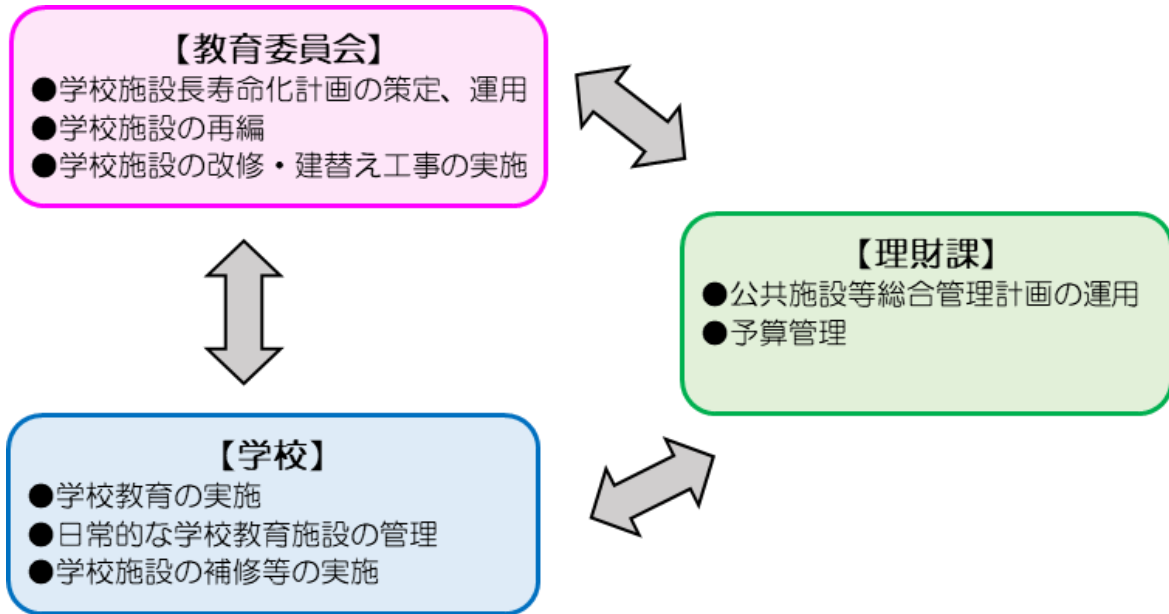
7-2 推進体制等の整備

学校施設の長寿命化を推進するためには、定期的な維持管理、点検等による異常個所の早期発見、計画的な予防保全の実施など、様々な取り組みが必要となります。

これら長寿命化の実施にあたっては、教育委員会、学校、理財課等の関係課と工事・修繕履歴や点検結果等の情報を共有しながら、改修時期や工事費用について調整を図ります。

また、施設の複合化、転用等の全庁的なアセットマネジメントの推進に向けて、公共施設を所管する関係課とも連携を図ります。（図表 111 参照）

図表 111 長寿命化に向けた推進体制



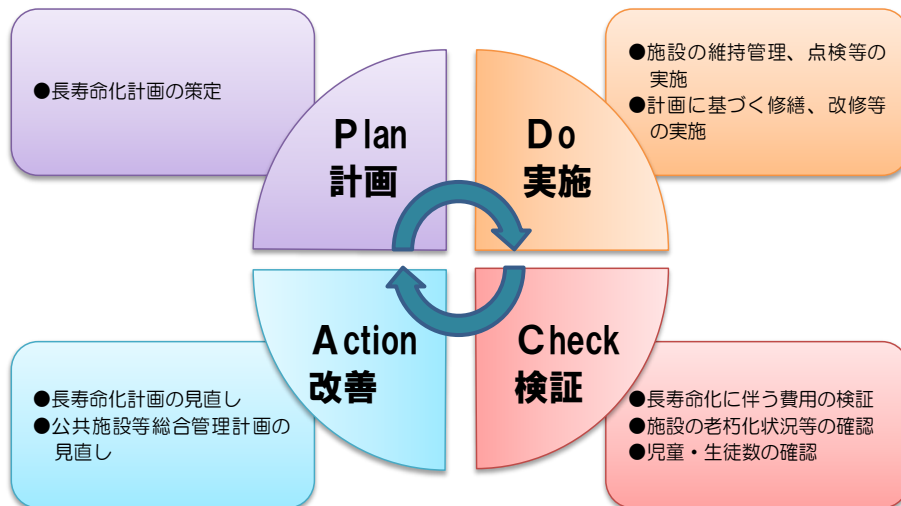
7-3 フォローアップ

本計画に基づき、施設整備を実現させていくためには、長寿命化改修、改築等に多額の費用が必要となることから、本計画の対象施設以外も含めた全庁的な施設からみた整備順位や予算措置等の調整を図りながら、学校施設の長寿命化を推進していく必要があります。

このようなことから、概ね10年ごとに総合的な検証として、工事実施時期や改修・改築等に要した工事費用等の精査を行い、計画との大幅な乖離が生じた場合など、必要に応じて本計画の見直しを行います。

また、施設の老朽化の進行状況の変化や児童・生徒数の変化等に伴い計画の見直しの必要性が生じた場合等にも適宜、見直しを行うこととします。

図表 112 PDCA サイクル



■ 用語の定義と解説

図表 113 【基本的な用語】

長寿命化		建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全		建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
	予防保全	損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕を行う保全のことを「計画保全」という。
	事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕を行う、事後的な保全のこと。
維持管理		建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。なお、日常的に行われる点検や修繕等のことを本計画では「日常的な維持管理」という。
更新		既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義ととらえてよい。
	改築	老朽化により構造上危険な状態にいたり、教育上、著しく不適切な状態にいたりする既存の建物を「建て替える」こと。
改修		経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
	修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
	長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。
メンテナンスサイクル		定期的な点検・診断により施設の状態を把握し、その結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施するとともに、これらの取組を通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、次期点検・診断等に活用する一連の取組を継続的に実施すること。